

横手市地域福祉計画・  
横手市地域福祉活動計画  
策定のためのアンケート  
調査結果報告書

令和6年3月

横手市 市民福祉部 まるごと福祉課



# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 集計結果の見方	1
(1) 電算処理の注意点	1
(2) グラフの見方について	1
7. 調査対象者の基本情報	2
(1) 性別	2
(2) 年齢（令和5年11月1日現在）	2
(3) 現在の職業	2
(4) 居住地区	3
(5) 家族構成	3
(6) 自身の生活の経済的状況	3
第2章 調査結果の分析	4
1. 地域との関わりについて	4
(1) 住んでいる地域への愛着	4
(2) 近所付き合いや交流	7
(3) 近所付き合いのない理由	10
(4) 近所の気がかりな人の有無	12
(5) 気がかりな人への声かけや手助け	14
(6) 不安や悩みを抱えている人への声かけや手助け	16
(7) 声かけや手助けをしようと思わない理由	19
(8) 自身の住んでいる地域やその周辺での困りごと	22
(9) 困りごとの解決のための住民同士の支え合い・助け合いの必要性	27
(10) 地域で住民同士の支え合い・助け合いができると思う範囲	30
(11) 近所付き合いや関わりで大切だと思うこと	32
2. 地域活動について	35
(1) 現在の地域活動への参加状況	35
(2) 今後の地域活動への参加意向	38
(3) 地域活動への興味・関心	41
(4) 地域の活動に参加する際にあるとよいこと	44
3. 養成講座について	46
(1) 福祉関係の養成講座に参加した経験	46
(2) 福祉関係の養成講座に参加したいと思うきっかけ	48
4. 情報入手について	50

(1) 信頼できる福祉に関する情報入手方法	50
5. 助け合いについて	52
(1) 災害時の避難について不安に感じる事	52
6. 相談について	54
(1) 日々の生活で悩みや不安なこと	54
(2) 深刻な困りごとや不安の相談先	56
(3) 悩みやストレスを相談したり助けを求めることに対するためらい	59
(4) 悩みやストレスを相談したり助けを求めることをためらう理由	62
(5) 相談窓口に期待すること	64
7. 福祉サービスについて	66
(1) 福祉サービスの利用状況	66
(2) サービスの利用に関して不都合を感じたり不満に思ったこと	68
8. 再犯防止について	70
(1) 非行や犯罪をした方の立ち直りへの協力	70
(このページは調整のため白紙)	73
(2) 非行や犯罪をした方の立ち直りのために必要な支援	74
9. 孤独・ひきこもりについて	76
(1) 地域や身近に家族以外の人との交流をほとんどしない方の認知	76
(2) 家族以外の人との交流をほとんどしない方に必要だと思うこと	78
10. 成年後見制度について	80
(1) 成年後見制度の認知度	80
(2) 成年後見制度の利用意向	82
(3) 成年後見制度を利用する場合に気になること	84
11. 福祉の推進に必要なことについて	86
(1) 福祉施策を充実していくために重要と考える取り組み	86
12. 自由意見について	88
第3章 調査結果のまとめ	89
1. 居住地区別の特徴	89
2. 調査対象者の基本情報（回答者の属性）	91
3. 地域との関わりについて	91
(1) 地域への愛着と近所付き合い	91
(2) 気がかりな人への声かけや手助け	92
(3) 住民同士の支え合い・助け合い	92
(4) 近所付き合いや関わりで大切だと思うこと	93
4. 地域活動について	93
5. 養成講座について	94
6. 情報入手について	94
7. 災害時の避難について	94
8. 相談について	94
9. 福祉サービスについて	96
10. 再犯防止について	96

11. 孤独・ひきこもりについて .....	97
12. 成年後見制度について .....	97
13. 福祉の推進に必要なことについて .....	98
14. 共通の課題について .....	98
調査票 .....	99
1. 横手市地域福祉に関するアンケート調査票 .....	99



# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

第4次横手市地域福祉計画と一体的に進める横手市地域福祉活動計画を策定するため前期の見直しに係る支援事業の実施を目的とし、市民が抱く地域福祉に関する意識と取り巻く現状、今後の地域福祉サービスの整備目標を明らかにする等のため。

## 2. 調査対象

横手市に住所がある方 3,000名

## 3. 調査期間

令和5年11月1日～令和5年11月22日  
(令和5年12月15日までの回収票も有効としました)

## 4. 調査方法

郵送による配布・回収

## 5. 回収状況

配付数	有効回収数	回収率
3,000	1,274	42.5%

## 6. 集計結果の見方

### (1) 電算処理の注意点

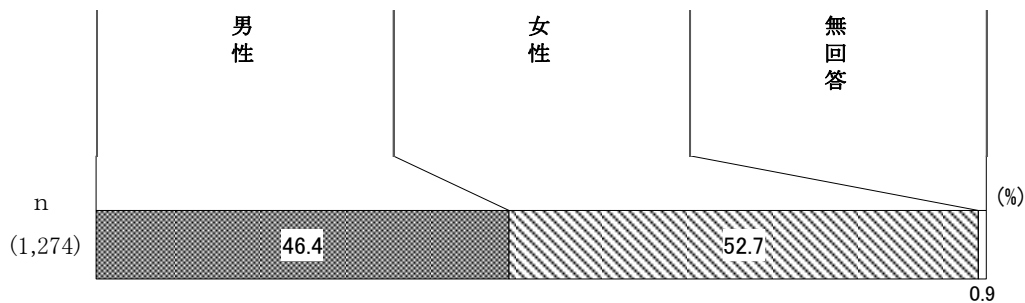
- ◆調査数 (n=number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことです。
- ◆回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計すると100%にならない場合があります。
- ◆回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答が可能な質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超えます。

### (2) グラフの見方について

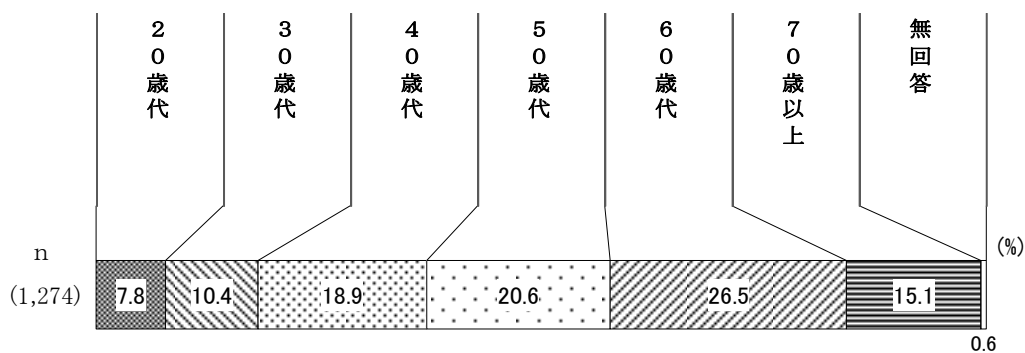
- ◆調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。

## 7. 調査対象者の基本情報

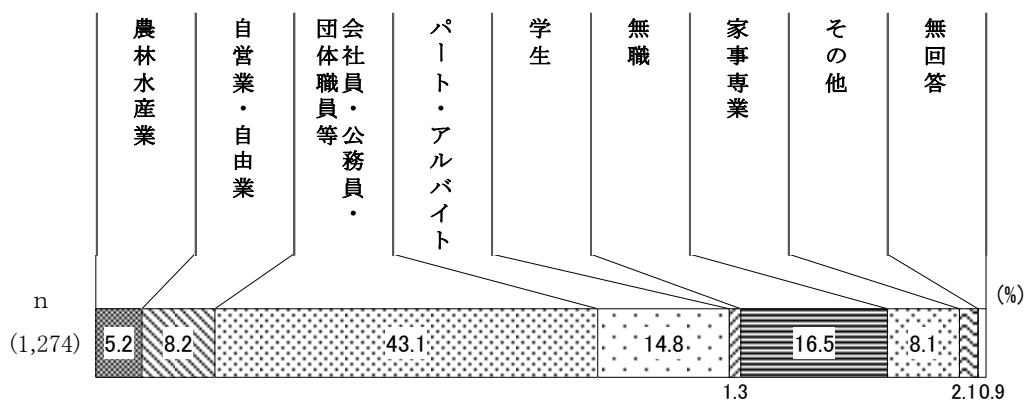
### (1) 性別



### (2) 年齢（令和5年11月1日現在）

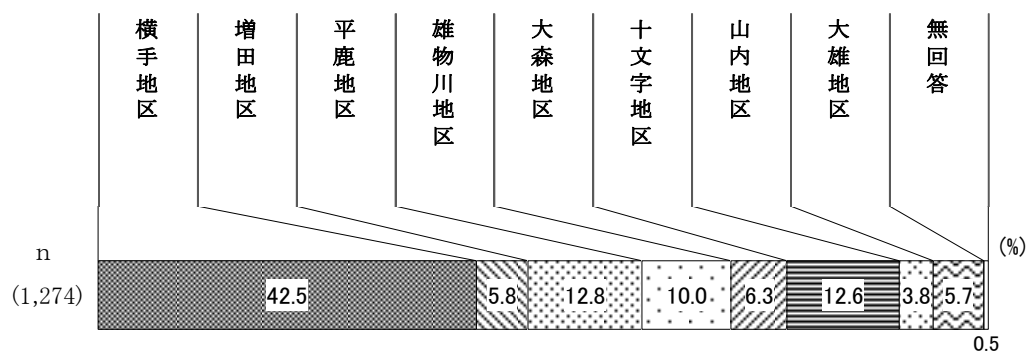


### (3) 現在の職業

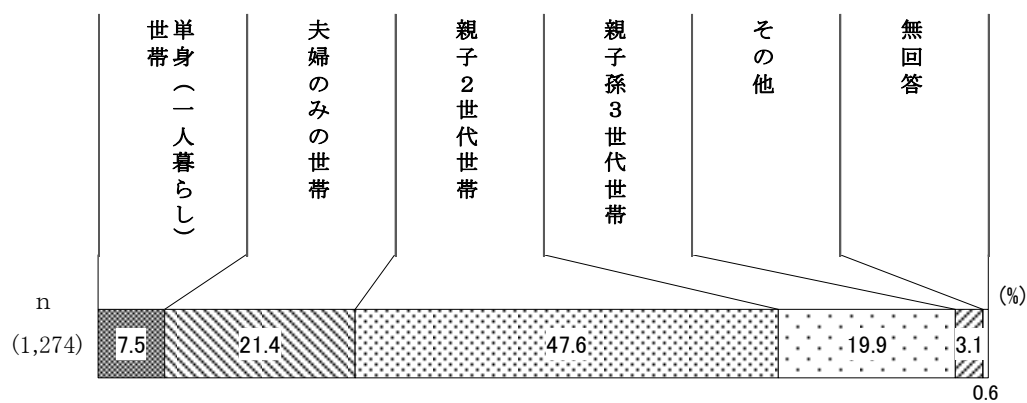




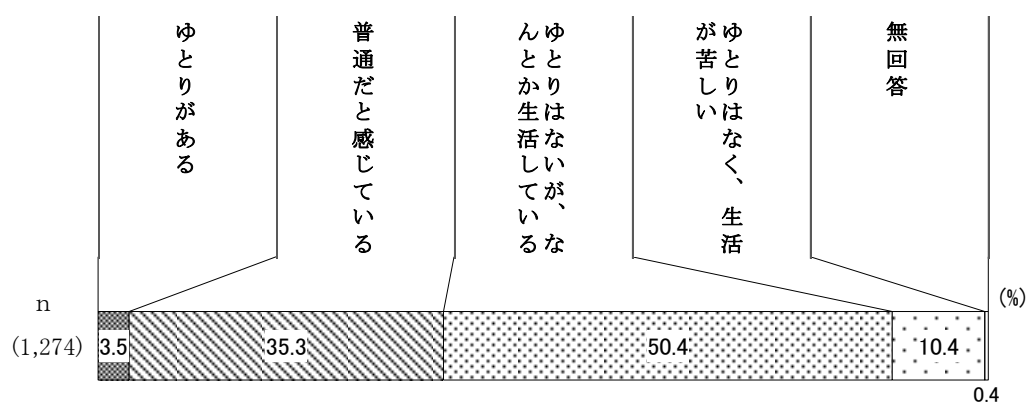
(4) 居住地区



(5) 家族構成



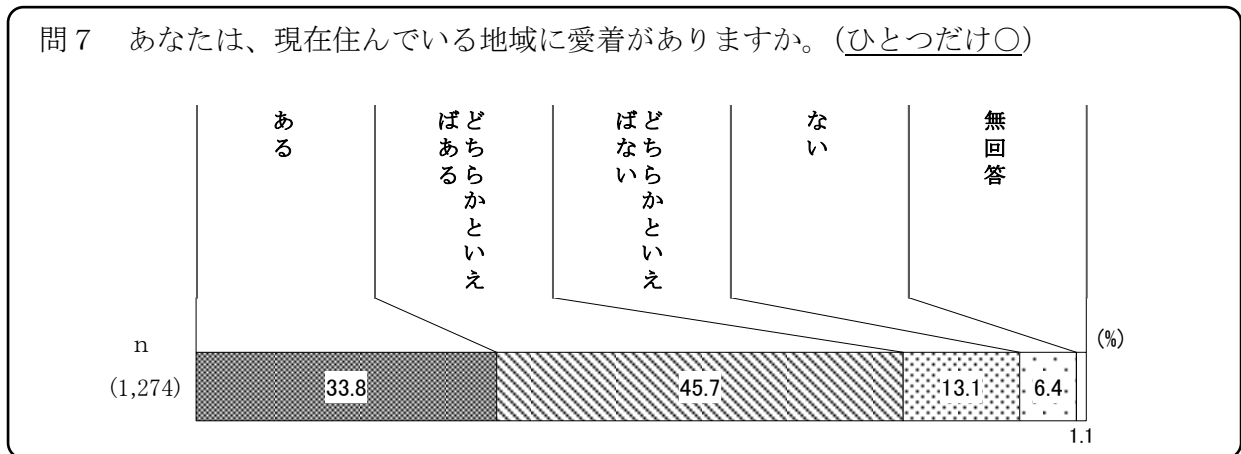
(6) 自身の生活の経済的状況



## 第2章 調査結果の分析

### 1. 地域との関わりについて

#### (1) 住んでいる地域への愛着



住んでいる地域への愛着では、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた『ある』が79.5%、「どちらかといえばない」と「ない」を合わせた『ない』が19.5%となっている。

性別、年齢（6区分）別でみると、いずれも『ある』が7割以上となっている。

居住地区（8区分）別でみると、いずれも『ある』が7割以上となっている。

近所付き合いや交流別でみると、いずれも『ある』が最も多く、困ったときに助け合う親しい人がいる人、お互いに訪問し合う人がいる人は9割以上となっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は『ある』が87.7%と参加していない人（72.7%）を15.0ポイント上回っている。

現在の職業別でみると、農林水産業、自営業・自由業では『ある』が8割以上と他の職業に比べて多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

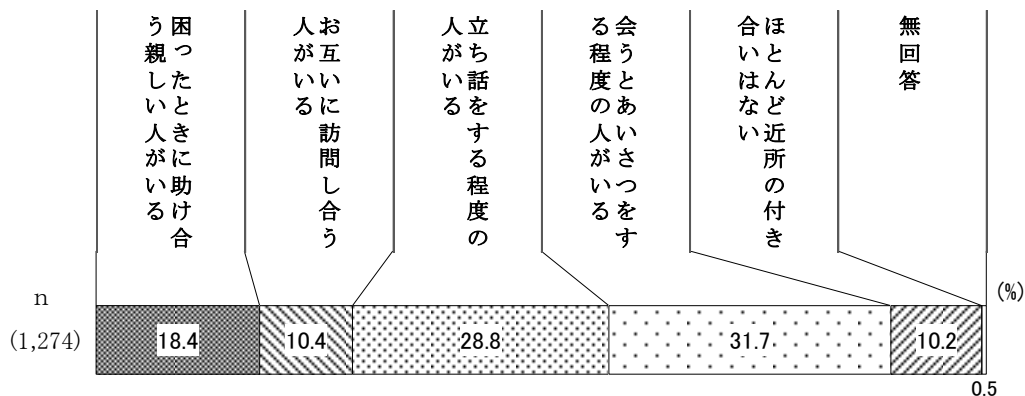
		調査数	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない	無 回 答
		上段：件数 下段：%					
全 体		1,274 100.0	430 33.8	582 45.7	167 13.1	81 6.4	14 1.1
性 別	男性	591 100.0	216 36.5	267 45.2	74 12.5	31 5.2	3 0.5
	女性	671 100.0	213 31.7	312 46.5	92 13.7	48 7.2	6 0.9
年 齢 （ 6 区 分 ） 別	20歳代	100 100.0	36 36.0	40 40.0	14 14.0	10 10.0	- -
	30歳代	132 100.0	24 18.2	82 62.1	16 12.1	10 7.6	- -
	40歳代	241 100.0	74 30.7	117 48.5	31 12.9	18 7.5	1 0.4
	50歳代	263 100.0	81 30.8	114 43.3	46 17.5	20 7.6	2 0.8
	60歳代	338 100.0	120 35.5	158 46.7	43 12.7	15 4.4	2 0.6
	70歳以上	192 100.0	95 49.5	68 35.4	17 8.9	8 4.2	4 2.1
居 住 地 区 （ 8 区 分 ） 別	横手地区	542 100.0	184 33.9	246 45.4	74 13.7	32 5.9	6 1.1
	増田地区	74 100.0	29 39.2	32 43.2	8 10.8	5 6.8	- -
	平鹿地区	163 100.0	53 32.5	73 44.8	25 15.3	12 7.4	- -
	雄物川地区	128 100.0	51 39.8	53 41.4	17 13.3	7 5.5	- -
	大森地区	80 100.0	28 35.0	29 36.3	16 20.0	7 8.8	- -
	十文字地区	161 100.0	48 29.8	89 55.3	12 7.5	11 6.8	1 0.6
	山内地区	48 100.0	15 31.3	19 39.6	9 18.8	5 10.4	- -
	大雄地区	72 100.0	21 29.2	41 56.9	6 8.3	2 2.8	2 2.8

【近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・現在の職業別】

		調査数	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体		1,274 100.0	430 33.8	582 45.7	167 13.1	81 6.4	14 1.1
近所 付き 合い や 交 流 別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	142 60.7	78 33.3	9 3.8	3 1.3	2 0.9
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	59 44.7	63 47.7	7 5.3	1 0.8	2 1.5
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	113 30.8	195 53.1	44 12.0	12 3.3	3 0.8
	会うとあいさつをする 程度の人がいる	404 100.0	92 22.8	198 49.0	80 19.8	33 8.2	1 0.2
	ほとんど近所の付き合 いはない	130 100.0	23 17.7	48 36.9	27 20.8	31 23.8	1 0.8
加域現 状活在 況動の 別参地	参加している	557 100.0	242 43.4	247 44.3	47 8.4	13 2.3	8 1.4
	参加していない	693 100.0	178 25.7	326 47.0	117 16.9	66 9.5	6 0.9
現 在 の 職 業 別	農林水産業	66 100.0	33 50.0	28 42.4	4 6.1	1 1.5	- -
	自営業・自由業	104 100.0	44 42.3	45 43.3	9 8.7	5 4.8	1 1.0
	会社員・公務員・団体 職員等	549 100.0	158 28.8	267 48.6	83 15.1	40 7.3	1 0.2
	パート・アルバイト	188 100.0	58 30.9	89 47.3	28 14.9	11 5.9	2 1.1
	学生	16 100.0	5 31.3	7 43.8	3 18.8	1 6.3	- -
	無職	210 100.0	82 39.0	85 40.5	26 12.4	13 6.2	4 1.9
	家事専業	103 100.0	35 34.0	49 47.6	10 9.7	8 7.8	1 1.0
	その他	27 100.0	13 48.1	10 37.0	3 11.1	1 3.7	- -

## (2) 近所付き合いや交流

問8 あなたは普段、近所の人とどの程度の交流や付き合いがありますか。(ひとつだけ○)



近所付き合いや交流では、「会うとあいさつをする程度の人がいる」(31.7%)が最も多く、以下「立ち話をする程度の人がいる」(28.8%)、「困ったときに助け合う親しい人がいる」(18.4%)、「お互いに訪問し合う人がいる」(10.4%)となっている。

なお、「ほとんど近所の付き合いはない」は10.2%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「困ったときに助け合う親しい人がいる」、「お互いに訪問し合う人がいる」が多く、年齢が低いほど「会うとあいさつをする程度の人がいる」、「ほとんど近所の付き合いはない」が多くなっている。20歳代では「ほとんど近所の付き合いはない」が29.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、平鹿地区、雄物川地区、大森地区では「困ったときに助け合う親しい人がいる」、平鹿地区、山内地区では「お互いに訪問し合う人がいる」、横手地区、十文字地区では「ほとんど近所の付き合いはない」がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、単身(一人暮らし)世帯では「困ったときに助け合う親しい人がいる」が29.5%、「ほとんど近所の付き合いはない」が22.1%と他の家族構成に比べて多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「困ったときに助け合う親しい人がいる」が28.2%と参加していない人(10.7%)を17.5ポイント上回っている。参加していない人は「ほとんど近所の付き合いはない」が17.9%と参加している人(0.5%)を17.4ポイント上回っている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は「困ったときに助け合う親しい人がいる」が21.7%と愛着がない人(4.8%)を16.9ポイント上回っている。愛着がない人は「会うとあいさつをする程度の人がいる」が45.6%、「ほとんど近所の付き合いはない」が23.4%といずれも愛着がある人を約16ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	が困ったときに助け合う親しい人	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話をする程度の人がいる	会うとあいさつをする程度の人	ほとんど近所の付き合いはない	無回答
		上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	234 18.4	132 10.4	367 28.8	404 31.7	130 10.2	7 0.5
性別	男性	591 100.0	119 20.1	53 9.0	175 29.6	191 32.3	53 9.0	- -
	女性	671 100.0	114 17.0	79 11.8	189 28.2	210 31.3	77 11.5	2 0.3
年齢 （6区分） 別	20歳代	100 100.0	13 13.0	1 1.0	7 7.0	50 50.0	29 29.0	- -
	30歳代	132 100.0	13 9.8	9 6.8	31 23.5	62 47.0	17 12.9	- -
	40歳代	241 100.0	42 17.4	11 4.6	53 22.0	105 43.6	29 12.0	1 0.4
	50歳代	263 100.0	46 17.5	14 5.3	85 32.3	85 32.3	33 12.5	- -
	60歳代	338 100.0	70 20.7	51 15.1	129 38.2	72 21.3	16 4.7	- -
	70歳以上	192 100.0	50 26.0	46 24.0	60 31.3	30 15.6	5 2.6	1 0.5
居住地区 （8区分） 別	横手地区	542 100.0	82 15.1	52 9.6	151 27.9	182 33.6	74 13.7	1 0.2
	増田地区	74 100.0	14 18.9	7 9.5	23 31.1	25 33.8	5 6.8	- -
	平鹿地区	163 100.0	43 26.4	23 14.1	48 29.4	36 22.1	13 8.0	- -
	雄物川地区	128 100.0	32 25.0	11 8.6	36 28.1	40 31.3	9 7.0	- -
	大森地区	80 100.0	16 20.0	9 11.3	21 26.3	27 33.8	7 8.8	- -
	十文字地区	161 100.0	26 16.1	18 11.2	42 26.1	57 35.4	18 11.2	- -
	山内地区	48 100.0	8 16.7	7 14.6	20 41.7	13 27.1	- -	- -
	大雄地区	72 100.0	13 18.1	5 6.9	26 36.1	24 33.3	3 4.2	1 1.4

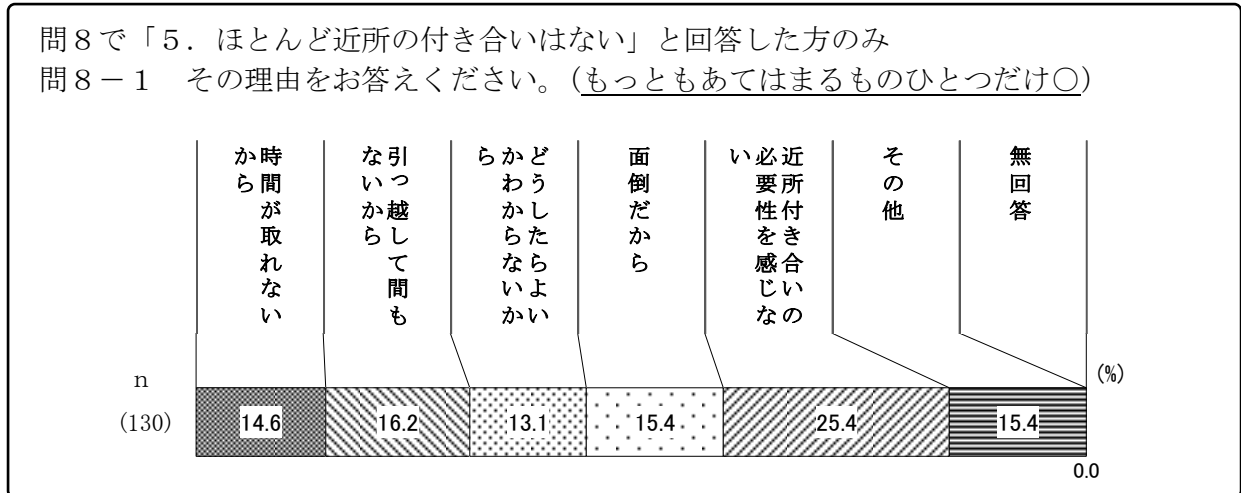
## 【家族構成別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	が困ったときに助け合う親しい人	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話をする程度の人がいる	会うとあいさつをする程度の人がいる	ほとんど近所の付き合いはない	無回答
上段：件数 下段：%								
全 体		1,274 100.0	234 18.4	132 10.4	367 28.8	404 31.7	130 10.2	7 0.5
家 族 構 成 別	単身（一人暮らし）世帯	95 100.0	28 29.5	12 12.6	17 17.9	17 17.9	21 22.1	- -
	夫婦のみの世帯	272 100.0	44 16.2	28 10.3	95 34.9	73 26.8	32 11.8	- -
	親子2世代世帯	607 100.0	106 17.5	58 9.6	175 28.8	214 35.3	53 8.7	1 0.2
	親子孫3世代世帯	253 100.0	48 19.0	31 12.3	67 26.5	88 34.8	19 7.5	- -
	その他	39 100.0	8 20.5	3 7.7	11 28.2	12 30.8	4 10.3	1 2.6
加域現 状活在 況動の 別参地	参加している	557 100.0	157 28.2	89 16.0	192 34.5	113 20.3	3 0.5	3 0.5
	参加していない	693 100.0	74 10.7	40 5.8	164 23.7	288 41.6	124 17.9	3 0.4
地 域 へ の 愛 着 別	ある	1,012 100.0	220 21.7	122 12.1	308 30.4	290 28.7	71 7.0	1 0.1
	ない	248 100.0	12 4.8	8 3.2	56 22.6	113 45.6	58 23.4	1 0.4

(3) 近所付き合いのない理由

問8で「5. ほとんど近所の付き合いはない」と回答した方のみ

問8-1 その理由をお答えください。(もっともあてはまるものひとつだけ○)



近所付き合いのない理由では、「近所付き合いの必要性を感じない」(25.4%)が最も多く、以下「引っ越して間もないから」(16.2%)、「面倒だから」(15.4%)、「時間が取れないから」(14.6%)、「どうしたらよいかわからないから」(13.1%)となっている。

なお、「その他」(15.4%)の内容については“アパートに住んでいるから”、“近所の人に会う機会がないから”、“相手を信用できないから”などとなっている。

性別で見ると、女性では「近所付き合いの必要性を感じない」が31.2%と、男性(17.0%)を14.2ポイント上回っており、男性に比べて近所付き合いの必要性を感じていない人が多くなっている。

年齢(6区分)別で見ると、30歳代では「近所付き合いの必要性を感じない」が4割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

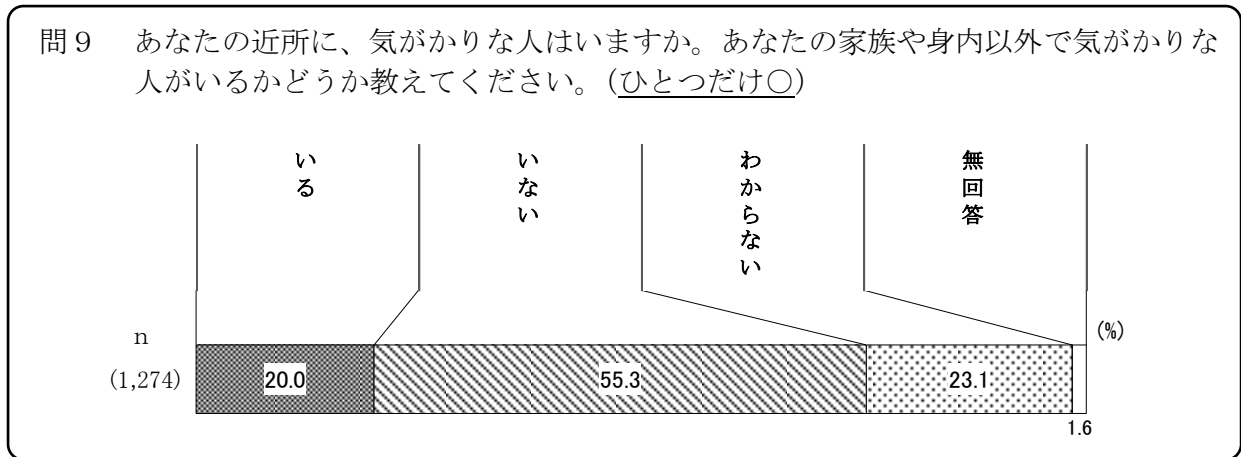
居住地区(8区分)別については基数が少ないため、参考掲載にとどめる。



## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	時間が取れないから	引越して間もないから	らどうしたらよいかわからないか	面倒だから	い近所付き合いの必要性を感じない	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全 体		130 100.0	19 14.6	21 16.2	17 13.1	20 15.4	33 25.4	20 15.4	- -
性別	男性	53 100.0	8 15.1	9 17.0	9 17.0	10 18.9	9 17.0	8 15.1	- -
	女性	77 100.0	11 14.3	12 15.6	8 10.4	10 13.0	24 31.2	12 15.6	- -
年齢（6区分）別	20歳代	29 100.0	4 13.8	6 20.7	6 20.7	4 13.8	5 17.2	4 13.8	- -
	30歳代	17 100.0	1 5.9	2 11.8	4 23.5	2 11.8	7 41.2	1 5.9	- -
	40歳代	29 100.0	6 20.7	6 20.7	3 10.3	5 17.2	6 20.7	3 10.3	- -
	50歳代	33 100.0	6 18.2	4 12.1	1 3.0	5 15.2	10 30.3	7 21.2	- -
	60歳代	16 100.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	3 18.8	4 25.0	4 25.0	- -
	70歳以上	5 100.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -
	居住地区（8区分）別	横手地区	74 100.0	8 10.8	14 18.9	12 16.2	7 9.5	22 29.7	11 14.9
増田地区		5 100.0	- -	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	- -
平鹿地区		13 100.0	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	2 15.4	2 15.4	- -
雄物川地区		9 100.0	1 11.1	1 11.1	- -	4 44.4	2 22.2	1 11.1	- -
大森地区		7 100.0	1 14.3	- -	- -	3 42.9	3 42.9	- -	- -
十文字地区		18 100.0	6 33.3	5 27.8	- -	2 11.1	3 16.7	2 11.1	- -
山内地区		- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
大雄地区		3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	2 66.7	- -

(4) 近所の気がかりな人の有無



近所の気がかりな人の有無では、「いない」(55.3%)が最も多く、以下「いる」(20.0%)となっている。

なお、「わからない」は23.1%となっている。

性別でみると、女性では「いる」が21.5%と男性(18.1%)を3.4ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「いる」が多く、年齢が低いほど「わからない」が多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、大森地区では「いる」、「わからない」(いずれも30.0%)、増田地区では「いない」(64.9%)がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど「いる」が多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「いる」が27.5%と参加していない人(14.0%)を13.5ポイント上回っている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は「いる」が21.0%と愛着がない人(15.3%)を5.7ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区別】

		調査数	いる	いない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	255 20.0	705 55.3	294 23.1	20 1.6
性別	男性	591 100.0	107 18.1	348 58.9	127 21.5	9 1.5
	女性	671 100.0	144 21.5	350 52.2	166 24.7	11 1.6
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	4 4.0	61 61.0	33 33.0	2 2.0
	30歳代	132 100.0	14 10.6	82 62.1	36 27.3	- -
	40歳代	241 100.0	43 17.8	126 52.3	66 27.4	6 2.5
	50歳代	263 100.0	53 20.2	139 52.9	64 24.3	7 2.7
	60歳代	338 100.0	91 26.9	176 52.1	68 20.1	3 0.9
	70歳以上	192 100.0	48 25.0	117 60.9	25 13.0	2 1.0
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	87 16.1	309 57.0	138 25.5
増田地区		74 100.0	13 17.6	48 64.9	13 17.6	- -
平鹿地区		163 100.0	38 23.3	92 56.4	30 18.4	3 1.8
雄物川地区		128 100.0	28 21.9	71 55.5	29 22.7	- -
大森地区		80 100.0	24 30.0	30 37.5	24 30.0	2 2.5
十文字地区		161 100.0	41 25.5	83 51.6	32 19.9	5 3.1
山内地区		48 100.0	12 25.0	28 58.3	7 14.6	1 2.1
大雄地区		72 100.0	10 13.9	40 55.6	21 29.2	1 1.4

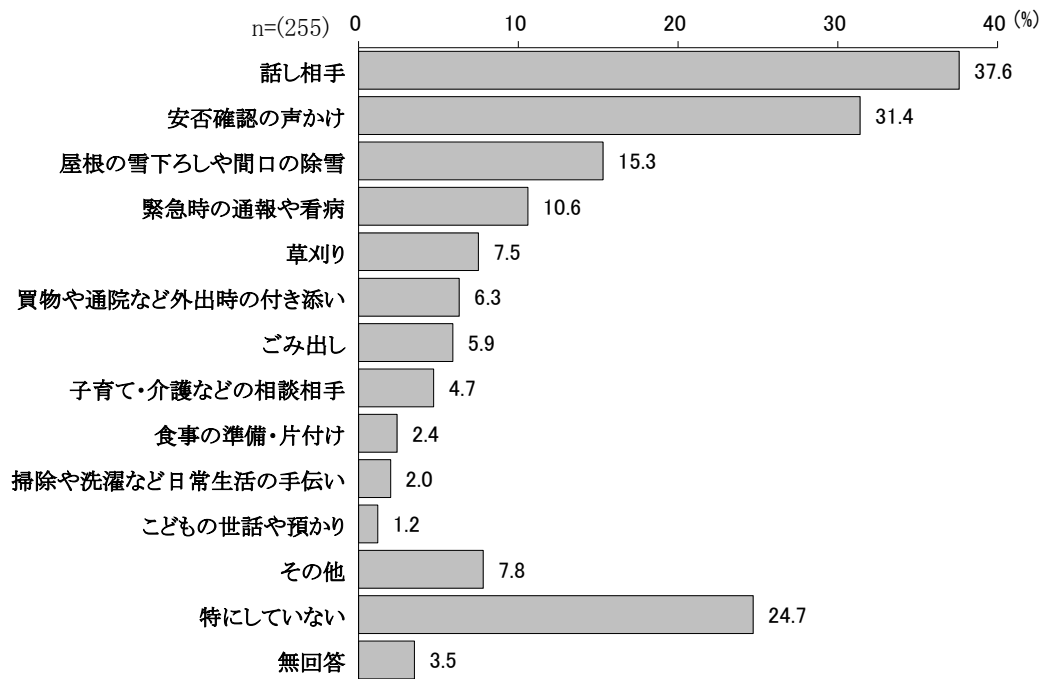
【近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	いる	いない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	255 20.0	705 55.3	294 23.1	20 1.6
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	76 32.5	121 51.7	35 15.0	2 0.9
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	36 27.3	71 53.8	22 16.7	3 2.3
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	87 23.7	208 56.7	66 18.0	6 1.6
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	45 11.1	241 59.7	116 28.7	2 0.5
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	8 6.2	61 46.9	54 41.5	7 5.4
	加域現在状況活動の別	参加している	557 100.0	153 27.5	308 55.3	93 16.7
参加していない		693 100.0	97 14.0	386 55.7	197 28.4	13 1.9
地域への愛着別	ある	1,012 100.0	213 21.0	582 57.5	203 20.1	14 1.4
	ない	248 100.0	38 15.3	116 46.8	88 35.5	6 2.4

(5) 気がかりな人への声かけや手助け

問9で「1. いる」と回答した方のみ

問9-1 あなたは気がかりな人への声かけや手助けなどをしてしていますか。以下であてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)



気がかりな人への声かけや手助けでは、「話し相手」(37.6%)が最も多く、以下「安否確認の声かけ」(31.4%)、「屋根の雪下ろしや間口の除雪」(15.3%)、「緊急時の通報や看病」(10.6%)、「草刈り」(7.5%)、「買物や通院など外出時の付き添い」(6.3%)、「ごみ出し」(5.9%)、「子育て・介護などの相談相手」(4.7%)となっている。

なお、「特にしていない」は24.7%となっている。

性別でみると、男性では「屋根の雪下ろしや間口の除雪」(23.4%)が14.4ポイント、「草刈り」(14.0%)が11.2ポイント女性を上回っている。

年齢(6区分)別でみると、40歳代と70歳以上では「話し相手」が4割以上、40歳代では「安否確認の声かけ」が39.5%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別については基数が少ないため、参考掲載にとどめる。

近所付き合いや交流別でみると、困ったときに助け合う親しい人がいる人は「話し相手」が53.9%、お互いに訪問し合う人がいる人は「安否確認の声かけ」が38.9%となっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「話し相手」(43.1%)が15.3ポイント、「安否確認の声かけ」(34.0%)が5.1ポイント、「屋根の雪下ろしや間口の除雪」(19.0%)が8.7ポイント参加していない人を上回っている。

地域への愛着別では、愛着がある人は「話し相手」(39.4%)が10.5ポイント、「安否確認の声かけ」(32.9%)が9.2ポイント、愛着がない人を上回っている。愛着がない人は「屋根の雪下ろしや間口の除雪」(14.1%)が4.3ポイント、「草刈り」(10.5%)が3.5ポイント愛着がある人を上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

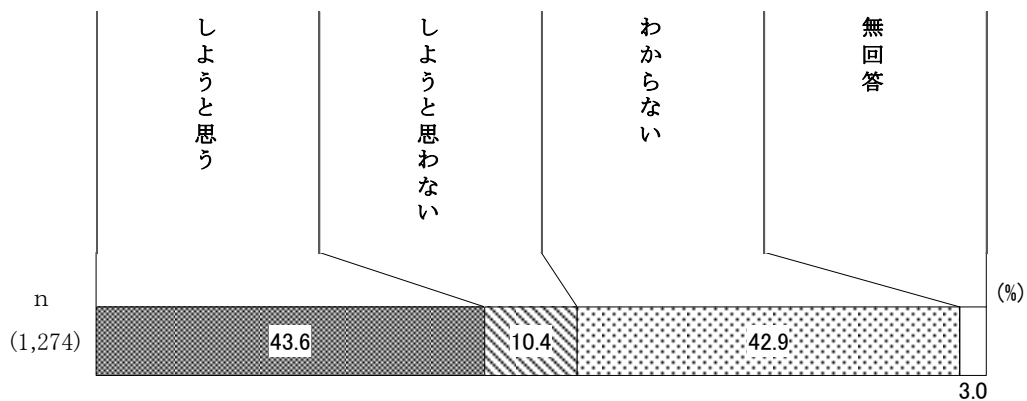
		調査数	話し相手	安否確認の声かけ	屋根の雪下ろしや間口の除雪	緊急時の通報や看病	草刈り	買い物や通院など外出時の付き添	ごみ出し	子育て・介護などの相談相手	食事の準備・片付け	掃除や洗濯など日常生活の手伝	こどもの世話や預かり	その他	特にしていない	無回答	
		上段：件数 下段：%															
全	体	255 100.0	96 37.6	80 31.4	39 15.3	27 10.6	19 7.5	16 6.3	15 5.9	12 4.7	6 2.4	5 2.0	3 1.2	20 7.8	63 24.7	9 3.5	
性	別	男性	107 100.0	40 37.4	34 31.8	25 23.4	14 13.1	15 14.0	5 4.7	4 3.7	3 2.8	2 1.9	-	5 4.7	26 24.3	6 5.6	
	女性	144 100.0	54 37.5	44 30.6	13 9.0	11 7.6	4 2.8	11 7.6	9 6.3	7 4.9	3 2.1	3 2.1	3 2.1	15 10.4	36 25.0	3 2.1	
年	齢	20歳代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 50.0	-
		30歳代	14 100.0	3 21.4	2 14.3	5 35.7	1 7.1	2 14.3	2 14.3	1 7.1	-	1 7.1	1 7.1	-	-	3 21.4	-
		40歳代	43 100.0	19 44.2	17 39.5	6 14.0	7 16.3	4 9.3	3 7.0	2 2.3	2 4.7	-	-	-	2 4.7	13 30.2	1 2.3
		50歳代	53 100.0	20 37.7	20 37.7	7 13.2	4 7.5	3 5.7	5 9.4	5 9.4	6 11.3	3 5.7	2 3.8	-	13.2	7 24.5	13 3.8
		60歳代	91 100.0	31 34.1	27 29.7	12 13.2	8 8.8	7 7.7	5 5.5	5 5.5	1 1.1	1 1.1	2 2.2	2 2.2	6 6.6	22 24.2	2 2.2
		70歳以上	48 100.0	21 43.8	12 25.0	8 16.7	6 12.5	3 6.3	1 2.1	2 4.2	2 4.2	1 2.1	-	-	5 10.4	9 18.8	4 8.3
		居住地区（8区分）別	横手地区	87 100.0	27 31.0	25 28.7	12 13.8	8 9.2	8 9.2	6 6.9	5 5.7	2 2.3	1 1.1	3 3.4	1 1.1	7 8.0	24 27.6
増田地区	13 100.0	4 30.8	3 23.1	3 23.1	2 15.4	3 23.1	3 23.1	2 15.4	2 15.4	-	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-	2 15.4	2 15.4	
平鹿地区	38 100.0	16 42.1	16 42.1	5 13.2	3 7.9	2 5.3	1 2.6	3 7.9	5 13.2	2 2.6	1 2.6	-	-	4 10.5	6 15.8	1 2.6	
雄物川地区	28 100.0	13 46.4	11 39.3	5 17.9	4 14.3	2 7.1	2 7.1	1 3.6	1 3.6	-	-	-	-	-	9 32.1	-	
大森地区	24 100.0	9 37.5	8 33.3	5 20.8	3 12.5	1 4.2	1 4.2	2 8.3	2 8.3	1 4.2	-	-	-	2 8.3	8 33.3	1 4.2	
十文字地区	41 100.0	17 41.5	11 26.8	6 14.6	4 9.8	2 4.9	2 4.9	1 2.4	-	-	-	-	1 2.4	4 9.8	9 22.0	1 2.4	
山内地区	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	-	1 8.3	2 16.7	
大雄地区	10 100.0	4 40.0	2 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 30.0	3 30.0	-	

【近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	話し相手	安否確認の声かけ	屋根の雪下ろしや間口の除雪	緊急時の通報や看病	草刈り	買い物や通院など外出時の付き添	ごみ出し	子育て・介護などの相談相手	食事の準備・片付け	掃除や洗濯など日常生活の手伝	こどもの世話や預かり	その他	特にしていない	無回答		
		上段：件数 下段：%																
全	体	255 100.0	96 37.6	80 31.4	39 15.3	27 10.6	19 7.5	16 6.3	15 5.9	12 4.7	6 2.4	5 2.0	3 1.2	20 7.8	63 24.7	9 3.5		
近	所	困ったときに助け合う 親しい人がいる	76 100.0	41 53.9	28 36.8	12 15.8	12 15.8	5 6.6	7 9.2	4 5.3	3 3.9	2 2.6	1 1.3	-	7 9.2	11 14.5	2 2.6	
		お互いに訪問し合う人 がいる	36 100.0	12 33.3	14 38.9	4 11.1	4 11.1	2 5.6	3 8.3	2 5.6	1 2.8	-	1 2.8	1 2.8	2 5.6	7 19.4	1 2.8	
		立ち話をする程度の人 がいる	87 100.0	29 33.3	24 27.6	15 17.2	6 6.9	7 8.0	2 2.3	5 5.7	6 6.9	2 2.3	2 1.1	-	10 11.5	27 31.0	3 3.4	
		会うとあいさつをする 程度の人がいる	45 100.0	10 22.2	10 22.2	6 13.3	3 6.7	4 8.9	3 6.7	3 6.7	3 6.7	1 2.2	2 4.4	2 4.4	-	-	15 33.3	3 6.7
		ほとんど近所の付き合い はない	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-	-	2 25.0	-	2 25.0	-
加	城	参加している	153 100.0	66 43.1	52 34.0	29 19.0	17 11.1	12 7.8	6 3.9	9 5.9	9 5.9	2 1.3	2 1.3	1 0.7	11 7.2	34 22.2	5 3.3	
		参加していない	97 100.0	27 27.8	28 28.9	10 10.3	10 10.3	7 7.2	10 10.3	6 6.2	3 3.1	4 4.1	3 3.1	2 2.1	9 9.3	28 28.9	3 3.1	
地	域	愛着への ある	213 100.0	84 39.4	70 32.9	30 14.1	23 10.8	15 7.0	14 6.6	12 5.6	9 4.2	6 2.8	5 2.3	2 0.9	18 8.5	52 24.4	6 2.8	
		ない	38 100.0	11 28.9	9 23.7	7 18.4	3 7.9	4 10.5	2 5.3	1 2.6	2 5.3	-	-	1 2.6	2 5.3	9 23.7	3 7.9	

(6) 不安や悩みを抱えている人への声かけや手助け

問10 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声かけや手助けをしようと思いますか。(ひとつだけ○)



不安や悩みを抱えている人への声かけや手助けでは、「しようと思う」(43.6%)と「わからない」(42.9%)が拮抗し、「しようと思わない」(10.4%)は少ない割合となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢(6区分)別でみると、60歳以上では「しようと思う」が約5割と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、雄物川地区、山内地区では「しようと思う」、増田地区、大雄地区では「わからない」がいずれも5割以上と他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、困ったときに助け合う親しい人がいる人、お互いに訪問し合う人がいる人は「しようと思う」が5割以上となっている。一方、近所付き合いがない人ほど「しようと思わない」が多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は54.8%と参加していない人(34.3%)を20.5ポイント上回っている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は「しようと思う」が48.5%と愛着がない人(23.4%)を25.1ポイント上回っている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	しようと思う	しようと思わない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	556 43.6	133 10.4	547 42.9	38 3.0
性別	男性	591 100.0	256 43.3	71 12.0	249 42.1	15 2.5
	女性	671 100.0	295 44.0	62 9.2	292 43.5	22 3.3
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	44 44.0	13 13.0	40 40.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	52 39.4	17 12.9	63 47.7	- -
	40歳代	241 100.0	97 40.2	23 9.5	116 48.1	5 2.1
	50歳代	263 100.0	98 37.3	32 12.2	123 46.8	10 3.8
	60歳代	338 100.0	163 48.2	31 9.2	133 39.3	11 3.3
	70歳以上	192 100.0	98 51.0	17 8.9	69 35.9	8 4.2
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	232 42.8	52 9.6	247 45.6	11 2.0
	増田地区	74 100.0	25 33.8	8 10.8	41 55.4	- -
	平鹿地区	163 100.0	73 44.8	19 11.7	66 40.5	5 3.1
	雄物川地区	128 100.0	68 53.1	13 10.2	45 35.2	2 1.6
	大森地区	80 100.0	33 41.3	11 13.8	27 33.8	9 11.3
	十文字地区	161 100.0	69 42.9	21 13.0	63 39.1	8 5.0
	山内地区	48 100.0	24 50.0	2 4.2	21 43.8	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	28 38.9	7 9.7	36 50.0	1 1.4

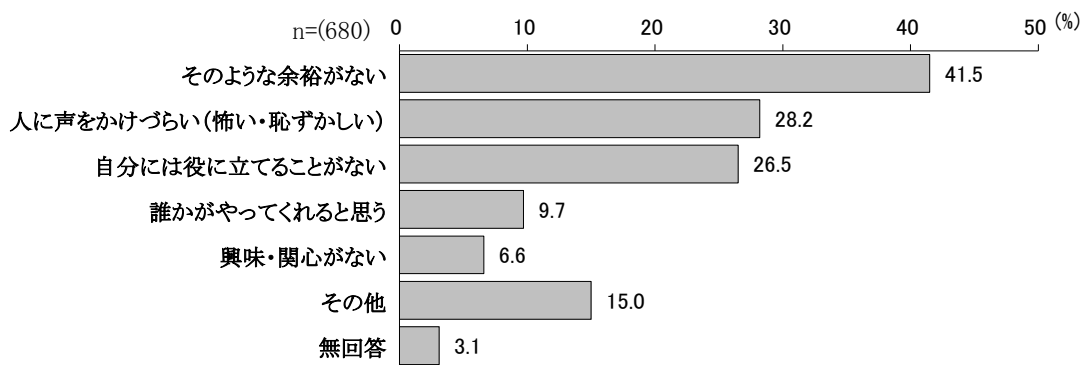
【近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	しようと思う	しようと思わない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	556 43.6	133 10.4	547 42.9	38 3.0
近所 付き 合い や 交 流 別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	157 67.1	7 3.0	61 26.1	9 3.8
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	77 58.3	5 3.8	47 35.6	3 2.3
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	157 42.8	38 10.4	162 44.1	10 2.7
	会うとあいさつをする 程度の人がいる	404 100.0	134 33.2	52 12.9	211 52.2	7 1.7
	ほとんど近所の付き合 いはない	130 100.0	28 21.5	31 23.8	63 48.5	8 6.2
加域現 状活在 況動の 別参地	参加している	557 100.0	305 54.8	43 7.7	201 36.1	8 1.4
	参加していない	693 100.0	238 34.3	90 13.0	339 48.9	26 3.8
地 域 へ の 愛 着 別	ある	1,012 100.0	491 48.5	87 8.6	409 40.4	25 2.5
	ない	248 100.0	58 23.4	45 18.1	135 54.4	10 4.0



## (7) 声かけや手助けをしようと思わない理由

問10で「2. しようと思わない」「3. わからない」と回答した方のみ  
問10-1 その理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



声かけや手助けをしようと思わない理由では、「そのような余裕がない」(41.5%)が最も多く、以下「人に声をかけづらい(怖い・恥ずかしい)」(28.2%)、「自分には役に立てることがない」(26.5%)となっている。

なお、「誰かがやってくれると思う」は9.7%、「興味・関心がない」は6.6%となっている。

また、「その他」(15.0%)の内容については、“相手や内容・状況による”、“おせっかいだと思われそうだから”、“自分や家族がトラブルに巻き込まれそうだから”などが挙げられている。

性別で見ると、男性では「誰かがやってくれると思う」が13.1%と、女性(6.2%)を6.9ポイント上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、20~30歳代では「人に声をかけづらい(怖い・恥ずかしい)」が4割以上、40~50歳代では「そのような余裕がない」が約5割と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別で見ると、雄物川地区では「自分には役に立てることがない」が最も多く、それ以外の地区では「そのような余裕がない」が最も多くなっている。

自身の生活の経済的状況別で見ると、ゆとりがない人ほど「そのような余裕がない」が多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

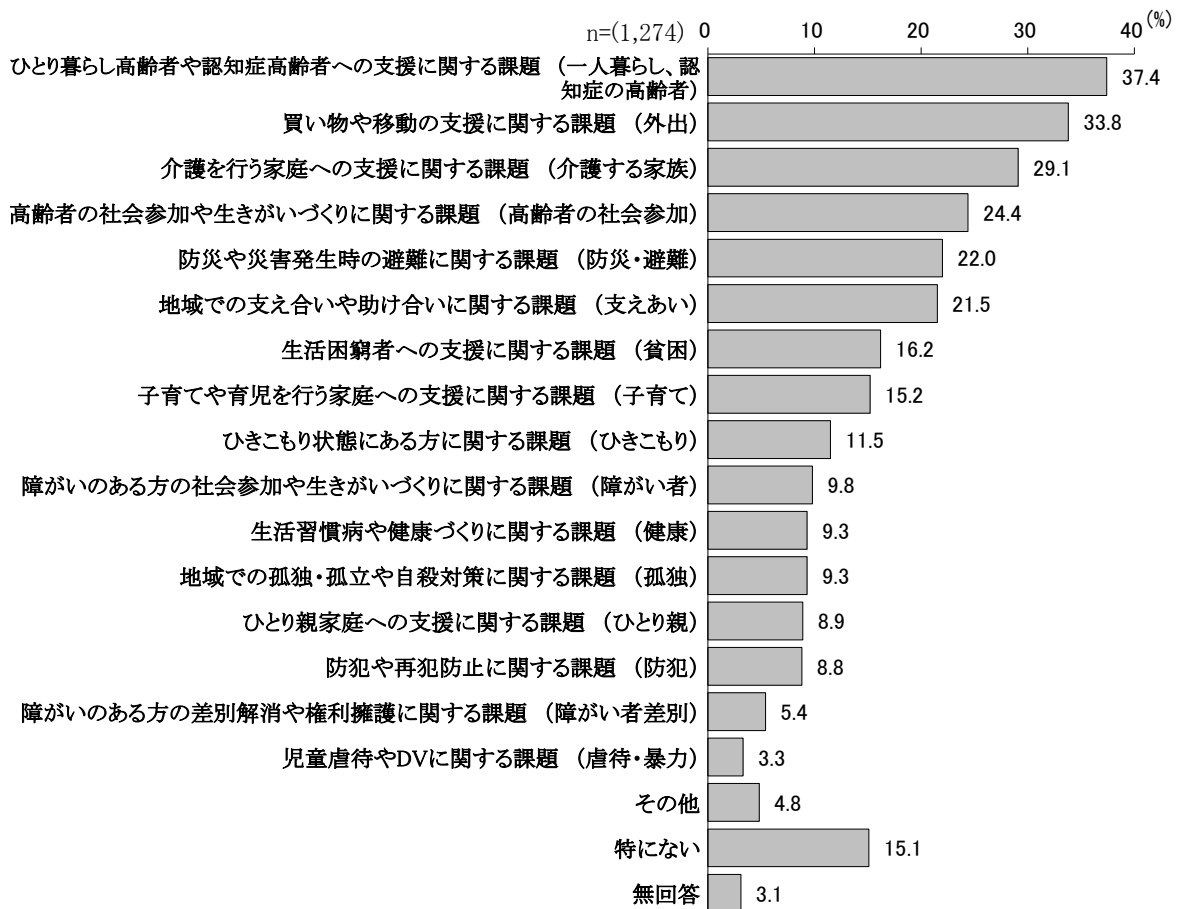
		調査数	そのような余裕がない	人に声をかけづらい（怖い・恥ずかしい）	自分には役に立てることがない	誰かがやってくれると思う	興味・関心がない	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全 体		680 100.0	282 41.5	192 28.2	180 26.5	66 9.7	45 6.6	102 15.0	21 3.1
性別	男性	320 100.0	136 42.5	93 29.1	81 25.3	42 13.1	24 7.5	42 13.1	11 3.4
	女性	354 100.0	143 40.4	97 27.4	94 26.6	22 6.2	19 5.4	60 16.9	10 2.8
年齢（6区分）別	20歳代	53 100.0	11 20.8	26 49.1	15 28.3	4 7.5	5 9.4	7 13.2	3 5.7
	30歳代	80 100.0	31 38.8	33 41.3	23 28.8	10 12.5	8 10.0	9 11.3	1 1.3
	40歳代	139 100.0	72 51.8	41 29.5	33 23.7	6 4.3	15 10.8	23 16.5	1 0.7
	50歳代	155 100.0	77 49.7	37 23.9	37 23.9	13 8.4	8 5.2	18 11.6	2 1.3
	60歳代	164 100.0	63 38.4	39 23.8	47 28.7	16 9.8	4 2.4	33 20.1	8 4.9
	70歳以上	86 100.0	27 31.4	16 18.6	25 29.1	17 19.8	4 4.7	12 14.0	5 5.8
居住地区（8区分）別	横手地区	299 100.0	116 38.8	93 31.1	68 22.7	35 11.7	23 7.7	53 17.7	11 3.7
	増田地区	49 100.0	21 42.9	15 30.6	7 14.3	4 8.2	3 6.1	8 16.3	1 2.0
	平鹿地区	85 100.0	45 52.9	18 21.2	32 37.6	4 4.7	4 4.7	6 7.1	4 4.7
	雄物川地区	58 100.0	18 31.0	16 27.6	20 34.5	7 12.1	4 6.9	8 13.8	2 3.4
	大森地区	38 100.0	21 55.3	12 31.6	8 21.1	3 7.9	3 7.9	4 10.5	2 5.3
	十文字地区	84 100.0	33 39.3	26 31.0	26 31.0	5 6.0	3 3.6	11 13.1	- -
	山内地区	23 100.0	10 43.5	3 13.0	8 34.8	- -	2 8.7	2 8.7	1 4.3
	大雄地区	43 100.0	18 41.9	9 20.9	11 25.6	8 18.6	2 4.7	10 23.3	- -

## 【自身の生活の経済的状況別】

		調査数	そのような余裕がない	人に声をかけづらい（怖い・恥ずかしい）	自分には役に立てることがない	誰かがやってくれると思う	興味・関心がない	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全 体		680 100.0	282 41.5	192 28.2	180 26.5	66 9.7	45 6.6	102 15.0	21 3.1
自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	22 100.0	3 13.6	3 13.6	2 9.1	1 4.5	3 13.6	9 40.9	3 13.6
	普通だと感じている	226 100.0	66 29.2	78 34.5	56 24.8	24 10.6	17 7.5	37 16.4	5 2.2
	ゆとりはないが、なんとか生活している	348 100.0	157 45.1	92 26.4	100 28.7	37 10.6	21 6.0	50 14.4	11 3.2
	ゆとりはなく、生活が苦しい	83 100.0	56 67.5	19 22.9	22 26.5	4 4.8	3 3.6	6 7.2	2 2.4

(8) 自身の住んでいる地域やその周辺での困りごと

問11 あなたは、あなたがお住まいの地域やその周辺には、どのような困りごとがあると感じていますか。(あてはまるものすべてに○)



自身の住んでいる地域やその周辺での困りごとでは、「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題 (一人暮らし、認知症の高齢者)」(37.4%) が最も多く、以下「買い物や移動の支援に関する課題 (外出)」(33.8%)、「介護を行う家庭への支援に関する課題 (介護する家族)」(29.1%)、「高齢者の社会参加や生きがいづくりに関する課題 (高齢者の社会参加)」(24.4%)、「防災や災害発生時の避難に関する課題 (防災・避難)」(22.0%)、「地域での支え合いや助け合いに関する課題 (支えあい)」(21.5%)、「生活困窮者への支援に関する課題 (貧困)」(16.2%)、「子育てや育児を行い家庭への支援に関する課題 (子育て)」(15.2%)、「ひきこもり状態にある方に関する課題 (ひきこもり)」(11.5%)、「障がいのある方の社会参加や生きがいづくりに関する課題 (障がい者)」(9.8%)」となっている。

なお、「特にない」は15.1%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢（6区分）別でみると、20～30歳代では「子育てや育児を行う家庭への支援に関する課題（子育て）」が3割以上、「ひとり親家庭への支援に関する課題（ひとり親）」が1割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。40～60歳代では「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題（一人暮らし、認知症の高齢者）」が約4割と他の年齢層に比べて多くなっている。また、概ね年齢が高いほど「防災や災害発生時の避難に関する課題（防災・避難）」が多くなっている。

居住地区（8区分）別でみると、増田地区、平鹿地区、大森地区では「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題（一人暮らし、認知症の高齢者）」が4割以上、平鹿地区では「介護を行う家庭への支援に関する課題（介護する家族）」が39.9%、大森地区、山内地区では「買い物や移動の支援に関する課題（外出）」が4割以上、大森地区では「地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）」が32.5%とそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、いずれも「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題（一人暮らし、認知症の高齢者）」が最も多く、単身（一人暮らし）世帯、夫婦のみの世帯では約4割と他の家族構成に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、ゆとりがない人ほど「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題（一人暮らし、認知症の高齢者）」、「生活困窮者への支援に関する課題（貧困）」が多く、ゆとりはなく、生活が苦しい人は4割以上となっている。

近所付き合いや交流別でみると、ほとんど近所の付き合いはない人は「地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）」が11.5%と付き合いや交流がある人に比べて少なくなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）」が27.1%と参加していない人（16.6%）を10.5ポイント上回っている。

現在の職業別でみると、農林水産業、自営業・自由業では「地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）」が2割以上と地域に根差した職業の人は他の職業に比べて多くなっている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は「地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）」が22.5%と愛着がない人（17.7%）を4.8ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

	調査数	上段：件数 下段：%	ひとり暮らしの高齢者や認知症の高齢者（一人暮らし）	買い物や移動の支援に関する課題（外出）	介護を行う家庭への支援に関する課題（介護する家族）	高齢者の社会参加や生きがいづくりに関する課題（高齢者の社会参加）	防災や災害発生時の避難に関する課題（防災・避難）	地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）	生活困窮者への支援に関する課題（貧困）	子育てや育児を行う家庭への支援に関する課題（子育て）	ひきこもり状態にある方に関する課題（ひきこもり）	障がいのある方に関する課題（障がい者）
全体	1,274 100.0	476 37.4	430 33.8	371 29.1	311 24.4	280 22.0	274 21.5	206 16.2	194 15.2	146 11.5	125 9.8	
性別	男性	591 100.0	209 35.4	188 31.8	174 29.4	141 23.9	124 21.0	145 24.5	98 16.6	99 16.8	65 11.0	44 7.4
	女性	671 100.0	262 39.0	239 35.6	191 28.5	169 25.2	153 22.8	128 19.1	106 15.8	92 13.7	80 11.9	81 12.1
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	25 25.0	32 32.0	23 23.0	21 21.0	10 10.0	19 19.0	17 17.0	30 30.0	11 11.0	11 11.0
	30歳代	132 100.0	47 35.6	51 38.6	39 29.5	26 19.7	26 19.7	20 15.2	27 20.5	52 39.4	19 14.4	18 13.6
	40歳代	241 100.0	102 42.3	87 36.1	82 34.0	59 24.5	53 22.0	46 19.1	37 15.4	57 23.7	29 12.0	31 12.9
	50歳代	263 100.0	105 39.9	91 34.6	87 33.1	58 22.1	48 18.3	48 18.3	41 15.6	26 9.9	23 8.7	24 9.1
	60歳代	338 100.0	136 40.2	110 32.5	98 29.0	92 27.2	88 26.0	87 25.7	53 15.7	26 7.7	41 12.1	24 7.1
	70歳以上	192 100.0	56 29.2	55 28.6	38 19.8	38 28.1	54 27.1	52 26.6	51 15.1	29 1.0	2 10.9	21 8.9
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	191 35.2	177 32.7	151 27.9	118 21.8	118 21.8	102 18.8	83 15.3	87 16.1	56 10.3
増田地区	74 100.0	33 44.6	22 29.7	22 29.7	21 28.4	17 23.0	14 18.9	12 16.2	9 12.2	9 12.2	7 9.5	
平鹿地区	163 100.0	68 41.7	58 35.6	65 39.9	52 31.9	31 19.0	45 27.6	29 17.8	27 16.6	27 16.6	26 16.0	
雄物川地区	128 100.0	45 35.2	45 35.2	37 28.9	28 21.9	31 24.2	33 25.8	22 17.2	22 17.2	17 13.3	9 7.0	
大森地区	80 100.0	35 43.8	39 48.8	24 30.0	20 25.0	18 22.5	26 32.5	11 13.8	10 12.5	9 11.3	6 7.5	
十文字地区	161 100.0	56 34.8	45 28.0	40 24.8	41 25.5	39 24.2	34 21.1	26 16.1	22 13.7	20 12.4	10 6.2	
山内地区	48 100.0	19 39.6	20 41.7	11 22.9	10 20.8	12 25.0	9 18.8	6 12.5	6 12.5	3 6.3	5 10.4	
大雄地区	72 100.0	26 36.1	22 30.6	18 25.0	20 27.8	12 16.7	10 13.9	16 22.2	10 13.9	4 5.6	9 12.5	

	調査数	上段：件数 下段：%	生活習慣病や健康づくりに関する課題（健康）	地域での孤独・孤立や自殺対策に関する課題（孤独・孤立）	ひとり暮らしの高齢者や認知症の高齢者への支援に関する課題（ひとり暮らし）	（防犯）再犯防止に関する課題	別種障がいのある方に関する課題（障がい者差別）	（虐待・暴力）児童虐待やDVに関する課題	その他	特になし	無回答	
全体	1,274 100.0	119 9.3	118 9.3	114 8.9	112 8.8	69 5.4	42 3.3	61 4.8	192 15.1	39 3.1		
性別	男性	591 100.0	58 9.8	43 7.3	50 8.5	55 9.3	23 3.9	12 2.0	24 4.1	95 16.1	14 2.4	
	女性	671 100.0	60 8.9	73 10.9	62 9.2	57 8.5	45 6.7	30 4.5	37 5.5	96 14.3	22 3.3	
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	14 14.0	9 9.0	15 15.0	8 8.0	7 7.0	8 8.0	4 4.0	19 19.0	2 2.0	
	30歳代	132 100.0	16 12.1	21 15.9	19 14.4	13 9.8	10 7.6	7 5.3	10 7.6	14 10.6	-	
	40歳代	241 100.0	15 6.2	18 11.6	28 11.6	18 7.5	25 10.4	15 6.2	14 5.8	11 4.6	32 13.3	2 0.8
	50歳代	263 100.0	12 4.6	18 6.8	20 7.6	21 8.0	16 6.1	7 2.7	20 7.6	44 16.7	8 3.0	
	60歳代	338 100.0	35 10.4	27 8.0	32 9.5	24 7.1	10 3.0	2 0.6	9 2.7	52 15.4	9 2.7	
	70歳以上	192 100.0	26 13.5	13 6.8	8 4.2	21 10.9	11 5.7	4 2.1	6 3.1	31 16.1	16 8.3	
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	52 9.6	45 8.3	48 8.9	48 8.9	22 4.1	24 4.4	33 6.1	92 17.0	15 2.8
増田地区	74 100.0	8 10.8	10 13.5	5 6.8	9 12.2	5 6.8	1 1.4	3 4.1	12 16.2	2 2.7		
平鹿地区	163 100.0	11 6.7	16 9.8	16 9.8	15 9.2	17 10.4	5 3.1	7 4.3	19 11.7	4 2.5		
雄物川地区	128 100.0	17 13.3	11 8.6	9 7.0	14 10.9	5 3.9	3 2.3	5 3.9	16 12.5	3 2.3		
大森地区	80 100.0	7 8.8	8 10.0	10 12.5	3 3.8	5 6.3	4 5.0	2 2.5	5 6.3	5 6.3		
十文字地区	161 100.0	15 9.3	17 10.6	13 8.1	14 8.7	4 2.5	3 1.9	7 4.3	25 15.5	3 1.9		
山内地区	48 100.0	2 4.2	6 12.5	7 14.6	7 14.6	6 12.5	2 4.2	1 2.1	12 25.0	2 4.2		
大雄地区	72 100.0	6 8.3	3 4.2	4 5.6	2 2.8	5 6.9	-	3 4.2	10 13.9	3 4.2		

【家族構成別・自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別】

	調査数	ひとり暮らしの高齢者や認知症の高齢者への支援に関する課題（一人暮らしの高齢者）	買い物や移動の支援に関する課題（外出）	介護を行う家庭への支援に関する課題（介護する家族）	高齢者の社会参加や生きがいづくりに関する課題（高齢者の社会参加）	防災や災害発生時の避難に関する課題（防災・避難）	地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）	生活困窮者への支援に関する課題（貧困）	子育てや育児を行う家庭への支援	課題（ひきこもり）	課題（ひきこもり）	障がいのある方への社会参加や生きがいづくりに関する課題（障がい者）
全体	1,274 100.0	476 37.4	430 33.8	371 29.1	311 24.4	280 22.0	274 21.5	206 16.2	194 15.2	146 11.5	146 11.5	125 9.8
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	41 43.2	38 40.0	24 25.3	20 21.1	25 26.3	25 26.3	5 5.3	8 8.4	8 8.4	11 11.6
	夫婦のみの世帯	272 100.0	106 39.0	86 31.6	73 26.8	62 22.8	63 23.2	49 18.0	34 12.5	21 7.7	27 9.9	16 5.9
	親子2世代世帯	607 100.0	221 36.4	204 33.6	192 31.6	152 25.0	115 18.9	145 23.9	110 18.1	115 18.9	70 11.5	69 11.4
	親子孫3世代世帯	253 100.0	91 36.0	91 36.0	68 26.9	63 24.9	66 26.1	43 17.0	28 11.1	46 18.2	32 12.6	20 7.9
	その他	39 100.0	13 33.3	7 17.9	10 25.6	12 30.8	7 17.9	9 23.1	7 17.9	6 15.4	6 15.4	7 17.9
	自身の生活別	45 100.0	12 26.7	18 40.0	8 17.8	10 22.2	6 13.3	7 15.6	2 4.4	12 26.7	6 13.3	6 13.3
自身の生活別 経済的	普通だと感じている	450 100.0	175 38.9	146 32.4	125 27.8	109 24.2	100 22.2	97 21.6	50 11.1	62 13.8	46 10.2	46 10.2
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	223 34.7	218 34.0	187 29.1	163 25.4	152 23.7	148 23.1	98 15.3	95 14.8	77 12.0	60 9.3
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	63 47.7	46 34.8	48 36.4	28 21.2	20 15.2	21 15.9	55 41.7	24 18.2	16 12.1	18 13.6
	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	77 32.9	80 34.2	64 27.4	65 27.8	51 21.8	62 26.5	27 11.5	37 15.8	24 10.3	22 9.4
近所付き合いや交流別	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	48 36.4	48 36.4	36 27.3	41 31.1	38 28.8	49 37.1	24 18.2	14 10.6	15 11.4	14 10.6
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	140 38.1	121 33.0	88 24.0	80 21.8	80 21.8	76 20.7	53 14.4	41 11.2	45 12.3	28 7.6
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	155 38.4	132 32.7	141 34.9	97 24.0	85 21.0	71 17.6	68 16.8	70 17.3	43 10.6	43 10.6
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	52 40.0	47 36.2	39 30.0	27 20.8	24 18.5	15 11.5	33 25.4	31 23.8	18 13.8	17 13.1
	その他	130 100.0	52 40.0	47 36.2	39 30.0	27 20.8	24 18.5	15 11.5	33 25.4	31 23.8	18 13.8	17 13.1

	調査数	生活習慣病や健康づくりに関する課題（健康）	地域での孤独・孤立や自殺対策に関する課題（孤独）	ひとり親家庭への支援に関する課題（ひとり親）	（防犯）再犯防止に関する課題	別）障がいのある方への差別解消や権利擁護に関する課題（児童虐待やDVに関する課題）	その他	特になし	無回答		
										上段：件数 下段：%	上段：件数 下段：%
全体	1,274 100.0	119 9.3	118 9.3	114 8.9	112 8.8	69 5.4	42 3.3	61 4.8	192 15.1	39 3.1	
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	16 16.8	15 15.8	6 6.3	6 6.3	4 4.2	5 4.2	14 14.7	2 2.1	
	夫婦のみの世帯	272 100.0	20 7.4	20 7.4	14 5.1	28 10.3	7 2.6	3 1.1	14 5.1	55 20.2	6 2.2
	親子2世代世帯	607 100.0	56 9.2	55 9.1	70 11.5	56 9.2	40 6.6	26 4.3	28 4.6	74 12.2	20 3.3
	親子孫3世代世帯	253 100.0	21 8.3	22 8.7	19 7.5	18 7.1	12 4.7	6 2.4	13 5.1	40 15.8	8 3.2
	その他	39 100.0	3 7.7	3 7.7	3 7.7	3 7.7	5 12.8	1 2.6	2 5.1	9 23.1	1 2.6
	自身の生活別	45 100.0	3 6.7	2 4.4	3 6.7	2 4.4	2 4.4	1 2.2	7 15.6	7 15.6	-
自身の生活別 経済的	普通だと感じている	450 100.0	42 9.3	31 6.9	28 6.2	37 8.2	18 4.0	13 2.9	17 3.8	65 14.4	17 3.8
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	58 9.0	67 10.4	58 9.0	62 9.7	37 5.8	21 3.3	29 4.5	102 15.9	19 3.0
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	15 11.4	16 12.1	23 17.4	11 8.3	12 9.1	7 5.3	8 6.1	18 13.6	1 0.8
	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	20 8.5	16 6.8	18 7.7	18 7.7	9 3.8	5 2.1	8 3.4	38 16.2	12 5.1
近所付き合いや交流別	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	15 11.4	13 9.8	11 8.3	14 10.6	7 5.3	2 1.5	8 6.1	12 9.1	3 2.3
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	31 8.4	22 6.0	29 7.9	25 6.8	17 4.6	9 2.5	14 3.8	60 16.3	10 2.7
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	38 9.4	48 11.9	41 10.1	43 10.6	30 7.4	17 4.2	23 5.7	58 14.4	11 2.7
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	14 10.8	17 13.1	13 10.0	12 9.2	6 4.6	9 6.9	7 5.4	24 18.5	1 0.8
	その他	130 100.0	14 10.8	17 13.1	13 10.0	12 9.2	6 4.6	9 6.9	7 5.4	24 18.5	1 0.8

【現在の地域活動参加状況別・現在の職業別・地域への愛着別】

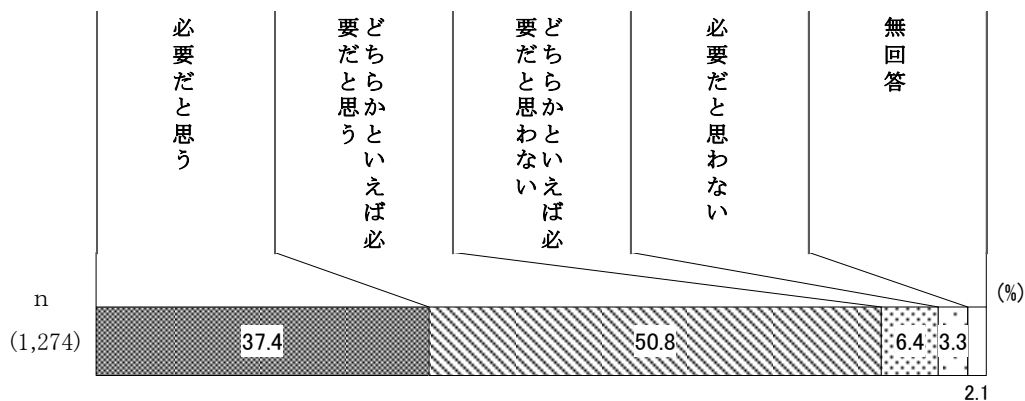
		調査数	ひとり暮らしの高齢者や認知症の高齢者	買い物や移動の支援に関する課題（外出）	介護を行う家庭への支援に関する課題（介護する家族）	高齢者の社会参加や生きがいづくりに関する課題（高齢者の社会参加）	防災や災害発生時の避難に関する課題（防災・避難）	地域での支え合いや助け合いに関する課題（支えあい）	生活困窮者への支援に関する課題（貧困）	子育てや育児を行う家庭への支援	ひきこもり状態にある方に関する課題（ひきこもり）	障がいのある方に関する課題（障がい者）
全体		1,274 100.0	476 37.4	430 33.8	371 29.1	311 24.4	280 22.0	274 21.5	206 16.2	194 15.2	146 11.5	125 9.8
加域現在状況別	参加している	557 100.0	208 37.3	185 33.2	155 27.8	151 27.1	137 24.6	151 27.1	74 13.3	76 13.6	60 10.8	42 7.5
	参加していない	693 100.0	261 37.7	239 34.5	210 30.3	152 21.9	138 19.9	115 16.6	129 18.6	116 16.7	83 12.0	81 11.7
現在の職業別	農林水産業	66 100.0	19 28.8	21 31.8	13 19.7	15 22.7	17 25.8	18 27.3	8 12.1	8 12.1	11 16.7	6 9.1
	自営業・自由業	104 100.0	36 34.6	39 37.5	25 24.0	25 24.0	19 18.3	27 26.0	20 19.2	16 15.4	11 10.6	11 10.6
	会社員・公務員・団体職員等	549 100.0	228 41.5	186 33.9	188 34.2	131 23.9	106 19.3	109 19.9	87 15.8	115 20.9	56 10.2	49 8.9
	パート・アルバイト	188 100.0	74 39.4	73 38.8	53 28.2	46 24.5	46 24.5	40 21.3	38 20.2	24 12.8	28 14.9	17 9.0
	学生	16 100.0	3 18.8	7 43.8	5 31.3	5 31.3	5 18.8	3 25.0	4 12.5	2 18.8	3 18.8	2 12.5
	無職	210 100.0	68 32.4	67 31.9	49 23.3	55 26.2	46 21.9	43 20.5	31 14.8	9 4.3	20 9.5	26 12.4
	家事専業	103 100.0	33 32.0	30 29.1	28 27.2	25 24.3	33 32.0	29 28.2	16 15.5	12 11.7	13 12.6	9 8.7
	その他	27 100.0	10 37.0	3 11.1	7 25.9	7 25.9	7 25.9	2 7.4	1 3.7	6 22.2	3 11.1	5 18.5
	地域への愛着別	ある	1,012 100.0	370 36.6	345 34.1	286 28.3	261 25.8	228 22.5	228 22.5	151 14.9	152 15.0	107 10.6
ない		248 100.0	100 40.3	79 31.9	79 31.9	46 18.5	45 18.1	44 17.7	52 21.0	38 15.3	37 14.9	30 12.1

		調査数	生活習慣病や健康づくりに関する課題	地域での孤立や孤独に関する課題（健康づくり）	ひとり暮らしの高齢者や認知症の高齢者に関する課題（ひとり親）	防犯や再犯防止に関する課題（防犯）	障がい者や高齢者に関する課題（障がい者差別）	児童虐待やDVに関する課題（虐待・暴力）	その他	特になし	無回答
全体		1,274 100.0	119 9.3	118 9.3	114 8.9	112 8.8	69 5.4	42 3.3	61 4.8	192 15.1	39 3.1
加域現在状況別	参加している	557 100.0	43 7.7	43 7.7	48 8.6	48 8.6	27 4.8	10 1.8	21 3.8	87 15.6	20 3.6
	参加していない	693 100.0	70 10.1	73 10.5	64 9.2	62 8.9	40 5.8	32 4.6	38 5.5	104 15.0	17 2.5
現在の職業別	農林水産業	66 100.0	6 9.1	2 3.0	3 4.5	6 9.1	5 7.6	1 1.5	2 3.0	11 16.7	2 3.0
	自営業・自由業	104 100.0	8 7.7	9 8.7	13 12.5	8 7.7	7 6.7	1 1.0	5 4.8	18 17.3	6 5.8
	会社員・公務員・団体職員等	549 100.0	51 9.3	52 9.5	59 10.7	50 9.1	29 5.3	25 4.6	32 5.8	72 13.1	10 1.8
	パート・アルバイト	188 100.0	15 8.0	20 10.6	14 7.4	19 10.1	9 4.8	6 3.2	8 4.3	29 15.4	4 2.1
	学生	16 100.0	2 12.5	2 12.5	2 12.5	3 18.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 12.5	-
	無職	210 100.0	21 10.0	14 6.7	9 4.3	14 6.7	7 3.3	2 1.0	8 3.8	33 15.7	10 4.8
	家事専業	103 100.0	10 9.7	13 12.6	7 6.8	7 6.8	7 6.8	3 2.9	4 3.9	17 16.5	4 3.9
	その他	27 100.0	5 18.5	4 14.8	5 18.5	5 18.5	1 3.7	2 7.4	1 3.7	9 33.3	-
	地域への愛着別	ある	1,012 100.0	103 10.2	88 8.7	82 8.1	83 8.2	53 5.2	30 3.0	43 4.2	149 14.7
ない		248 100.0	14 5.6	27 10.9	30 12.1	27 10.9	15 6.0	12 4.8	18 7.3	41 16.5	7 2.8



## (9) 困りごとの解決のための住民同士の支え合い・助け合いの必要性

問12 あなたは、上記（問11）のような困りごとの解決のために、住民同士の支え合い・助け合いが必要だと思いますか。（ひとつだけ○）



困りごとの解決のための住民同士の支え合い・助け合いの必要性では、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』が88.2%、「どちらかといえば必要だと思わない」と「必要だと思わない」を合わせた『必要だと思わない』が9.7%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢（6区分）別でみると、概ね年齢が高いほど『必要だと思う』が多く、年齢が低いほど『必要だと思わない』が多くなっている。

居住地区（8区分）別でみると、横手地区、平鹿地区、大雄地区では『必要だと思わない』が1割以上と他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、いずれも『必要だと思う』が7割以上となっており、単身（一人暮らし）世帯では「必要だと思う」が44.2%と他の家族構成に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、いずれも『必要だと思う』が8割以上となっており、ゆとりがない人は「必要だと思う」が約3割とゆとりがある人に比べて少なくなっている。

近所付き合いや交流別でみると、いずれも『必要だと思う』が7割以上となっている。ほとんど近所の付き合いはない人は『必要だと思わない』が23.8%と付き合いや交流がある人に比べて多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、いずれも『必要だと思う』が8割以上となっている。参加していない人は『必要だと思わない』が12.1%と参加している人（7.2%）を4.9ポイント上回っている。

現在の職業別でみると、いずれも『必要だと思う』が8割以上となっている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は『必要だと思う』が90.9%と愛着がない人（77.1%）を13.8ポイント上回っている。愛着がない人は『必要だと思わない』が20.6%と愛着がある人（7.1%）を13.5ポイント上回っている。

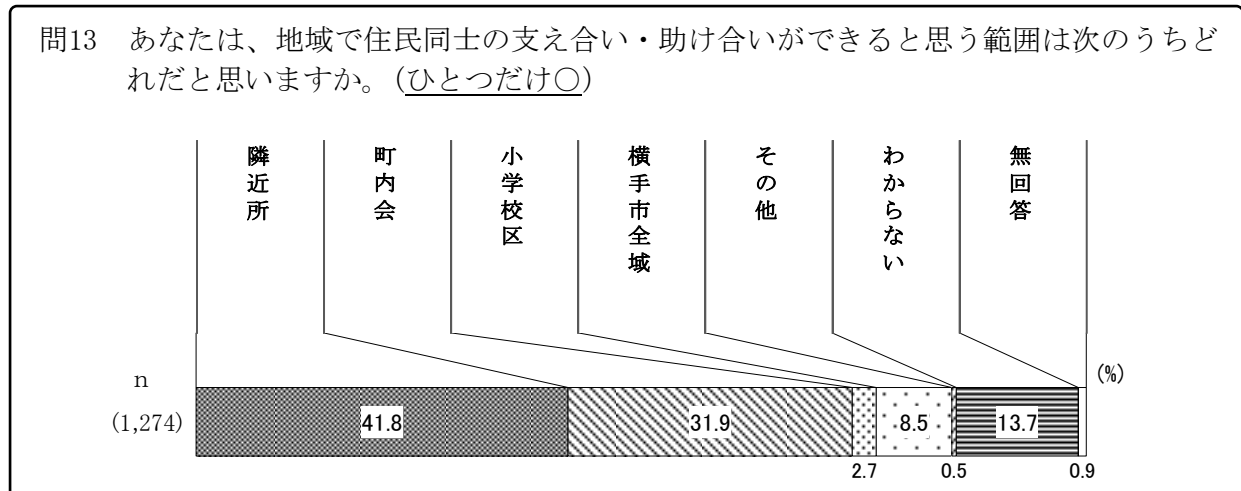
【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だと思わない	無回答
上段：件数 下段：%							
全体		1,274 100.0	476 37.4	647 50.8	82 6.4	42 3.3	27 2.1
性別	男性	591 100.0	226 38.2	290 49.1	38 6.4	27 4.6	10 1.7
	女性	671 100.0	243 36.2	353 52.6	43 6.4	15 2.2	17 2.5
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	38 38.0	45 45.0	9 9.0	8 8.0	- -
	30歳代	132 100.0	31 23.5	79 59.8	10 7.6	8 6.1	4 3.0
	40歳代	241 100.0	83 34.4	128 53.1	20 8.3	5 2.1	5 2.1
	50歳代	263 100.0	80 30.4	150 57.0	18 6.8	9 3.4	6 2.3
	60歳代	338 100.0	143 42.3	162 47.9	19 5.6	7 2.1	7 2.1
	70歳以上	192 100.0	95 49.5	81 42.2	6 3.1	5 2.6	5 2.6
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	185 34.1	279 51.5	37 6.8	26 4.8	15 2.8
	増田地区	74 100.0	28 37.8	39 52.7	4 5.4	1 1.4	2 2.7
	平鹿地区	163 100.0	69 42.3	73 44.8	15 9.2	5 3.1	1 0.6
	雄物川地区	128 100.0	52 40.6	63 49.2	10 7.8	1 0.8	2 1.6
	大森地区	80 100.0	29 36.3	44 55.0	2 2.5	3 3.8	2 2.5
	十文字地区	161 100.0	61 37.9	88 54.7	5 3.1	3 1.9	4 2.5
	山内地区	48 100.0	22 45.8	22 45.8	2 4.2	1 2.1	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	25 34.7	39 54.2	7 9.7	1 1.4	- -

【家族構成別・自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別・  
現在の地域活動参加状況別・現在の職業別・地域への愛着別】

		調査数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	必要だと思わない	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体		1,274 100.0	476 37.4	647 50.8	82 6.4	42 3.3	27 2.1
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	42 44.2	42 44.2	3 3.2	7 7.4	1 1.1
	夫婦のみの世帯	272 100.0	93 34.2	146 53.7	15 5.5	12 4.4	6 2.2
	親子2世代世帯	607 100.0	226 37.2	313 51.6	41 6.8	12 2.0	15 2.5
	親子孫3世代世帯	253 100.0	94 37.2	128 50.6	20 7.9	8 3.2	3 1.2
	その他	39 100.0	14 35.9	17 43.6	3 7.7	3 7.7	2 5.1
	自身の生活別 経済的	ゆとりがある	45 100.0	22 48.9	17 37.8	2 4.4	3 6.7
	普通だと感じている	450 100.0	199 44.2	216 48.0	17 3.8	8 1.8	10 2.2
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	213 33.2	344 53.6	50 7.8	19 3.0	16 2.5
	ゆとりはなく、生活が 苦しい	132 100.0	37 28.0	70 53.0	13 9.8	12 9.1	- -
近所付き合い や交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	139 59.4	80 34.2	6 2.6	2 0.9	7 3.0
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	66 50.0	58 43.9	5 3.8	1 0.8	2 1.5
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	137 37.3	198 54.0	20 5.4	5 1.4	7 1.9
	会うとあいさつをする 程度の人がある	404 100.0	102 25.2	240 59.4	33 8.2	21 5.2	8 2.0
	ほとんど近所の付き合い はない	130 100.0	27 20.8	70 53.8	18 13.8	13 10.0	2 1.5
	加域現 状活在 況動地 別	参加している	557 100.0	260 46.7	245 44.0	26 4.7	14 2.5
参加していない		693 100.0	206 29.7	390 56.3	56 8.1	28 4.0	13 1.9
現在の職業別	農林水産業	66 100.0	30 45.5	30 45.5	4 6.1	1 1.5	1 1.5
	自営業・自由業	104 100.0	40 38.5	56 53.8	4 3.8	2 1.9	2 1.9
	会社員・公務員・団体 職員等	549 100.0	196 35.7	283 51.5	38 6.9	23 4.2	9 1.6
	パート・アルバイト	188 100.0	69 36.7	99 52.7	11 5.9	4 2.1	5 2.7
	学生	16 100.0	5 31.3	8 50.0	1 6.3	2 12.5	- -
	無職	210 100.0	85 40.5	98 46.7	17 8.1	5 2.4	5 2.4
	家事専業	103 100.0	37 35.9	55 53.4	5 4.9	2 1.9	4 3.9
	その他	27 100.0	8 29.6	15 55.6	1 3.7	2 7.4	1 3.7
	地域への 愛着別	ある	1,012 100.0	417 41.2	503 49.7	52 5.1	20 2.0
ない		248 100.0	48 19.4	143 57.7	29 11.7	22 8.9	6 2.4

(10) 地域で住民同士の支え合い・助け合いができると思う範囲



地域で住民同士の支え合い・助け合いができると思う範囲では、「隣近所」(41.8%)が最も多く、以下「町内会」(31.9%)となっている。

なお、「わからない」は13.7%となっている。

性別でみると、男性では「町内会」が34.7%と女性(29.7%)を5.0ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、30~50歳代では「横手市全域」が1割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「隣近所」が最も多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、概ねゆとりがある人ほど「町内会」、「小学校区」、「横手市全域」が多くなっている。ゆとりがない人ほど「隣近所」が多くなっている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

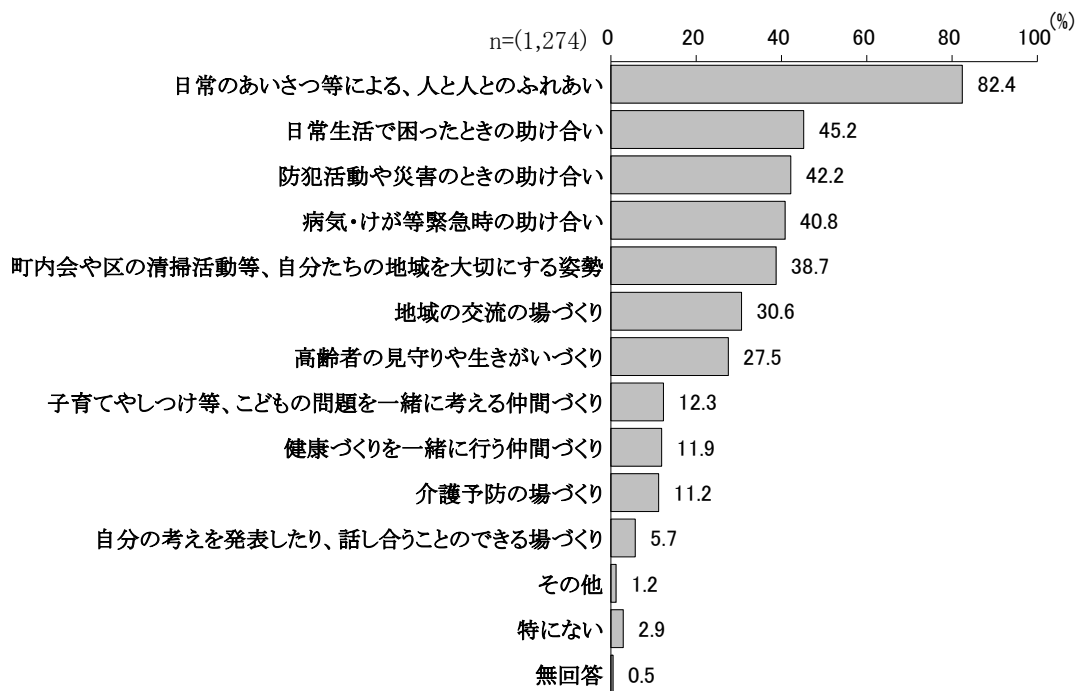
		調査数	隣近所	町内会	小学校区	横手市全域	その他	わからない	無回答
上段：件数 下段：%									
全 体		1,274 100.0	533 41.8	406 31.9	35 2.7	108 8.5	7 0.5	174 13.7	11 0.9
性 別	男性	591 100.0	248 42.0	205 34.7	16 2.7	41 6.9	5 0.8	75 12.7	1 0.2
	女性	671 100.0	279 41.6	199 29.7	19 2.8	65 9.7	2 0.3	97 14.5	10 1.5
年 齢 （6 区 分） 別	20歳代	100 100.0	33 33.0	31 31.0	4 4.0	8 8.0	- -	24 24.0	- -
	30歳代	132 100.0	50 37.9	41 31.1	4 3.0	14 10.6	- -	23 17.4	- -
	40歳代	241 100.0	85 35.3	75 31.1	12 5.0	25 10.4	3 1.2	40 16.6	1 0.4
	50歳代	263 100.0	90 34.2	91 34.6	8 3.0	28 10.6	1 0.4	40 15.2	5 1.9
	60歳代	338 100.0	166 49.1	114 33.7	5 1.5	24 7.1	1 0.3	25 7.4	3 0.9
	70歳以上	192 100.0	106 55.2	51 26.6	2 1.0	7 3.6	2 1.0	22 11.5	2 1.0
居 住 地 区 （8 区 分） 別	横手地区	542 100.0	219 40.4	171 31.5	16 3.0	49 9.0	3 0.6	77 14.2	7 1.3
	増田地区	74 100.0	27 36.5	25 33.8	2 2.7	6 8.1	- -	13 17.6	1 1.4
	平鹿地区	163 100.0	69 42.3	53 32.5	5 3.1	13 8.0	2 1.2	21 12.9	- -
	雄物川地区	128 100.0	61 47.7	41 32.0	5 3.9	14 10.9	- -	7 5.5	- -
	大森地区	80 100.0	33 41.3	27 33.8	1 1.3	7 8.8	- -	11 13.8	1 1.3
	十文字地区	161 100.0	62 38.5	59 36.6	2 1.2	10 6.2	1 0.6	26 16.1	1 0.6
	山内地区	48 100.0	25 52.1	11 22.9	2 4.2	3 6.3	- -	6 12.5	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	34 47.2	18 25.0	2 2.8	4 5.6	1 1.4	13 18.1	- -

## 【自身の生活の経済的状況別】

		調査数	隣近所	町内会	小学校区	横手市全域	その他	わからない	無回答
上段：件数 下段：%									
全 体		1,274 100.0	533 41.8	406 31.9	35 2.7	108 8.5	7 0.5	174 13.7	11 0.9
自 身 の 生 活 別 の 経 済 的	ゆとりがある	45 100.0	13 28.9	21 46.7	3 6.7	6 13.3	- -	2 4.4	- -
	普通だと感じている	450 100.0	177 39.3	169 37.6	15 3.3	35 7.8	4 0.9	47 10.4	3 0.7
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	277 43.1	194 30.2	14 2.2	51 7.9	3 0.5	95 14.8	8 1.2
	ゆとりはなく、生活が 苦しい	132 100.0	64 48.5	21 15.9	3 2.3	14 10.6	- -	30 22.7	- -

(11) 近所付き合いや関わりで大切だと思うこと

問14 あなたは、地域におけるご近所との付き合いや関わりで、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



近所付き合いや関わりで大切だと思うことでは、「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」(82.4%)が最も多く、以下「日常生活で困ったときの助け合い」(45.2%)、「防犯活動や災害のときの助け合い」(42.2%)、「病気・けが等緊急時の助け合い」(40.8%)、「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にする姿勢」(38.7%)、「地域の交流の場づくり」(30.6%)、「高齢者の見守りや生きがいづくり」(27.5%)となっている。

性別でみると、女性では「防犯活動や災害のときの助け合い」が46.9%と男性(37.2%)を9.7ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にす姿勢」が多く、60歳以上では約5割となっている。70歳以上では「健康づくりを一緒に行う仲間づくり」が24.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」が7割以上と最も多く、雄物川地区では「日常生活で困ったときの助け合い」、山内地区では「高齢者の見守りや生きがいがづくり」がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、概ねゆとりがある人ほど「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」、「防犯活動や災害のときの助け合い」、「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にす姿勢」、「地域の交流の場づくり」が多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、概ね付き合いや交流がある人ほど「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」、「日常生活で困ったときの助け合い」、「防犯活動や災害のときの助け合い」、「病気・けが等緊急時の助け合い」、「地域の交流の場づくり」が多くなっている。なお、ほとんど近所の付き合いはない人ほど「特にない」が多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にす姿勢」(52.2%)が24.8ポイント、「地域の交流の場づくり」(36.6%)が11.1ポイント、参加していない人を上回っている。なお、「防犯活動や災害のときの助け合い」、「高齢者の見守りや生きがいがづくり」、「介護予防の場づくり」は大きな違いは見られない。また、参加していない人は「特にない」が4.8%と参加している人(0.5%)を4.3ポイント上回っている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」(86.5%)が20.4ポイント、「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にす姿勢」(43.6%)が24.6ポイント、「地域の交流の場づくり」(33.2%)が13.4ポイント、愛着がない人を上回っている。なお、愛着がない人は「特にない」が10.1%と愛着がある人(1.1%)を9.0ポイント上回っている。

第2章 調査結果の分析

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	人とのふれあいやさつ等による、人と	日常生活で困ったときの助け合い	防犯活動や災害のときの助け合い	病氣・けが等緊急時の助け合い	町内会や区の清掃活動等、自分の地域の地域を大切にすることを自分	地域の交流の場づくり	高齢者の見守りや生きがいづくり	子育てやしつけ等、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	健康づくりを一緒に行う仲間づくり	介護予防の場づくり	自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり	その他	特になし	無回答
全体		1,274 100.0	1,050 82.4	576 45.2	538 42.2	520 40.8	493 38.7	390 30.6	350 27.5	157 12.3	151 11.9	143 11.2	72 5.7	15 1.2	37 2.9	7 0.5
性別	男性	591 100.0	489 82.7	262 44.3	220 37.2	240 40.6	242 40.9	175 29.6	148 25.0	58 9.8	63 10.7	54 9.1	35 5.9	5 0.8	15 2.5	1 0.2
	女性	671 100.0	552 82.3	307 45.8	315 46.9	273 40.7	250 37.3	211 31.4	202 30.1	97 14.5	88 13.1	88 13.1	36 5.4	10 1.5	21 3.1	6 0.9
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	80 80.0	44 44.0	41 41.0	30 30.0	19 19.0	32 32.0	28 28.0	15 15.0	12 12.0	11 11.0	4 4.0	-	6 6.0	-
	30歳代	132 100.0	107 81.1	53 40.2	55 41.7	40 30.3	36 27.3	36 27.3	35 26.5	29 22.0	10 7.6	16 12.1	7 5.3	2 1.5	10 7.6	-
	40歳代	241 100.0	206 85.5	107 44.4	109 45.2	105 43.6	83 34.4	61 25.3	71 29.5	40 16.6	18 7.5	25 10.4	11 4.6	4 1.7	5 2.1	1 0.4
	50歳代	263 100.0	200 76.0	107 40.7	109 41.4	106 40.3	88 33.5	72 27.4	71 27.0	29 11.0	16 6.1	27 10.3	16 6.1	6 2.3	7 2.7	3 1.1
	60歳代	338 100.0	281 83.1	166 49.1	147 43.5	147 43.5	166 49.1	126 37.3	96 28.4	30 8.9	47 13.9	34 10.1	17 5.0	3 0.9	5 1.5	1 0.3
	70歳以上	192 100.0	169 88.0	93 48.4	72 37.5	88 45.8	99 51.6	59 30.7	48 25.0	12 6.3	46 24.0	28 14.6	15 7.8	-	3 1.6	2 1.0
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	439 81.0	219 40.4	235 43.4	210 38.7	187 34.5	148 27.3	148 27.3	62 11.4	60 11.1	56 10.3	28 5.2	8 1.5	27 5.0
増田地区	74 100.0	59 79.7	33 44.6	30 40.5	30 40.5	31 41.9	24 32.4	22 29.7	7 9.5	11 14.9	12 16.2	5 6.8	2 2.7	1 1.4	1 1.4	
平鹿地区	163 100.0	137 84.0	88 54.0	68 41.7	74 45.4	71 43.6	48 29.4	50 30.7	29 17.8	17 10.4	20 12.3	11 6.7	2 1.2	1 0.6	-	
雄物川地区	128 100.0	114 89.1	75 58.6	62 48.4	63 49.2	50 39.1	42 32.8	37 28.9	21 16.4	23 18.0	22 17.2	15 11.7	1 0.8	1 0.8	-	
大森地区	80 100.0	66 82.5	31 38.8	29 36.3	30 37.5	36 45.0	27 33.8	27 33.8	8 10.0	10 12.5	7 8.8	5 6.3	-	3 3.8	3 3.8	
十文字地区	161 100.0	132 82.0	71 44.1	62 38.5	61 37.9	63 39.1	53 32.9	34 21.1	21 13.0	17 10.6	9 5.6	3 1.9	-	-	1 0.6	
山内地区	48 100.0	43 89.6	24 50.0	20 41.7	19 39.6	22 45.8	17 35.4	19 39.6	4 8.3	6 12.5	3 6.3	1 2.1	-	1 2.1	-	
大雄地区	72 100.0	55 76.4	32 44.4	29 40.3	30 41.7	33 45.8	29 40.3	13 18.1	4 5.6	7 9.7	13 18.1	3 4.2	2 2.8	2 2.8	-	

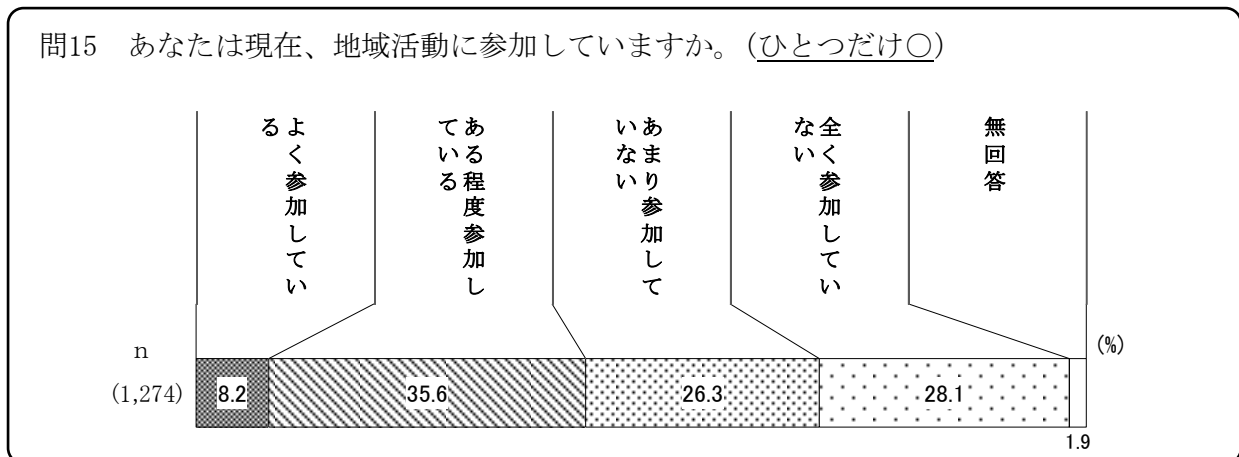
【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	人とのふれあいやさつ等による、人と	日常生活で困ったときの助け合い	防犯活動や災害のときの助け合い	病氣・けが等緊急時の助け合い	町内会や区の清掃活動等、自分の地域の地域を大切にすることを自分	地域の交流の場づくり	高齢者の見守りや生きがいづくり	子育てやしつけ等、子どもの問題を一緒に考える仲間づくり	健康づくりを一緒に行う仲間づくり	介護予防の場づくり	自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり	その他	特になし	無回答
全体		1,274 100.0	1,050 82.4	576 45.2	538 42.2	520 40.8	493 38.7	390 30.6	350 27.5	157 12.3	151 11.9	143 11.2	72 5.7	15 1.2	37 2.9	7 0.5
自身の生活状況別の経済的	ゆとりがある	45 100.0	41 91.1	22 48.9	22 48.9	17 37.8	20 44.4	16 35.6	19 42.2	11 24.4	5 11.1	8 17.8	2 4.4	2 4.4	2 4.4	-
	普通だと感じている	450 100.0	377 83.8	192 42.7	194 43.1	177 39.3	198 44.0	144 32.0	121 26.9	57 12.7	51 11.3	49 10.9	28 6.2	5 1.1	9 2.0	2 0.4
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	526 81.9	301 46.9	277 43.1	275 42.8	234 36.4	195 30.4	178 27.7	69 10.7	79 12.3	65 10.1	34 5.3	8 1.2	19 3.0	4 0.6
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	102 77.3	58 43.9	43 32.6	48 36.4	41 31.1	33 25.0	32 24.2	19 14.4	16 12.1	20 15.2	7 5.3	-	6 4.5	1 0.8
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合い親しい人がいる	234 100.0	205 87.6	119 50.9	104 44.4	114 48.7	114 48.7	96 41.0	67 28.6	38 16.2	42 17.9	34 14.5	22 9.4	-	2 0.9	2 0.9
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	118 89.4	70 53.0	52 39.4	57 43.2	56.8 41.7	55 41.7	43 32.6	18 13.6	23 17.4	14 10.6	5 3.8	1 0.8	-	-
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	308 83.9	165 45.0	163 44.4	153 41.7	161 43.9	113 30.8	101 27.5	39 10.6	45 12.3	40 10.9	16 4.4	3 0.8	5 1.4	3 0.8
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	336 83.2	171 42.3	166 41.1	153 37.9	120 29.7	94 23.3	104 25.7	46 11.4	32 7.9	47 11.6	17 4.2	6 1.5	10 2.5	2 0.5
加域現在活動の別	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	78 60.0	48 36.9	51 39.2	39 30.0	22 16.9	30 23.1	34 26.2	15 11.5	9 6.9	7 5.4	11 8.5	5 3.8	18 13.8	-
	参加している	557 100.0	491 88.2	264 47.4	233 41.8	239 42.9	291 52.2	204 36.6	161 28.9	81 14.5	87 15.6	64 11.5	41 7.4	4 0.7	3 0.5	2 0.4
愛着別	参加していない	693 100.0	544 78.5	300 43.3	294 42.4	273 39.4	190 27.4	177 25.5	182 26.3	75 10.8	57 8.2	77 11.1	30 4.3	10 1.4	33 4.8	3 0.4
	ある	1,012 100.0	875 86.5	476 47.0	439 43.4	429 42.4	441 43.6	336 33.2	297 29.3	132 13.0	130 12.8	113 11.2	53 5.2	8 0.8	11 1.1	4 0.4
ない	248 100.0	164 66.1	94 37.9	93 37.5	85 34.3	47 19.0	49 19.8	51 20.6	22 8.9	20 8.1	26 10.5	17 6.9	7 2.8	25 10.1	3 1.2	



## 2. 地域活動について

### (1) 現在の地域活動への参加状況



現在の地域活動への参加状況では、「よく参加している」と「ある程度参加している」を合わせた『参加している』が43.8%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」を合わせた『参加していない』が54.4%となっている。

性別でみると、男性では『参加している』が52.1%と女性(35.7%)を16.4ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど『参加している』が多くなっている。年齢が低いほど『参加していない』が多く、20歳代では90.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、平鹿地区、大雄地区では『参加している』が5割以上と『参加していない』を上回っている。横手地区では『参加していない』が6割以上と他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、単身(一人暮らし)世帯では「全く参加していない」が46.3%と他の家族構成に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、ゆとりはなく、生活が苦しい人は『参加していない』が65.1%とゆとりがある人に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど『参加している』が多くなっている。

現在の職業別でみると、農林水産業、自営業・自由業では『参加している』が6割以上と地域に根差した職業の人は他の職業に比べて多くなっている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は『参加している』が48.3%と愛着がない人(24.2%)を24.1ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

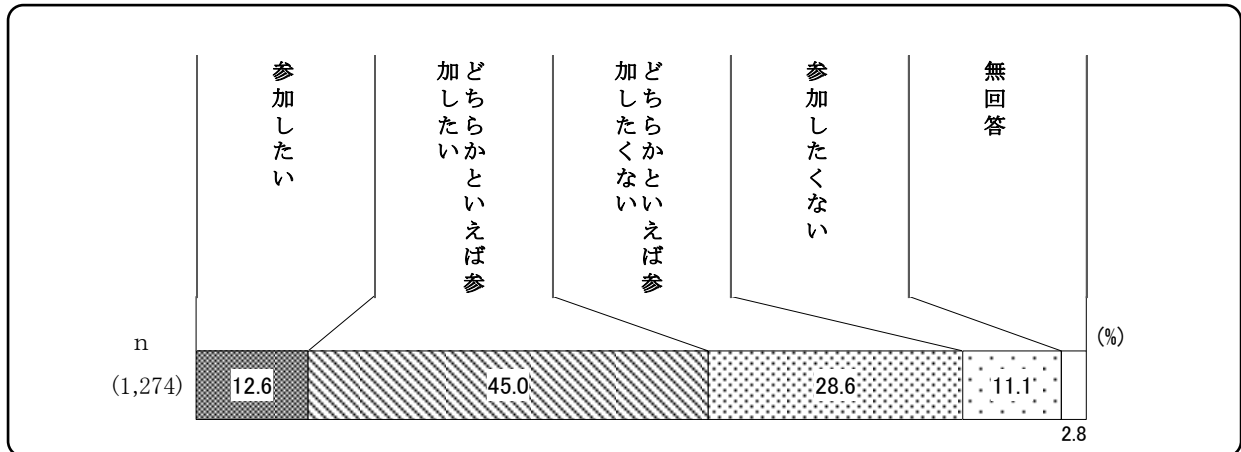
		調査数	よく参加している	ある程度参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
		上段：件数 下段：%					
全 体		1,274 100.0	104 8.2	453 35.6	335 26.3	358 28.1	24 1.9
性別	男性	591 100.0	72 12.2	236 39.9	145 24.5	130 22.0	8 1.4
	女性	671 100.0	31 4.6	209 31.1	189 28.2	226 33.7	16 2.4
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	1 1.0	8 8.0	21 21.0	69 69.0	1 1.0
	30歳代	132 100.0	7 5.3	31 23.5	35 26.5	58 43.9	1 0.8
	40歳代	241 100.0	16 6.6	72 29.9	73 30.3	77 32.0	3 1.2
	50歳代	263 100.0	20 7.6	97 36.9	72 27.4	70 26.6	4 1.5
	60歳代	338 100.0	36 10.7	158 46.7	90 26.6	46 13.6	8 2.4
	70歳以上	192 100.0	24 12.5	82 42.7	43 22.4	37 19.3	6 3.1
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	34 6.3	170 31.4	145 26.8	186 34.3
増田地区		74 100.0	6 8.1	25 33.8	18 24.3	23 31.1	2 2.7
平鹿地区		163 100.0	19 11.7	64 39.3	41 25.2	35 21.5	4 2.5
雄物川地区		128 100.0	14 10.9	47 36.7	36 28.1	30 23.4	1 0.8
大森地区		80 100.0	5 6.3	32 40.0	21 26.3	17 21.3	5 6.3
十文字地区		161 100.0	15 9.3	61 37.9	45 28.0	37 23.0	3 1.9
山内地区		48 100.0	3 6.3	20 41.7	12 25.0	13 27.1	- -
大雄地区		72 100.0	8 11.1	31 43.1	16 22.2	15 20.8	2 2.8

【家族構成別・自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別・現在の職業別・  
地域への愛着別】

		調査数	よく参加している	ある程度参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体		1,274 100.0	104 8.2	453 35.6	335 26.3	358 28.1	24 1.9
家族構成別	単身（一人暮らし）世帯	95 100.0	7 7.4	23 24.2	20 21.1	44 46.3	1 1.1
	夫婦のみの世帯	272 100.0	17 6.3	108 39.7	71 26.1	69 25.4	7 2.6
	親子2世代世帯	607 100.0	50 8.2	223 36.7	173 28.5	147 24.2	14 2.3
	親子孫3世代世帯	253 100.0	29 11.5	77 30.4	59 23.3	87 34.4	1 0.4
	その他	39 100.0	1 2.6	18 46.2	9 23.1	10 25.6	1 2.6
	自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	45 100.0	4 8.9	15 33.3	12 26.7	12 26.7
	普通だと感じている	450 100.0	42 9.3	164 36.4	121 26.9	113 25.1	10 2.2
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	52 8.1	232 36.1	169 26.3	178 27.7	11 1.7
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	6 4.5	39 29.5	32 24.2	54 40.9	1 0.8
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	49 20.9	108 46.2	36 15.4	38 16.2	3 1.3
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	23 17.4	66 50.0	24 18.2	16 12.1	3 2.3
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	22 6.0	170 46.3	111 30.2	53 14.4	11 3.0
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	10 2.5	103 25.5	139 34.4	149 36.9	3 0.7
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	-	3 2.3	23 17.7	101 77.7	3 2.3
	現在の職業別	農林水産業	66 100.0	16 24.2	38 57.6	8 12.1	4 6.1
自営業・自由業		104 100.0	9 8.7	56 53.8	18 17.3	17 16.3	4 3.8
会社員・公務員・団体職員等		549 100.0	43 7.8	169 30.8	147 26.8	181 33.0	9 1.6
パート・アルバイト		188 100.0	10 5.3	61 32.4	60 31.9	54 28.7	3 1.6
学生		16 100.0	-	1 6.3	5 31.3	10 62.5	-
無職		210 100.0	15 7.1	73 34.8	51 24.3	67 31.9	4 1.9
家事専業		103 100.0	9 8.7	43 41.7	31 30.1	19 18.4	1 1.0
その他		27 100.0	1 3.7	8 29.6	12 44.4	4 14.8	2 7.4
地域への愛着別	ある	1,012 100.0	96 9.5	393 38.8	259 25.6	245 24.2	19 1.9
	ない	248 100.0	7 2.8	53 21.4	73 29.4	110 44.4	5 2.0

(2) 今後の地域活動への参加意向

問16 あなたは今後、地域活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ○)



今後の地域活動への参加意向では、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた『参加したい』が57.6%、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」を合わせた『参加したくない』が39.7%となっている。

性別でみると、男性では『参加したい』が60.8%と女性(54.4%)を6.4ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど『参加したい』が多くなっている。年齢が低いほど『参加したくない』が多く、20歳代では59.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも『参加したい』が5割以上となっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、概ねゆとりがある人ほど『参加したい』が多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど『参加したい』が多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は『参加したい』が82.6%と参加していない人(38.8%)を26.0ポイント上回っている。参加していない人は『参加したい』が38.8%となっている。

地域への愛着別でみると、愛着がある人は『参加したい』が64.8%と愛着がない人(27.0%)を37.8ポイント上回っている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

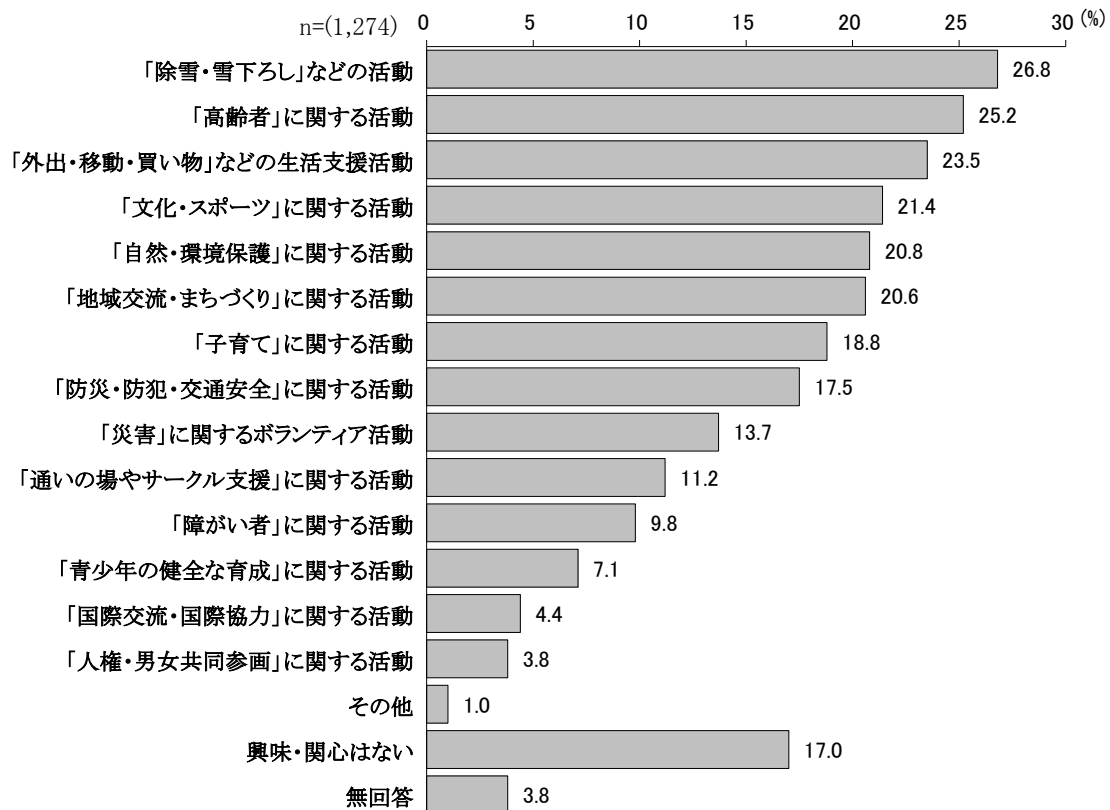
		調査数	参加したい	どちらかといえ ば参加したい	い ど ち ら か と い え ば 参 加 し た く な い	参加したくない	無回答
		上段：件数 下段：%					
全 体		1,274 100.0	160 12.6	573 45.0	364 28.6	141 11.1	36 2.8
性別	男性	591 100.0	89 15.1	270 45.7	161 27.2	57 9.6	14 2.4
	女性	671 100.0	68 10.1	297 44.3	201 30.0	83 12.4	22 3.3
年齢 （6 区 分 別	20歳代	100 100.0	6 6.0	33 33.0	37 37.0	22 22.0	2 2.0
	30歳代	132 100.0	10 7.6	53 40.2	40 30.3	28 21.2	1 0.8
	40歳代	241 100.0	24 10.0	99 41.1	79 32.8	33 13.7	6 2.5
	50歳代	263 100.0	31 11.8	108 41.1	94 35.7	27 10.3	3 1.1
	60歳代	338 100.0	49 14.5	184 54.4	75 22.2	19 5.6	11 3.3
	70歳以上	192 100.0	37 19.3	92 47.9	38 19.8	12 6.3	13 6.8
居住 地 区 （ 8 区 分 別	横手地区	542 100.0	56 10.3	232 42.8	161 29.7	77 14.2	16 3.0
	増田地区	74 100.0	9 12.2	28 37.8	26 35.1	8 10.8	3 4.1
	平鹿地区	163 100.0	28 17.2	74 45.4	43 26.4	14 8.6	4 2.5
	雄物川地区	128 100.0	20 15.6	60 46.9	32 25.0	13 10.2	3 2.3
	大森地区	80 100.0	10 12.5	37 46.3	23 28.8	5 6.3	5 6.3
	十文字地区	161 100.0	23 14.3	72 44.7	48 29.8	16 9.9	2 1.2
	山内地区	48 100.0	2 4.2	29 60.4	15 31.3	1 2.1	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	10 13.9	38 52.8	15 20.8	7 9.7	2 2.8

【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

		調査数	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体		1,274 100.0	160 12.6	573 45.0	364 28.6	141 11.1	36 2.8
自身の 生活別 の 経済的	ゆとりがある	45 100.0	11 24.4	15 33.3	7 15.6	7 15.6	5 11.1
	普通だと感じている	450 100.0	66 14.7	206 45.8	128 28.4	39 8.7	11 2.4
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	72 11.2	299 46.6	183 28.5	73 11.4	15 2.3
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	9 6.8	50 37.9	46 34.8	22 16.7	5 3.8
近所 付き 合い や 交流 別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	64 27.4	115 49.1	35 15.0	14 6.0	6 2.6
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	35 26.5	70 53.0	21 15.9	2 1.5	4 3.0
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	39 10.6	201 54.8	97 26.4	16 4.4	14 3.8
	会うとあいさつをする 程度の人がある	404 100.0	17 4.2	152 37.6	168 41.6	58 14.4	9 2.2
	ほとんど近所の付き合 いはない	130 100.0	3 2.3	31 23.8	43 33.1	51 39.2	2 1.5
加域現 状活在 況動の 別参地	参加している	557 100.0	136 24.4	324 58.2	84 15.1	8 1.4	5 0.9
	参加していない	693 100.0	22 3.2	247 35.6	280 40.4	131 18.9	13 1.9
地 域 へ の 愛 着 別	ある	1,012 100.0	149 14.7	507 50.1	255 25.2	75 7.4	26 2.6
	ない	248 100.0	9 3.6	58 23.4	108 43.5	65 26.2	8 3.2

## (3) 地域活動への興味・関心

問17 あなたは、次のような地域活動に興味・関心ありますか。(あてはまるものすべてに○)



地域活動への興味・関心では、『除雪・雪下ろし』などの活動(26.8%)が最も多く、以下『高齢者』に関する活動(25.2%)、『外出・移動・買い物』などの生活支援活動(23.5%)、『文化・スポーツ』に関する活動(21.4%)、『自然・環境保護』に関する活動(20.8%)、『地域交流・まちづくり』に関する活動(20.6%)、『子育て』に関する活動(18.8%)、『防災・防犯・交通安全』に関する活動(17.5%)となっている。

なお、「興味・関心はない」は17.0%となっている。

性別でみると、男性では『除雪・雪下ろし』などの活動が34.0%と女性(20.6%)を13.4ポイント上回っている。女性では『外出・移動・買い物』などの生活支援活動が29.5%と男性(17.3%)を12.2ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、年齢が高いほど『高齢者』に関する活動、『外出・移動・買い物』などの生活支援活動が多く、概ね年齢が低いほど『文化・スポーツ』に関する活動、『子育て』に関する活動が多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、平鹿地区、雄物川地区では『子育て』に関する活動が2割以上となっている。一方、大雄地区では『子育て』に関する活動9.7%と他の地区に比べて少なくなっている。山内地区では『外出・移動・買い物』などの生活支援活動が39.6%と他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、親子孫3世代世帯では『子育て』に関する活動が29.6%と他の家族構成に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど『地域交流・まちづくり』に関する活動が多くなっている。

なお、現在の地域活動に参加していない人、地域への愛着がない人は、「興味・関心はない」が現在の地域活動に参加している人、地域への愛着ある人を上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	「除雪・雪下ろし」などの活動	「高齢者」に関する活動	「外出・移動・買い物」などの生活支援活動	「文化・スポーツ」に関する活動	「自然・環境保護」に関する活動	「地域交流・まちづくり」に関する活動	「子育て」に関する活動	「防災・防犯・交通安全」に関する活動	「災害」に関するボランティア活動
		上段：件数 下段：%									
全体		1,274 100.0	341 26.8	321 25.2	300 23.5	273 21.4	265 20.8	262 20.6	240 18.8	223 17.5	174 13.7
性別	男性	591 100.0	201 34.0	137 23.2	102 17.3	156 26.4	132 22.3	119 20.1	91 15.4	118 20.0	81 13.7
	女性	671 100.0	138 20.6	181 27.0	198 29.5	114 17.0	129 19.2	140 20.9	146 21.8	103 15.4	91 13.6
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	20 20.0	12 12.0	5 5.0	39 39.0	13 13.0	10 10.0	37 37.0	12 12.0	7 7.0
	30歳代	132 100.0	30 22.7	17 12.9	16 12.1	37 28.0	24 18.2	29 22.0	52 39.4	13 9.8	16 12.1
	40歳代	241 100.0	61 25.3	41 17.0	59 24.5	57 23.7	49 20.3	54 22.4	73 30.3	47 19.5	45 18.7
	50歳代	263 100.0	75 28.5	59 22.4	66 25.1	53 20.2	45 17.1	45 17.1	34 12.9	48 18.3	38 14.4
	60歳代	338 100.0	96 28.4	111 32.8	96 28.4	58 17.2	82 24.3	82 24.3	28 8.3	66 19.5	50 14.8
	70歳以上	192 100.0	56 29.2	79 41.1	56 29.2	27 14.1	48 25.0	39 20.3	13 6.8	35 18.2	17 8.9
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	136 25.1	132 24.4	114 21.0	110 20.3	103 19.0	94 17.3	107 19.7	90 16.6
	増田地区	74 100.0	26 35.1	19 25.7	20 27.0	14 18.9	17 23.0	17 23.0	13 17.6	14 18.9	10 13.5
	平鹿地区	163 100.0	36 22.1	37 22.7	32 19.6	39 23.9	40 24.5	38 23.3	37 22.7	28 17.2	21 12.9
	雄物川地区	128 100.0	43 33.6	37 28.9	42 32.8	27 21.1	32 25.0	23 18.0	27 21.1	31 24.2	24 18.8
	大森地区	80 100.0	24 30.0	23 28.8	23 28.8	14 17.5	18 22.5	23 28.8	12 15.0	11 13.8	8 10.0
	十文字地区	161 100.0	42 26.1	42 26.1	32 19.9	40 24.8	33 20.5	37 23.0	30 18.6	25 15.5	22 13.7
	山内地区	48 100.0	15 31.3	15 31.3	19 39.6	9 18.8	9 18.8	10 20.8	5 10.4	9 18.8	7 14.6
	大雄地区	72 100.0	17 23.6	14 19.4	18 25.0	18 25.0	11 15.3	18 25.0	7 9.7	13 18.1	10 13.9

		調査数	「通いの場やサークル支援」に関する活動	「障がい者」に関する活動	「青少年の健全な育成」に関する活動	「国際交流・国際協力」に関する活動	「人権・男女共同参画」に関する活動	その他	興味・関心はない	無回答
		上段：件数 下段：%								
全体		1,274 100.0	143 11.2	125 9.8	91 7.1	56 4.4	49 3.8	13 1.0	216 17.0	48 3.8
性別	男性	591 100.0	39 6.6	54 9.1	40 6.8	20 3.4	24 4.1	5 0.8	109 18.4	19 3.2
	女性	671 100.0	102 15.2	71 10.6	51 7.6	35 5.2	25 3.7	8 1.2	106 15.8	27 4.0
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	5 5.0	11 11.0	5 5.0	6 6.0	3 3.0	-	19 19.0	1 1.0
	30歳代	132 100.0	16 12.1	9 6.8	13 9.8	6 4.5	6 4.5	-	28 21.2	4 3.0
	40歳代	241 100.0	27 11.2	28 11.6	28 11.6	9 3.7	9 3.7	1 0.4	50 20.7	6 2.5
	50歳代	263 100.0	21 8.0	23 8.7	15 5.7	16 6.1	10 3.8	5 1.9	61 23.2	6 2.3
	60歳代	338 100.0	42 12.4	32 9.5	15 4.4	12 3.6	11 3.3	4 1.2	41 12.1	13 3.8
	70歳以上	192 100.0	29 15.1	22 11.5	15 7.8	6 3.1	10 5.2	3 1.6	17 8.9	18 9.4
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	51 9.4	47 8.7	32 5.9	29 5.4	18 3.3	3 0.6	111 20.5
	増田地区	74 100.0	7 9.5	7 9.5	5 6.8	4 5.4	3 4.1	1 1.4	7 9.5	5 6.8
	平鹿地区	163 100.0	25 15.3	23 14.1	15 9.2	7 4.3	8 4.9	2 1.2	28 17.2	9 5.5
	雄物川地区	128 100.0	16 12.5	16 12.5	15 11.7	4 3.1	7 5.5	3 2.3	16 12.5	6 4.7
	大森地区	80 100.0	8 10.0	2 2.5	4 5.0	4 5.0	3 3.8	-	12 15.0	5 6.3
	十文字地区	161 100.0	21 13.0	12 7.5	15 9.3	4 2.5	5 3.1	3 1.9	3 13.0	4 2.5
	山内地区	48 100.0	3 6.3	8 16.7	-	1 2.1	3 6.3	-	9 18.8	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	10 13.9	10 13.9	5 6.9	2 2.8	2 2.8	1 1.4	11 15.3	2 2.8



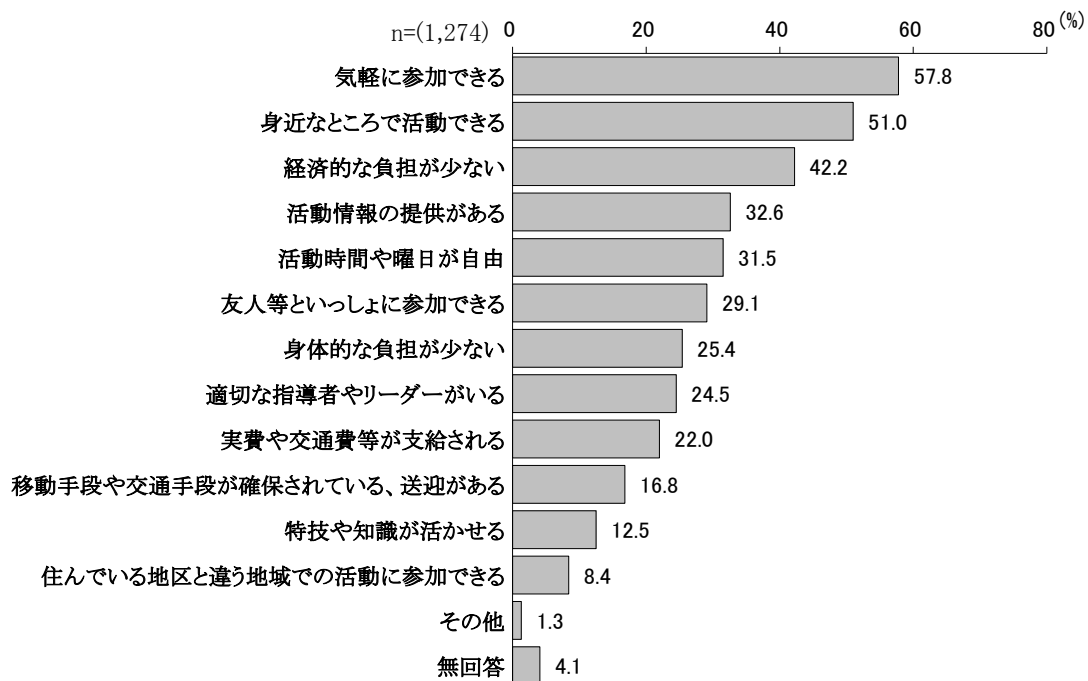
【家族構成別・近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別・地域への愛着別】

	調査数 上段：件数 下段：%	「除雪・雪下ろし」などの活動	「高齢者」に関する活動	「外出・移動・買い物」などの生活支援活動	「文化・スポーツ」に関する活動	「自然・環境保護」に関する活動	「地域交流・まちづくり」に関する活動	「子育て」に関する活動	「防災・防犯・交通安全」に関する活動	「災害」に関するボランティア
全体	1,274 100.0	341 26.8	321 25.2	300 23.5	273 21.4	265 20.8	262 20.6	240 18.8	223 17.5	174 13.7
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	28 29.5	29 30.5	25 26.3	11 11.6	21 22.1	19 20.0	10 10.5	17 17.9
	夫婦のみの世帯	272 100.0	71 26.1	75 27.6	70 25.7	54 19.9	61 22.4	46 16.9	28 10.3	45 16.5
	親子2世代世帯	607 100.0	172 28.3	151 24.9	139 22.9	136 22.4	109 18.0	127 20.9	121 19.9	106 17.5
	親子孫3世代世帯	253 100.0	55 21.7	56 22.1	56 22.1	62 24.5	58 22.9	59 23.3	75 29.6	53 20.9
	その他	39 100.0	13 33.3	7 17.9	8 20.5	7 17.9	12 30.8	8 20.5	4 10.3	6 15.4
	近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	63 26.9	72 30.8	56 23.9	68 29.1	62 26.5	74 31.6	50 21.4
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	39 29.5	47 35.6	41 31.1	25 18.9	36 27.3	39 29.5	22 16.7	19 14.4
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	108 29.4	102 27.8	98 26.7	66 18.0	81 22.1	70 19.1	65 17.7	70 19.1
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	106 26.2	80 19.8	81 20.0	87 21.5	67 16.6	62 15.3	78 19.3	71 17.6
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	23 17.7	17 13.1	24 18.5	25 19.2	17 13.1	15 11.5	23 17.7	12 9.2
加域現在状況別	参加している	557 100.0	184 33.0	174 31.2	146 26.2	139 25.0	151 27.1	159 28.5	111 19.9	134 24.1
	参加していない	693 100.0	155 22.4	144 20.8	151 21.8	133 19.2	111 16.0	98 14.1	128 18.5	89 12.8
地域への愛着別	ある	1,012 100.0	280 27.7	274 27.1	247 24.4	228 22.5	231 22.8	231 22.8	200 19.8	191 18.9
	ない	248 100.0	57 23.0	43 17.3	50 20.2	43 17.3	32 12.9	28 11.3	36 14.5	28 11.3

	調査数 上段：件数 下段：%	「障害がい者」に関する活動	活動「青少年の健全な育成」に関する活動	活動「国際交流・国際協力」に関する活動	活動「人権・男女共同参画」に関する活動	その他	興味・関心はない	無回答	
全体	1,274 100.0	143 11.2	125 9.8	91 7.1	56 4.4	49 3.8	13 1.0	216 17.0	
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	14 14.7	10 10.5	7 7.4	6 6.3	4 4.2	1 1.1	20 21.1
	夫婦のみの世帯	272 100.0	26 9.6	21 7.7	11 4.0	6 2.2	8 2.9	4 1.5	43 15.8
	親子2世代世帯	607 100.0	67 11.0	65 10.7	45 7.4	34 5.6	25 4.1	4 0.7	101 16.6
	親子孫3世代世帯	253 100.0	28 11.1	22 8.7	26 10.3	9 3.6	10 4.0	3 1.2	43 17.0
	その他	39 100.0	5 12.8	6 15.4	2 5.1	-	1 2.6	1 2.6	9 23.1
	近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	32 13.7	23 9.8	22 9.4	16 6.8	13 5.6	3 1.3
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	22 16.7	18 13.6	11 8.3	4 3.0	8 6.1	1 0.8	12 9.1
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	37 10.1	37 10.1	27 7.4	12 3.3	12 3.3	3 0.8	52 14.2
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	41 10.1	37 9.2	27 6.7	17 4.2	13 3.2	4 1.0	87 21.5
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	9 6.9	9 6.9	4 3.1	6 4.6	3 2.3	2 1.5	44 33.8
加域現在状況別	参加している	557 100.0	68 12.2	62 11.1	55 9.9	29 5.2	31 5.6	5 0.9	56 10.1
	参加していない	693 100.0	73 10.5	63 9.1	36 5.2	27 3.9	17 2.5	8 1.2	159 22.9
地域への愛着別	ある	1,012 100.0	119 11.8	100 9.9	76 7.5	38 3.8	43 4.2	9 0.9	140 13.8
	ない	248 100.0	20 8.1	24 9.7	14 5.6	17 6.9	6 2.4	4 1.6	74 29.8

(4) 地域の活動に参加する際にあるとよいこと

問18 あなたが地域の活動に参加しているとき、または、今後参加すると考えた場合、どのようなことがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



地域の活動に参加する際にあるとよいことでは、「気軽に参加できる」(57.8%)が最も多く、以下「身近なところで活動できる」(51.0%)、「経済的な負担が少ない」(42.2%)、「活動情報の提供がある」(32.6%)、「活動時間や曜日が自由」(31.5%)、「友人等といっしょに参加できる」(29.1%)、「身体的な負担が少ない」(25.4%)、「適切な指導者やリーダーがいる」(24.5%)、「実費や交通費等が支給される」(22.0%)、「移動手段や交通手段が確保されている」(16.8%)となっている。

性別でみると、女性では「経済的な負担が少ない」(49.0%)が14.1ポイント、「移動手段や交通手段が確保されている、送迎がある」(22.2%)が11.5ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「身近なところで活動できる」が多く、年齢が低いほど「実費や交通費等が支給される」が多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「身近なところで活動できる」、「気軽に参加できる」が4割以上となっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、ゆとりがない人ほど「経済的な負担が少ない」、「身体的な負担が少ない」、「実費や交通費等が支給される」、「移動手段や交通手段が確保されている、送迎がある」が多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、ほとんど近所の付き合いはない人は「気軽に参加できる」、「経済的な負担が少ない」が5割以上となっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、いずれも「気軽に参加できる」が約6割と最も多くなっている。参加している人は「身近なところで活動できる」が59.1%と参加していない人(45.6%)を13.5ポイント上回っている。参加していない人は「経済的な負担が少ない」が45.2%と参加している人(39.7%)を5.5ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

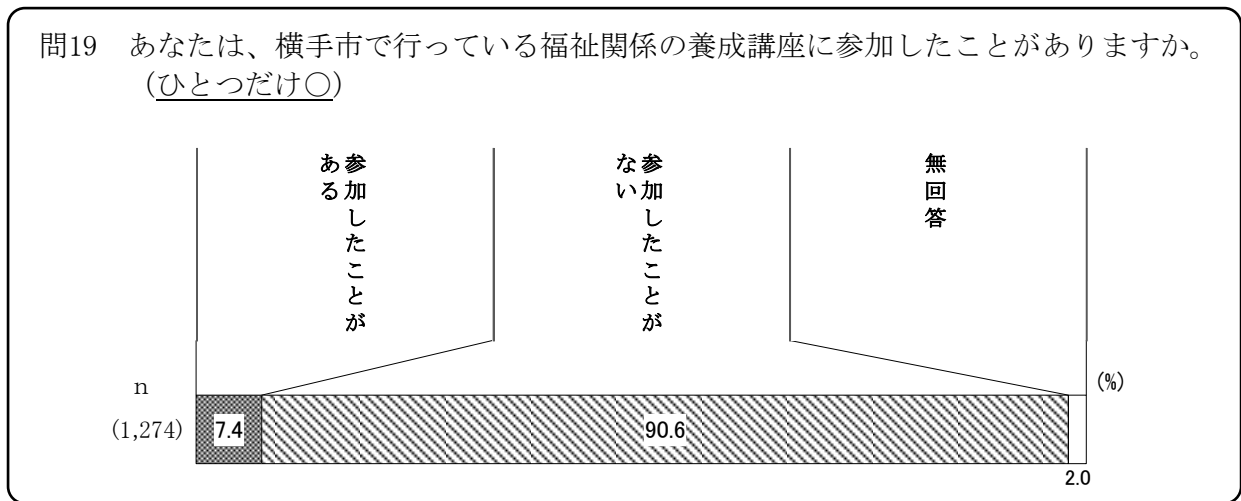
		調査数	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	経済的な負担が少ない	活動情報の提供がある	活動時間や曜日が自由	友人等といっしょに参加できる	身体的な負担が少ない	適切な指導者やリーダーがいる	実費や交通費等が支給される	移動手段や交通手段が確保されている。送迎がある	特技や知識が活かせる	住んでいる地区と違う地域での活動に参加できる	その他	無回答
		上段：件数 下段：%														
全体		1,274 100.0	737 57.8	650 51.0	538 42.2	415 32.6	401 31.5	371 29.1	323 25.4	312 24.5	280 22.0	214 16.8	159 12.5	107 8.4	16 1.3	52 4.1
性別	男性	591 100.0	315 53.3	281 47.5	206 34.9	178 30.1	174 29.4	151 25.5	131 22.2	132 22.3	127 21.5	63 10.7	75 12.7	41 6.9	9 1.5	23 3.9
	女性	671 100.0	415 61.8	366 54.5	329 49.0	231 34.4	225 33.5	217 32.3	192 28.6	178 26.5	148 22.1	149 22.2	82 12.2	64 9.5	7 1.0	28 4.2
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	47 47.0	40 40.0	37 37.0	33 33.0	35 35.0	50 50.0	8 8.0	12 12.0	35 35.0	12 12.0	15 15.0	9 9.0	-	1 1.0
	30歳代	132 100.0	85 64.4	60 45.5	59 44.7	49 37.1	47 35.6	48 36.4	31 23.5	24 18.2	40 30.3	17 12.9	13 9.8	12 9.1	2 1.5	1 0.8
	40歳代	241 100.0	153 63.5	117 48.5	119 49.4	90 37.3	99 41.1	77 32.0	68 28.2	67 27.8	68 28.2	36 14.9	37 15.4	27 11.2	1 0.4	5 2.1
	50歳代	263 100.0	145 55.1	129 49.0	125 47.5	80 30.4	82 31.2	46 17.5	65 24.7	55 20.9	56 21.3	36 13.7	34 12.9	20 7.6	3 1.1	9 3.4
	60歳代	338 100.0	202 59.8	200 59.2	136 40.2	104 30.8	94 27.8	87 25.7	93 27.5	98 29.0	55 16.3	61 18.0	39 11.5	24 7.1	7 2.1	14 4.1
	70歳以上	192 100.0	99 51.6	101 52.6	57 29.7	55 28.6	42 21.9	60 31.3	57 29.7	56 29.2	22 11.5	50 26.0	18 9.4	12 6.3	3 1.6	21 10.9
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	295 54.4	261 48.2	238 43.9	173 31.9	180 33.2	145 26.8	132 24.4	126 23.2	112 20.7	87 16.1	75 13.8	35 6.5	8 1.5
増田地区		74 100.0	34 45.9	34 45.9	29 39.2	22 29.7	22 29.7	20 27.0	17 23.0	17 23.0	14 18.9	15 20.3	10 13.5	8 10.8	1 1.4	5 6.8
平鹿地区		163 100.0	102 62.6	90 55.2	73 44.8	45 27.6	45 27.6	34 34.4	50 30.7	39 23.9	38 23.3	23 14.1	21 12.9	16 9.8	1 0.6	6 3.7
雄物川地区		128 100.0	84 65.6	76 59.4	52 40.6	50 39.1	44 34.4	52 40.6	29 22.7	36 28.1	31 24.2	23 18.0	14 10.9	15 11.7	3 2.3	3 2.3
大森地区		80 100.0	48 60.0	39 48.8	35 43.8	28 35.0	27 33.8	24 30.0	20 25.0	26 32.5	23 28.8	20 25.0	11 13.8	5 6.3	-	5 6.3
十文字地区		161 100.0	104 64.6	88 54.7	61 37.9	63 39.1	49 30.4	42 26.1	42 26.1	39 24.2	36 22.4	26 16.1	14 8.7	13 8.1	3 1.9	5 3.1
山内地区		48 100.0	24 50.0	23 47.9	15 31.3	15 31.3	12 25.0	11 22.9	12 25.0	8 16.7	8 16.7	9 18.8	3 6.3	3 6.3	-	2 4.2
大雄地区		72 100.0	42 58.3	38 52.8	32 44.4	16 22.2	22 30.6	20 27.8	21 29.2	21 29.2	15 20.8	10 13.9	9 12.5	10 13.9	-	3 4.2

【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別】

		調査数	気軽に参加できる	身近なところで活動できる	経済的な負担が少ない	活動情報の提供がある	活動時間や曜日が自由	友人等といっしょに参加できる	身体的な負担が少ない	適切な指導者やリーダーがいる	実費や交通費等が支給される	移動手段や交通手段が確保されている。送迎がある	特技や知識が活かせる	住んでいる地区と違う地域での活動に参加できる	その他	無回答
		上段：件数 下段：%														
全体		1,274 100.0	737 57.8	650 51.0	538 42.2	415 32.6	401 31.5	371 29.1	323 25.4	312 24.5	280 22.0	214 16.8	159 12.5	107 8.4	16 1.3	52 4.1
自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	45 100.0	23 51.1	22 48.9	8 17.8	13 28.9	18 40.0	14 31.1	7 15.6	13 28.9	3 6.7	3 6.7	6 13.3	6 13.3	1 2.2	3 6.7
	普通だと感じている	450 100.0	284 63.1	257 57.1	147 32.7	163 36.2	151 33.6	141 31.3	101 22.4	122 27.1	81 18.0	67 14.9	57 12.7	31 6.9	3 0.7	14 3.1
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	366 57.0	316 49.2	302 47.0	205 31.9	194 30.2	177 27.6	172 26.8	159 24.8	143 22.3	111 17.3	82 12.8	58 9.0	10 1.6	29 4.5
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	61 46.2	54 40.9	78 59.1	31 23.5	38 28.8	38 28.8	43 32.6	18 13.6	50 37.9	32 24.2	12 9.1	10 7.6	2 1.5	5 3.8
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	129 55.1	144 61.5	90 38.5	92 39.3	77 32.9	90 38.5	58 24.8	69 29.5	47 20.1	36 15.4	39 16.7	24 10.3	2 0.9	12 5.1
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	84 63.6	88 66.7	50 37.9	46 34.8	37 28.0	52 39.4	35 26.5	37 28.0	30 22.7	29 22.0	12 9.1	14 10.6	1 0.8	5 3.8
	立ち話をする程度の人がいる	367 100.0	220 59.9	197 53.7	159 43.3	107 29.2	94 25.6	91 24.8	93 25.3	99 27.0	73 19.9	69 18.8	42 11.4	25 6.8	1 0.3	15 4.1
	会うとあいさつをする程度の人がいる	404 100.0	224 55.4	171 42.3	171 42.3	126 31.2	143 35.4	110 27.2	97 24.0	85 21.0	95 23.5	56 13.9	53 13.1	27 6.7	6 1.5	15 3.7
加域現在活動の別	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	76 58.5	48 36.9	65 50.0	41 31.5	50 38.5	27 20.8	40 30.8	22 16.9	32 24.6	23 17.7	11 8.5	15 11.5	6 4.6	3 2.3
	参加している	557 100.0	331 59.4	329 59.1	221 39.7	199 35.7	170 30.5	171 30.7	133 23.9	165 29.6	117 21.0	86 15.4	78 14.0	48 8.6	3 0.5	13 2.3
	参加していない	693 100.0	402 58.0	316 45.6	313 45.2	213 30.7	228 32.9	197 28.4	187 27.0	145 20.9	160 23.1	124 17.9	79 11.4	56 8.1	13 1.9	22 3.2

### 3. 養成講座について

#### (1) 福祉関係の養成講座に参加した経験



福祉関係の養成講座に参加した経験では、「参加したことがない」(90.6%)が最も多く、以下「参加したことがある」(7.4%)となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢(6区分)別でみると、60歳以上では「参加したことがある」が1割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、山内地区では「参加したことがある」(14.6%)が他の地区に比べて多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「参加したことがある」が10.8%と参加していない人(4.9%)を5.9ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	参加したことがある	参加したことがない	無回答
		上段：件数 下段：%			
全 体		1,274 100.0	94 7.4	1,154 90.6	26 2.0
性別	男性	591 100.0	37 6.3	542 91.7	12 2.0
	女性	671 100.0	56 8.3	602 89.7	13 1.9
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	2 2.0	97 97.0	1 1.0
	30歳代	132 100.0	7 5.3	124 93.9	1 0.8
	40歳代	241 100.0	12 5.0	225 93.4	4 1.7
	50歳代	263 100.0	12 4.6	247 93.9	4 1.5
	60歳代	338 100.0	35 10.4	295 87.3	8 2.4
	70歳以上	192 100.0	26 13.5	159 82.8	7 3.6
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	42 7.7	489 90.2	11 2.0
	増田地区	74 100.0	5 6.8	67 90.5	2 2.7
	平鹿地区	163 100.0	12 7.4	147 90.2	4 2.5
	雄物川地区	128 100.0	7 5.5	119 93.0	2 1.6
	大森地区	80 100.0	6 7.5	72 90.0	2 2.5
	十文字地区	161 100.0	9 5.6	150 93.2	2 1.2
	山内地区	48 100.0	7 14.6	41 85.4	- -
	大雄地区	72 100.0	6 8.3	64 88.9	2 2.8

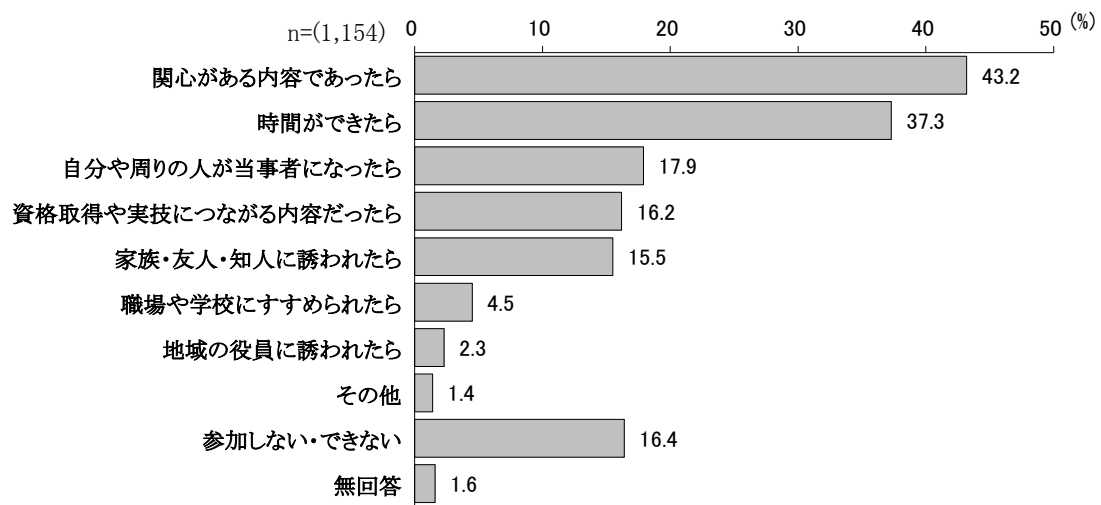
【現在の地域活動参加状況別】

		調査数	参加したことがある	参加したことがない	無回答
		上段：件数 下段：%			
全 体		1,274 100.0	94 7.4	1,154 90.6	26 2.0
加域現 状活在 況動の 別参地	参加している	557 100.0	60 10.8	491 88.2	6 1.1
	参加していない	693 100.0	34 4.9	656 94.7	3 0.4

(2) 福祉関係の養成講座に参加したいと思うきっかけ

問19で「2. 参加したことがない」と回答した方のみ

問19-1 どのようなきっかけがあったら参加しますか。(あてはまるものすべてに○)



福祉関係の養成講座に参加したいと思うきっかけでは、「関心がある内容であったら」(43.2%)が最も多く、以下「時間ができたら」(37.3%)、「自分や周りの人が当事者になったら」(17.9%)、「資格取得や実技につながる内容だったら」(16.2%)、「家族・友人・知人に誘われたら」(15.5%)となっている。

なお、「参加しない・できない」は16.4%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が低いほど「資格取得や実技につながる内容だったら」が多くなっている。40～50歳代では「時間ができたら」が4割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、大森地区、十文字地区では「関心がある内容であったら」が5割以上となっている。雄物川地区では「家族・友人・知人に誘われたら」が24.4%と他の地区に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別では、ゆとりがある人ほど「関心がある内容であったら」、「時間ができたら」が多く、ゆとりがない人ほど「資格取得や実技につながる内容だったら」が多くなっている。なお、ゆとりがない人ほど「参加しない・できない」が多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「関心がある内容であったら」が48.7%と参加していない人(38.9%)を9.8ポイント上回っている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	関心がある内容であつたら	時間ができたら	自分や周りの人が当事者になつたら	資格取得や実技につながる内容だつたら	家族・友人・知人に誘われたら	職場や学校にすすめられたら	地域の役員に誘われたら	その他	参加しない・できない	無回答
		上段：件数 下段：%										
全 体		1,154 100.0	498 43.2	430 37.3	207 17.9	187 16.2	179 15.5	52 4.5	26 2.3	16 1.4	189 16.4	18 1.6
性別	男性	542 100.0	226 41.7	194 35.8	104 19.2	82 15.1	72 13.3	23 4.2	8 1.5	8 1.5	93 17.2	9 1.7
	女性	602 100.0	270 44.9	231 38.4	101 16.8	102 16.9	106 17.6	29 4.8	17 2.8	8 1.3	94 15.6	9 1.5
年齢（6区分）別	20歳代	97 100.0	42 43.3	29 29.9	17 17.5	26 26.8	13 13.4	10 10.3	1 1.0	1 1.0	16 16.5	-
	30歳代	124 100.0	49 39.5	44 35.5	24 19.4	38 30.6	17 13.7	9 7.3	2 1.6	-	20 16.1	-
	40歳代	225 100.0	92 40.9	97 43.1	50 22.2	58 25.8	33 14.7	20 8.9	4 1.8	2 0.9	34 15.1	3 1.3
	50歳代	247 100.0	104 42.1	105 42.5	48 19.4	41 16.6	32 13.0	8 3.2	5 2.0	3 1.2	43 17.4	-
	60歳代	295 100.0	144 48.8	114 38.6	50 16.9	14 4.7	50 16.9	5 1.7	8 2.7	7 2.4	38 12.9	5 1.7
	70歳以上	159 100.0	64 40.3	36 22.6	18 11.3	7 4.4	34 21.4	-	5 3.1	3 1.9	38 23.9	10 6.3
	居住地区（8区分）別	横手地区	489 100.0	205 41.9	174 35.6	84 17.2	73 14.9	77 15.7	22 4.5	6 1.2	8 1.6	91 18.6
増田地区		67 100.0	29 43.3	27 40.3	18 26.9	7 10.4	10 14.9	3 4.5	-	1 1.5	11 16.4	-
平鹿地区		147 100.0	65 44.2	50 34.0	31 21.1	27 18.4	19 12.9	11 7.5	3 2.0	1 0.7	24 16.3	3 2.0
雄物川地区		119 100.0	55 46.2	47 39.5	18 15.1	22 18.5	29 24.4	6 5.0	5 4.2	1 0.8	11 9.2	1 0.8
大森地区		72 100.0	36 50.0	32 44.4	17 23.6	15 20.8	7 9.7	2 2.8	5 6.9	1 1.4	6 8.3	2 2.8
十字地区		150 100.0	76 50.7	55 36.7	24 16.0	28 18.7	27 18.0	4 2.7	5 3.3	3 2.0	21 14.0	1 0.7
山内地区		41 100.0	14 34.1	18 43.9	4 9.8	3 7.3	5 12.2	1 2.4	1 2.4	-	7 17.1	2 4.9
大雄地区		64 100.0	16 25.0	23 35.9	11 17.2	10 15.6	5 7.8	3 4.7	-	1 1.6	18 28.1	-

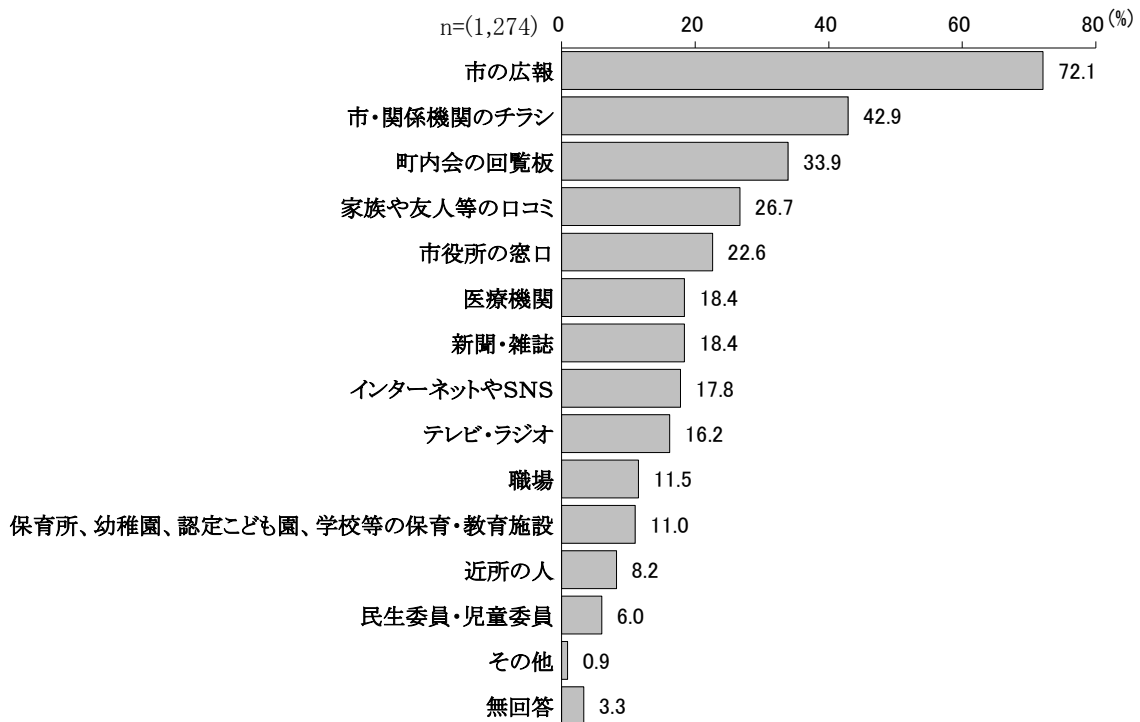
【自身の生活の経済的状況別・現在の地域活動参加状況】

		調査数	関心がある内容であつたら	時間ができたら	自分や周りの人が当事者になつたら	資格取得や実技につながる内容だつたら	家族・友人・知人に誘われたら	職場や学校にすすめられたら	地域の役員に誘われたら	その他	参加しない・できない	無回答
		上段：件数 下段：%										
全 体		1,154 100.0	498 43.2	430 37.3	207 17.9	187 16.2	179 15.5	52 4.5	26 2.3	16 1.4	189 16.4	18 1.6
自身の生活別 経済的	ゆとりがある	40 100.0	20 50.0	17 42.5	11 27.5	4 10.0	5 12.5	3 7.5	-	1 2.5	5 12.5	2 5.0
	普通だと感じている	407 100.0	187 45.9	158 38.8	75 18.4	59 14.5	61 15.0	16 3.9	9 2.2	5 1.2	55 13.5	7 1.7
	ゆとりはないが、なんとか生活している	585 100.0	246 42.1	211 36.1	108 18.5	98 16.8	98 16.8	29 5.0	15 2.6	7 1.2	100 17.1	8 1.4
	ゆとりはなく、生活が苦しい	118 100.0	44 37.3	41 34.7	13 11.0	24 20.3	15 12.7	4 3.4	1 0.8	3 2.5	29 24.6	1 0.8
加域現 況動の 別参加	参加している	491 100.0	239 48.7	204 41.5	87 17.7	70 14.3	77 15.7	16 3.3	16 3.3	7 1.4	57 11.6	7 1.4
	参加していない	656 100.0	255 38.9	223 34.0	120 18.3	116 17.7	101 15.4	36 5.5	9 1.4	9 1.4	131 20.0	11 1.7

## 4. 情報入手について

### (1) 信頼できる福祉に関する情報入手方法

問20 あなたが、横手市の福祉に関する情報入手するうえで信頼できるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)



信頼できる福祉に関する情報入手方法では、「市の広報」(72.1%)が最も多く、以下「市・関係機関のチラシ」(42.9%)、「町内会の回覧板」(33.9%)、「家族や友人等の口コミ」(26.7%)、「市役所の窓口」(22.6%)、「新聞・雑誌」(18.4%)、「医療機関」(18.4%)、「インターネットやSNS」(17.8%)、「テレビ・ラジオ」(16.2%)となっている。

性別でみると、女性では「医療機関」が21.6%と男性(14.7%)を6.9ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「町内会の回覧板」が多く、年齢が低いほど「医療機関」、「インターネットやSNS」、「職場」が多くなっている。30歳代では「保育所、幼稚園、認定こども園、学校等の保育・教育施設」が28.0%、70歳以上では「近所の人」が15.6%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「市の広報」が6割以上と最も多くなっている。大森地区では「医療機関」が30.0%、十文字地区、大雄地区では「町内会の回覧板」が4割以上と他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、概ね付き合いや交流がある人ほど「町内会の回覧板」、「家族や友人等の口コミ」が多くなっている。ほとんど近所の付き合いはない人は「市の広報」が59.2%と付き合いや交流がある人に比べて少なくなっている。一方、「医療機関」が23.8%、「インターネットやSNS」が26.2%と付き合いや交流がある人に比べて多くなっている。

現在の地域活動参加状況別でみると、参加している人は「市・関係機関のチラシ」(47.6%)が7.6ポイント、「町内会の回覧板」(41.7%)が13.3ポイント参加していない人を上回っている。



【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

	調査数 上段：件数 下段：%	市の広報	市・関係機関のチラシ	町内会の回覧板	家族や友人等の口コミ	市役所の窓口	新聞・雑誌	医療機関	インターネットやSNS	テレビ・ラジオ	職場	園・保育所、幼稚園・認定こども学校等の保育・教育施設	近所の人	民生委員・児童委員	その他	無回答	
全体	1,274 100.0	918 72.1	546 42.9	432 33.9	340 26.7	288 22.6	235 18.4	234 18.4	227 17.8	207 16.2	147 11.5	140 11.0	104 8.2	76 6.0	12 0.9	42 3.3	
性別	男性	591 100.0	416 70.4	250 42.3	202 34.2	151 25.5	128 21.7	106 17.9	87 14.7	90 20.3	57 9.6	52 8.8	47 8.0	38 6.4	5 0.8	19 3.2	
	女性	671 100.0	494 73.6	293 43.7	230 34.3	188 28.0	159 23.7	129 19.2	145 21.6	105 15.6	116 17.3	88 12.7	57 8.5	38 5.7	7 1.0	22 3.3	
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	59 59.0	32 32.0	19 19.0	39 39.0	25 25.0	18 18.0	24 24.0	30 30.0	20 20.0	13 13.0	3 3.0	2 2.0	2 2.0	3 3.0	
	30歳代	132 100.0	89 67.4	48 36.4	34 25.8	44 33.3	37 28.0	12 9.1	30 22.7	37 28.0	21 15.9	37 28.0	9 6.8	5 3.8	-	2 1.5	
	40歳代	241 100.0	179 74.3	100 41.5	71 29.5	58 24.1	71 29.5	42 17.4	47 19.5	62 25.7	34 14.1	40 16.6	47 19.5	20 8.3	13 5.4	3 1.2	5 2.1
	50歳代	263 100.0	190 72.2	115 43.7	82 31.2	62 23.6	59 22.4	49 18.6	50 19.0	51 19.4	38 14.4	34 12.9	15 5.7	18 6.8	18 6.8	1 0.4	7 2.7
	60歳代	338 100.0	261 77.2	165 48.8	148 43.8	76 22.5	73 21.6	68 20.1	59 17.5	41 12.1	62 18.3	26 7.7	22 6.5	22 6.5	25 7.4	5 1.5	15 4.4
	70歳以上	192 100.0	133 69.3	83 43.2	77 40.1	59 30.7	22 11.5	46 24.0	22 11.5	5 2.6	40 20.8	4 2.1	4 2.1	30 15.6	12 6.3	1 0.5	9 4.7
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	374 69.0	216 39.9	170 31.4	158 29.2	125 23.1	96 17.7	96 17.7	111 20.5	83 15.3	59 10.9	50 9.2	32 5.9	2 0.4	16 3.0
増田地区		74 100.0	53 71.6	37 50.0	25 33.8	13 17.6	14 18.9	12 16.2	11 14.9	10 13.5	9 12.2	3 4.1	5 6.8	2 2.7	1 1.4	4 5.4	
平鹿地区		163 100.0	113 69.3	79 48.5	50 30.7	44 27.0	37 22.7	36 22.1	29 17.8	26 16.0	31 19.0	15 9.2	13 8.0	10 6.1	2 1.2	6 3.7	
雄物川地区		128 100.0	105 82.0	58 45.3	50 39.1	38 29.7	26 20.3	25 19.5	20 15.6	22 17.2	11 8.6	12 9.4	14 10.9	8 6.3	-	6 4.7	
大森地区		80 100.0	56 70.0	35 43.8	29 36.3	19 23.8	23 28.8	18 22.5	24 30.0	8 10.0	15 18.8	12 15.0	8 10.0	4 5.0	3 3.8	-	3 3.8
十文字地区		161 100.0	125 77.6	67 41.6	67 41.6	37 23.0	39 24.2	26 16.1	31 19.3	23 14.3	25 15.5	13 8.1	24 14.9	14 9.7	11 6.8	1 0.6	2 1.2
山内地区		48 100.0	37 77.1	19 39.6	12 25.0	15 31.3	7 14.6	8 16.7	8 16.7	11 22.9	12 25.0	4 8.3	2 4.2	5 14.6	1 10.4	2 4.2	
大雄地区		72 100.0	51 70.8	34 47.2	29 40.3	16 22.2	17 23.6	14 19.4	13 18.1	17 23.6	10 13.9	10 13.9	10 13.9	5 6.9	4 5.6	2 2.8	

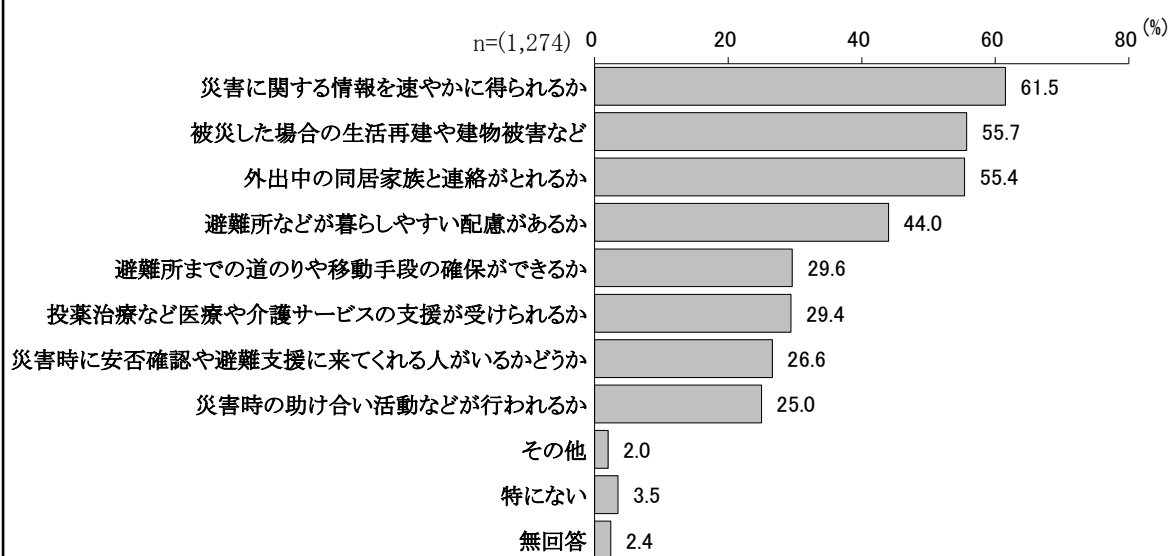
【近所付き合いや交流別・現在の地域活動参加状況別】

	調査数 上段：件数 下段：%	市の広報	市・関係機関のチラシ	町内会の回覧板	家族や友人等の口コミ	市役所の窓口	新聞・雑誌	医療機関	インターネットやSNS	テレビ・ラジオ	職場	園・保育所、幼稚園・認定こども学校等の保育・教育施設	近所の人	民生委員・児童委員	その他	無回答	
全体	1,274 100.0	918 72.1	546 42.9	432 33.9	340 26.7	288 22.6	235 18.4	234 18.4	227 17.8	207 16.2	147 11.5	140 11.0	104 8.2	76 6.0	12 0.9	42 3.3	
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	173 73.9	101 43.2	92 39.3	83 35.5	42 17.9	48 20.5	38 16.2	43 17.1	20 8.5	26 11.1	28 12.0	23 9.8	3 1.3	8 3.4	
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	93 70.5	49 37.1	53 40.2	40 30.3	31 23.5	22 16.7	23 17.4	11 8.3	26 19.7	7 5.3	10 7.6	21 15.9	18 13.6	-	5 3.8
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	283 77.1	176 48.0	140 38.1	86 23.4	73 19.9	68 18.5	63 17.2	54 14.7	61 16.6	39 10.6	38 10.4	27 7.4	19 5.2	1 0.3	14 3.8
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	287 71.0	174 43.1	122 30.2	102 25.2	104 25.7	80 19.8	77 19.1	80 21.5	77 15.3	62 14.1	53 13.1	22 5.4	11 2.7	1 0.2	10 2.5
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	77 59.2	44 33.8	24 18.5	29 22.3	38 29.2	17 13.1	31 23.8	34 26.2	15 11.5	23 17.7	12 9.2	6 4.6	5 3.8	6 4.6	3 2.3
加域現在活動状況別	参加している	557 100.0	420 75.4	265 47.6	232 41.7	150 26.9	118 21.2	97 17.1	95 17.1	72 12.9	85 15.3	53 9.5	53 10.4	58 8.3	46 8.3	3 0.5	16 2.9
	参加していない	693 100.0	492 71.0	277 40.0	197 28.4	188 27.1	168 24.2	134 19.3	137 19.8	120 17.3	92 13.3	85 12.3	43 6.2	27 3.9	9 1.3	10 1.4	

## 5. 助け合いについて

### (1) 災害時の避難について不安に感じること

問21 あなたは、大雨や地震などの災害時の避難についてどのようなことに不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)



災害時の避難について不安に感じることでは、「災害に関する情報を速やかに得られるか」(61.5%)が最も多く、以下「被災した場合の生活再建や建物被害など」(55.7%)、「外出中の同居家族と連絡がとれるか」(55.4%)、「避難所などが暮らしやすい配慮があるか」(44.0%)、「避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか」(29.6%)、「投薬治療など医療や介護サービスの支援が受けられるか」(29.4%)、「災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人がいるかどうか」(26.6%)、「災害時の助け合い活動などが行われるか」(25.0%)となっている。

なお、「特になし」は3.5%となっている。

性別でみると、女性では「外出中の同居家族と連絡がとれるか」(59.3%)が8.5ポイント、「避難所などが暮らしやすい配慮があるか」(49.8%)が11.9ポイント、「避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか」(33.7%)が9.0ポイント、「災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人がいるかどうか」(30.3%)が7.8ポイント、男性を上回っている。

年齢(6区分)別でみると、20歳代では「災害に関する情報を速やかに得られるか」が71.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「災害に関する情報を速やかに得られるか」、「被災した場合の生活再建や建物被害など」が5割以上となっている。山内地区では「避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか」が39.6%、大雄地区では「被災した場合の生活再建や建物被害など」が68.1%、「災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人がいるかどうか」が36.6%とそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、単身(一人暮らし)世帯では「災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人がいるかどうか」が42.1%と他の家族構成に比べて多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	災害に関する情報速やかに得られるか	被災した場合の生活再建や建物被害など	外出中の同居家族と連絡がとれるか	避難所などが暮らしやすい配慮があるか	避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか	投薬治療など医療や介護サービスが受けられるか	災害時に安否確認や避難支援に利用できる人がいるかどうか	災害時の助け合い活動などが行われるか	その他	特にな	無回答
		上段：件数 下段：%											
全 体		1,274 100.0	784 61.5	710 55.7	706 55.4	561 44.0	377 29.6	374 29.4	339 26.6	318 25.0	26 2.0	45 3.5	31 2.4
性別	男性	591 100.0	358 60.6	323 54.7	300 50.8	224 37.9	146 24.7	160 27.1	133 22.5	141 23.9	9 1.5	25 4.2	11 1.9
	女性	671 100.0	421 62.7	380 56.6	398 59.3	334 49.8	226 33.7	209 31.1	203 30.3	176 26.2	17 2.5	20 3.0	18 2.7
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	71 71.0	40 40.0	60 60.0	33 33.0	38 38.0	19 19.0	27 27.0	22 22.0	3 3.0	5 5.0	- -
	30歳代	132 100.0	76 57.6	77 58.3	79 59.8	67 50.8	49 37.1	37 28.0	35 26.5	34 25.8	5 3.8	4 3.0	1 0.8
	40歳代	241 100.0	156 64.7	138 57.3	154 63.9	118 49.0	76 31.5	65 27.0	65 27.0	64 26.6	4 1.7	10 4.1	4 1.7
	50歳代	263 100.0	157 59.7	160 60.8	152 57.8	122 46.4	65 24.7	73 27.8	64 24.3	61 23.2	9 3.4	3 1.1	5 1.9
	60歳代	338 100.0	213 63.0	203 60.1	182 53.8	154 45.6	85 25.1	107 31.7	89 26.3	88 26.0	3 0.9	13 3.8	6 1.8
	70歳以上	192 100.0	106 55.2	86 44.8	73 38.0	63 32.8	59 30.7	68 35.4	56 29.2	46 24.0	2 1.0	10 5.2	14 7.3
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	328 60.5	297 54.8	292 53.9	235 43.4	163 30.1	143 26.4	144 26.6	139 25.6	11 2.0	20 3.7
増田地区		74 100.0	45 60.8	38 51.4	40 54.1	28 37.8	24 32.4	23 31.1	18 24.3	17 23.0	2 2.7	3 4.1	- -
平鹿地区		163 100.0	103 63.2	93 57.1	94 57.7	72 44.2	42 25.8	48 29.4	31 19.0	37 22.7	3 1.8	7 4.3	7 4.3
雄物川地区		128 100.0	78 60.9	71 55.5	73 57.0	59 46.1	36 28.1	44 34.4	42 32.8	35 27.3	3 2.3	4 3.1	3 2.3
大森地区		80 100.0	47 58.8	47 58.8	44 55.0	30 37.5	24 30.0	21 26.3	29 36.3	21 26.3	1 1.3	1 1.3	3 3.8
十文字地区		161 100.0	108 67.1	87 54.0	93 57.8	78 48.4	47 29.2	52 32.3	42 26.1	37 23.0	2 1.2	4 2.5	2 1.2
山内地区		48 100.0	29 60.4	25 52.1	22 45.8	24 50.0	19 39.6	16 33.3	10 20.8	11 22.9	3 6.3	3 6.3	- -
大雄地区		72 100.0	43 59.7	49 68.1	44 61.1	33 45.8	19 26.4	23 31.9	21 29.2	20 27.8	1 1.4	3 4.2	3 4.2

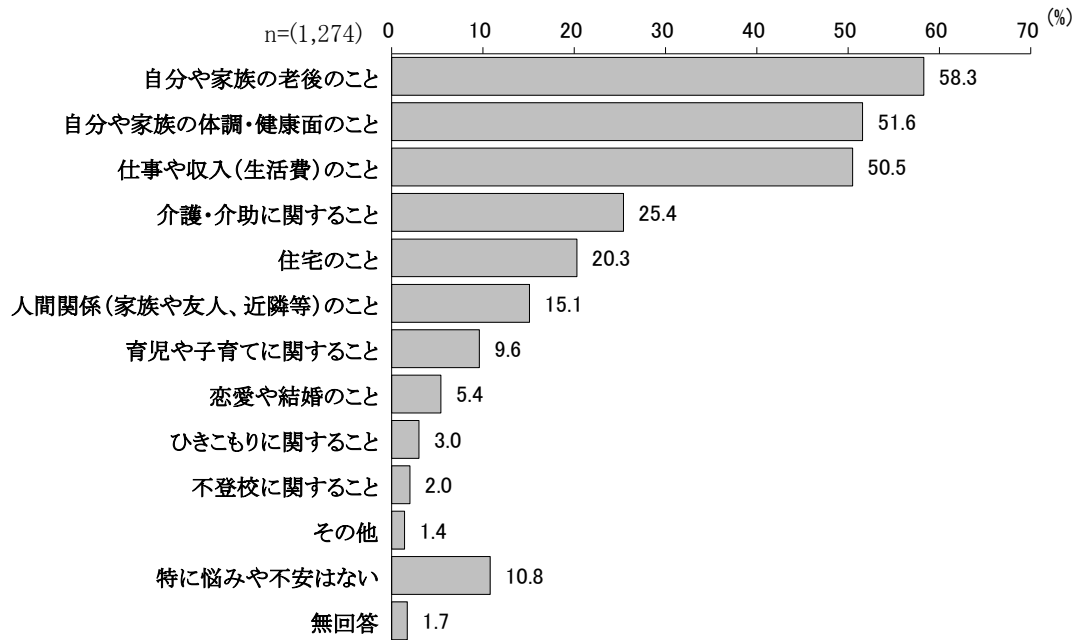
【家族構成別】

		調査数	災害に関する情報速やかに得られるか	被災した場合の生活再建や建物被害など	外出中の同居家族と連絡がとれるか	避難所などが暮らしやすい配慮があるか	避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか	投薬治療など医療や介護サービスが受けられるか	災害時に安否確認や避難支援に利用できる人がいるかどうか	災害時の助け合い活動などが行われるか	その他	特にな	無回答
		上段：件数 下段：%											
全 体		1,274 100.0	784 61.5	710 55.7	706 55.4	561 44.0	377 29.6	374 29.4	339 26.6	318 25.0	26 2.0	45 3.5	31 2.4
家族構成別	単身（一人暮らし）世帯	95 100.0	60 63.2	51 53.7	23 24.2	35 36.8	31 32.6	26 27.4	40 42.1	32 33.7	4 4.2	3 3.2	2 2.1
	夫婦のみの世帯	272 100.0	155 57.0	140 51.5	127 46.7	120 44.1	71 26.1	81 29.8	67 24.6	50 18.4	4 1.5	12 4.4	8 2.9
	親子2世代世帯	607 100.0	371 61.1	348 57.3	365 60.1	266 43.8	175 28.8	170 28.0	155 25.5	162 26.7	12 2.0	21 3.5	18 3.0
	親子孫3世代世帯	253 100.0	168 66.4	149 58.9	165 65.2	117 46.2	82 32.4	79 31.2	61 24.1	60 23.7	5 2.0	4 1.6	1 0.4
	その他	39 100.0	25 64.1	17 43.6	21 53.8	19 48.7	13 33.3	11 28.2	13 33.3	11 28.2	1 2.6	5 12.8	1 2.6

## 6. 相談について

### (1) 日々の生活で悩みや不安なこと

問22 あなたは、日々の生活で悩みや不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



日々の生活で悩みや不安なことでは、「自分や家族の老後のこと」(58.3%)が最も多く、以下「自分や家族の体調・健康面のこと」(51.6%)、「仕事や収入(生活費)のこと」(50.5%)、「介護・介助に関すること」(25.4%)、「住宅のこと」(20.3%)、「人間関係(家族や友人、近隣等)のこと」(15.1%)となっている。

なお、「特に悩みや不安はない」は10.8%となっている。

性別でみると、女性では「自分や家族の老後のこと」が62.0%と男性(54.0%)を8.0ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、年齢が高いほど「自分や家族の体調・健康面のこと」が多くなっている。年齢が低いほど「仕事や収入(生活費)のこと」が多く、20~30歳代では7割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「自分や家族の老後のこと」が5割以上と最も多くなっている。増田地区では「介護・介助に関すること」が14.9%と他の地区に比べて少なくなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、ゆとりがない人ほど「仕事や収入(生活費)のこと」、「住宅のこと」が多くなっている。ゆとりがある人ほど「特に悩みや不安はない」が多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、概ね付き合いや交流がない人ほど「仕事や収入(生活費)のこと」が多く、ほとんど近所の付き合いはない人は64.6%となっている。困ったときに助け合う親しい人がいる人は「特に悩みや不安はない」が17.9%と付き合いや交流がない人に比べて多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

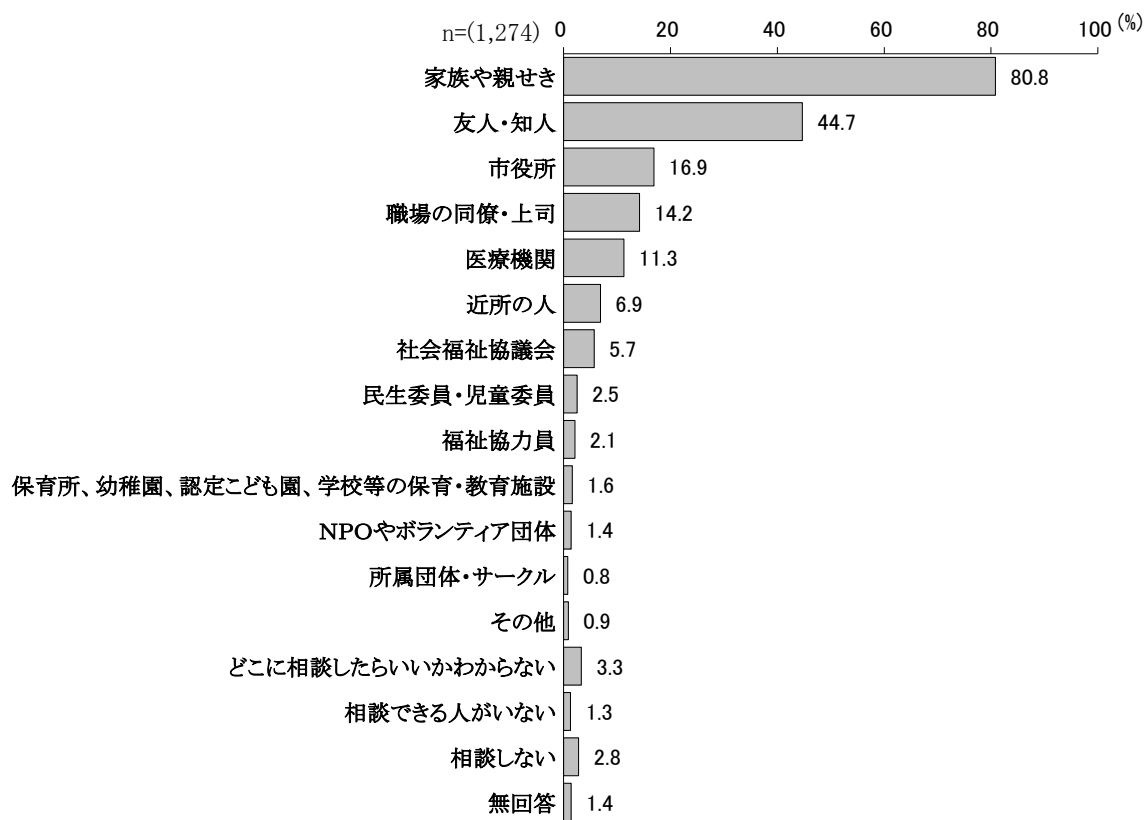
		調査数	自分や家族の老後のこと	自分や家族の体調・健康面のこと	仕事や収入（生活費）のこと	介護・介助に関すること	住宅のこと	人間関係（家族や友人、近隣等）のこと	育児や子育てに関すること	恋愛や結婚のこと	ひきこもりに関すること	不登校に関すること	その他	特に悩みや不安はない	無回答
		上段：件数 下段：%													
全体		1,274 100.0	743 58.3	658 51.6	644 50.5	323 25.4	258 20.3	192 15.1	122 9.6	69 5.4	38 3.0	26 2.0	18 1.4	138 10.8	22 1.7
性別	男性	591 100.0	319 54.0	307 51.9	306 51.8	136 23.0	123 20.8	79 13.4	46 7.8	36 6.1	14 2.4	7 1.2	8 1.4	70 11.8	9 1.5
	女性	671 100.0	416 62.0	345 51.4	332 49.5	185 27.6	131 19.5	109 16.2	72 10.7	32 4.8	24 3.6	19 2.8	10 1.5	67 10.0	12 1.8
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	39 39.0	37 37.0	73 73.0	14 14.0	12 12.0	18 18.0	18 18.0	15 15.0	6 6.0	1 1.0	1 1.0	6 6.0	-
	30歳代	132 100.0	76 57.6	61 46.2	94 71.2	23 17.4	31 23.5	29 22.0	43 32.6	19 14.4	3 2.3	4 3.0	2 1.5	12 9.1	1 0.8
	40歳代	241 100.0	140 58.1	120 49.8	140 58.1	61 25.3	59 24.5	43 17.8	51 21.2	10 4.1	7 2.9	6 2.5	3 1.2	28 11.6	2 0.8
	50歳代	263 100.0	172 65.4	139 52.9	145 55.1	86 32.7	63 24.0	39 14.8	7 2.7	12 4.6	7 2.7	4 1.5	7 2.7	26 9.9	5 1.9
	60歳代	338 100.0	203 60.1	184 54.4	135 39.9	78 23.1	66 19.5	34 10.1	-	9 2.7	8 2.4	4 1.2	3 0.9	43 12.7	7 2.1
	70歳以上	192 100.0	106 55.2	111 57.8	53 27.6	59 30.7	24 12.5	26 13.5	1 0.5	3 1.6	7 3.6	7 3.6	2 1.0	23 12.0	7 3.6
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	310 57.2	276 50.9	285 52.6	129 23.8	116 21.4	87 16.1	53 9.8	31 5.7	13 2.4	9 1.7	6 1.1	58 10.7
	増田地区	74 100.0	45 60.8	39 52.7	39 52.7	11 14.9	12 16.2	6 8.1	6 8.1	3 4.1	4 5.4	3 4.1	5 6.8	8 10.8	-
	平鹿地区	163 100.0	97 59.5	93 57.1	87 53.4	44 27.0	33 20.2	29 17.8	14 8.6	6 3.7	3 1.8	2 1.2	2 1.2	13 8.0	4 2.5
	雄物川地区	128 100.0	77 60.2	64 50.0	64 50.0	36 28.1	24 18.8	22 17.2	13 10.2	9 7.0	7 5.5	6 4.7	1 0.8	15 11.7	1 0.8
	大森地区	80 100.0	51 63.8	45 56.3	39 48.8	23 28.8	17 21.3	11 13.8	9 11.3	4 5.0	4 5.0	2 2.5	2 2.5	8 10.0	-
	十文字地区	161 100.0	91 56.5	80 49.7	76 47.2	49 30.4	34 21.1	22 13.7	15 9.3	11 6.8	3 1.9	3 1.9	1 0.6	18 11.2	2 1.2
	山内地区	48 100.0	30 62.5	27 56.3	20 41.7	12 25.0	9 18.8	6 12.5	3 6.3	-	1 2.1	-	-	8 16.7	-
	大雄地区	72 100.0	38 52.8	31 43.1	31 43.1	18 25.0	10 13.9	8 11.1	7 9.7	4 5.6	3 4.2	1 1.4	1 1.4	9 12.5	2 2.8

【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別】

		調査数	自分や家族の老後のこと	自分や家族の体調・健康面のこと	仕事や収入（生活費）のこと	介護・介助に関すること	住宅のこと	人間関係（家族や友人、近隣等）のこと	育児や子育てに関すること	恋愛や結婚のこと	ひきこもりに関すること	不登校に関すること	その他	特に悩みや不安はない	無回答
		上段：件数 下段：%													
全体		1,274 100.0	743 58.3	658 51.6	644 50.5	323 25.4	258 20.3	192 15.1	122 9.6	69 5.4	38 3.0	26 2.0	18 1.4	138 10.8	22 1.7
自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	45 100.0	13 28.9	13 28.9	5 11.1	6 13.3	-	4 8.9	2 4.4	3 6.7	-	1 2.2	2 4.4	17 37.8	1 2.2
	普通だと感じている	450 100.0	240 53.3	193 42.9	118 26.2	91 20.2	65 14.4	53 11.8	39 8.7	22 4.9	10 2.2	4 0.9	6 1.3	90 20.0	10 2.2
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	407 63.4	379 59.0	401 62.5	185 28.8	152 23.7	114 17.8	70 10.9	39 6.1	21 3.3	15 2.3	8 1.2	27 4.2	10 1.6
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	79 59.8	70 53.0	117 88.6	40 30.3	38 28.8	20 15.2	9 6.8	4 3.0	7 5.3	6 4.5	2 1.5	4 3.0	1 0.8
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	113 48.3	99 42.3	98 41.9	53 22.6	29 12.4	16 6.8	15 6.4	3 1.3	5 2.1	4 1.7	3 1.3	42 17.9	5 2.1
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	83 62.9	75 56.8	52 39.4	40 30.3	27 20.5	20 15.2	7 5.3	7 5.3	2 1.5	4 3.0	1 0.8	10 7.6	4 3.0
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	228 62.1	201 54.8	169 46.0	93 25.3	76 20.7	50 13.6	30 8.2	18 4.9	10 2.7	9 2.5	9 2.5	38 10.4	6 1.6
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	247 61.1	216 53.5	238 58.9	104 25.7	93 23.0	76 18.8	47 11.6	27 6.7	14 3.5	6 1.5	3 0.7	35 8.7	6 1.5
ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	68 52.3	63 48.5	84 64.6	32 24.6	30 23.1	29 22.3	21 16.2	13 10.0	7 5.4	3 2.3	1 0.8	13 10.0	1 0.8	

(2) 深刻な困りごとや不安の相談先

問23 あなたは、深刻な困りごとや不安があったら、誰（どこ）に相談しますか。  
 (あてはまるものすべてに○)



深刻な困りごとや不安の相談先では、「家族や親せき」(80.8%)が最も多く、以下「友人・知人」(44.7%)、「市役所」(16.9%)、「職場の同僚・上司」(14.2%)、「医療機関」(11.3%)となっている。

なお、「どこに相談したらいいかわからない」は3.3%、「相談しない」は2.8%、「相談できる人がいない」は1.3%となっている。

性別でみると、女性では「家族や親せき」(83.5%)が5.5ポイント、「友人・知人」(49.5%)が10.1ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別でみると、年齢が高いほど「近所の人」が多く、70歳以上では16.7%と他の年齢層に比べて多くなっている。概ね年齢が低いほど「友人・知人」が多く、20歳代では5割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「家族や親せき」が7割以上と最も多く、次いで「友人・知人」が3割以上となっている。雄物川地区では「友人・知人」が5割以上、雄物川地区、山内地区では「職場の同僚・上司」が2割以上と他の地区に比べて多くなっている。

家族構成別でみると、単身(一人暮らし)世帯では「友人・知人」が53.7%、「市役所」が22.1%と他の家族構成に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、概ね付き合いや交流がある人ほど「友人・知人」、「近所の人」が多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	家族や親せき	友人・知人	市役所	職場の同僚・上司	医療機関	近所の人	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	福祉協力員
		上段：件数 下段：%									
全 体		1,274 100.0	1,029 80.8	569 44.7	215 16.9	181 14.2	144 11.3	88 6.9	73 5.7	32 2.5	27 2.1
性別	男性	591 100.0	461 78.0	233 39.4	109 18.4	93 15.7	67 11.3	47 8.0	38 6.4	20 3.4	13 2.2
	女性	671 100.0	560 83.5	332 49.5	104 15.5	88 13.1	76 11.3	41 6.1	34 5.1	11 1.6	13 1.9
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	85 85.0	62 62.0	10 10.0	17 17.0	7 7.0	2 2.0	1 1.0	-	1 1.0
	30歳代	132 100.0	105 79.5	68 51.5	12 9.1	40 30.3	11 8.3	3 2.3	5 3.8	1 0.8	-
	40歳代	241 100.0	206 85.5	110 45.6	28 11.6	56 23.2	22 9.1	9 3.7	8 3.3	1 0.4	1 0.4
	50歳代	263 100.0	206 78.3	122 46.4	46 17.5	47 17.9	30 11.4	14 5.3	11 4.2	4 1.5	4 1.5
	60歳代	338 100.0	269 79.6	144 42.6	71 21.0	20 5.9	45 13.3	27 8.0	29 8.6	14 4.1	12 3.6
	70歳以上	192 100.0	155 80.7	60 31.3	47 24.5	-	29 15.1	32 16.7	18 9.4	12 6.3	9 4.7
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	448 82.7	232 42.8	95 17.5	79 14.6	56 10.3	32 5.9	24 4.4	10 1.8
増田地区		74 100.0	57 77.0	31 41.9	6 8.1	9 12.2	9 12.2	6 8.1	5 6.8	1 1.4	1 1.4
平鹿地区		163 100.0	129 79.1	76 46.6	31 19.0	18 11.0	21 12.9	14 8.6	9 5.5	4 2.5	3 1.8
雄物川地区		128 100.0	106 82.8	70 54.7	26 20.3	26 20.3	14 10.9	14 10.9	11 8.6	2 1.6	2 1.6
大森地区		80 100.0	61 76.3	39 48.8	10 12.5	12 15.0	7 8.8	6 7.5	4 5.0	2 2.5	1 1.3
十文字地区		161 100.0	124 77.0	72 44.7	29 18.0	19 11.8	18 11.2	9 5.6	12 7.5	5 3.1	3 1.9
山内地区		48 100.0	42 87.5	21 43.8	8 16.7	11 22.9	8 16.7	4 8.3	4 8.3	4 8.3	1 2.1
大雄地区		72 100.0	60 83.3	28 38.9	10 13.9	7 9.7	11 15.3	3 4.2	3 4.2	4 5.6	4 5.6

		調査数	園・保育所、学校等の幼稚園・認定こども施設も	NPOやボランティア団体	所属団体・サークル	その他	などに相談したらいいかかわから	相談できる人がいない	相談しない	無回答
		上段：件数 下段：%								
全 体		1,274 100.0	21 1.6	18 1.4	10 0.8	11 0.9	42 3.3	17 1.3	36 2.8	18 1.4
性別	男性	591 100.0	7 1.2	7 1.2	6 1.0	3 0.5	27 4.6	8 1.4	23 3.9	7 1.2
	女性	671 100.0	13 1.9	11 1.6	4 0.6	8 1.2	14 2.1	8 1.2	13 1.9	11 1.6
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	-	1 1.0	-	1 1.0	2 2.0	3 3.0	3 3.0	-
	30歳代	132 100.0	3 2.3	4 3.0	1 0.8	2 1.5	3 2.3	1 0.8	9 6.8	1 0.8
	40歳代	241 100.0	13 5.4	7 2.9	3 1.2	1 0.4	3 1.2	5 2.1	5 2.1	2 0.8
	50歳代	263 100.0	2 0.8	2 0.8	1 0.4	2 0.8	12 4.6	5 1.9	7 2.7	5 1.9
	60歳代	338 100.0	2 0.6	3 0.9	3 0.9	2 0.6	14 4.1	2 0.6	7 2.1	5 1.5
	70歳以上	192 100.0	-	1 0.5	2 1.0	3 1.6	7 3.6	-	5 2.6	5 2.6
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	5 0.9	5 0.9	3 0.6	3 0.6	14 2.6	6 1.1	19 3.5
増田地区		74 100.0	1 1.4	-	-	1 1.4	5 6.8	2 2.7	4 5.4	-
平鹿地区		163 100.0	2 1.2	2 1.2	2 1.2	1 0.6	4 2.5	1 0.6	2 1.2	5 3.1
雄物川地区		128 100.0	1 0.8	6 4.7	4 3.1	1 0.8	4 3.1	1 0.8	3 2.3	1 0.8
大森地区		80 100.0	2 2.5	-	-	1 1.3	3 3.8	2 2.5	3 3.8	-
十文字地区		161 100.0	3 1.9	1 0.6	-	2 1.2	9 5.6	2 1.2	1 0.6	2 1.2
山内地区		48 100.0	2 4.2	1 2.1	1 2.1	-	1 2.1	1 2.1	1 2.1	-
大雄地区		72 100.0	4 5.6	3 4.2	-	2 2.8	-	1 1.4	3 4.2	1 1.4

【家族構成別・近所付き合いや交流別】

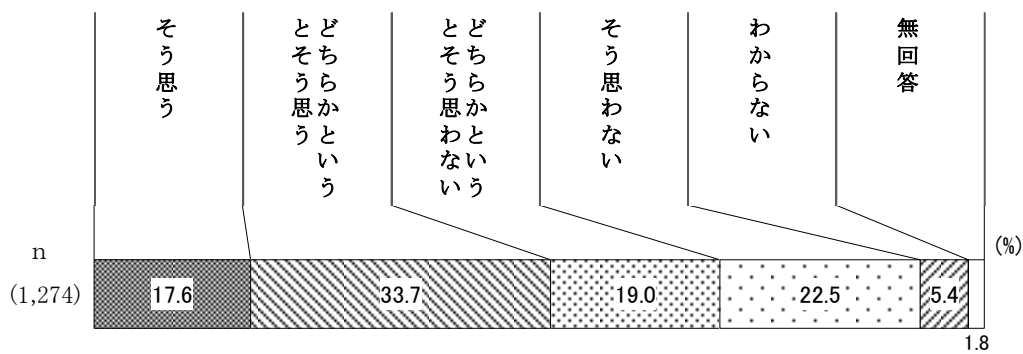
		調査数	家族や親せき	友人・知人	市役所	職場の同僚・上司	医療機関	近所の人	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	福祉協力員
		上段：件数 下段：%									
全 体		1,274 100.0	1,029 80.8	569 44.7	215 16.9	181 14.2	144 11.3	88 6.9	73 5.7	32 2.5	27 2.1
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	63 66.3	51 53.7	21 22.1	15 15.8	12 12.6	9 9.5	7 7.4	6 6.3	5 5.3
	夫婦のみの世帯	272 100.0	230 84.6	99 36.4	45 16.5	24 8.8	28 10.3	21 7.7	18 6.6	6 2.2	3 1.1
	親子2世代世帯	607 100.0	488 80.4	276 45.5	101 16.6	100 16.5	68 11.2	36 5.9	32 5.3	15 2.5	11 1.8
	親子孫3世代世帯	253 100.0	216 85.4	126 49.8	37 14.6	36 14.2	29 11.5	15 5.9	11 4.3	4 1.6	4 1.6
	その他	39 100.0	28 71.8	14 35.9	10 25.6	6 15.4	7 17.9	6 15.4	4 10.3	1 2.6	4 10.3
	近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	202 86.3	136 58.1	48 20.5	27 11.5	25 10.7	38 16.2	15 6.4	11 4.7
お互いに訪問し合う人 がいる		132 100.0	108 81.8	69 52.3	20 15.2	13 9.8	13 9.8	19 14.4	13 9.8	5 3.8	6 4.5
立ち話をする程度の人 がいる		367 100.0	302 82.3	149 40.6	71 19.3	42 11.4	47 12.8	21 5.7	21 5.7	13 3.5	8 2.2
会うとあいさつをする 程度の人がある		404 100.0	331 81.9	168 41.6	55 13.6	78 19.3	47 11.6	9 2.2	19 4.7	3 0.7	5 1.2
ほとんど近所の付き合い はない		130 100.0	83 63.8	46 35.4	21 16.2	21 16.2	11 8.5	1 0.8	4 3.1	-	2 1.5

		調査数	学保育所、幼稚園、認定こども園、	NPOやボランティア団体	所属団体・サークル	その他	どこに相談したらいいかわからない	相談できる人がいない	相談しない	無回答
		上段：件数 下段：%								
全 体		1,274 100.0	21 1.6	18 1.4	10 0.8	11 0.9	42 3.3	17 1.3	36 2.8	18 1.4
家族構成別	単身（一人暮らし）	95 100.0	-	1 1.1	-	1 1.1	5 5.3	3 3.2	5 5.3	1 1.1
	夫婦のみの世帯	272 100.0	-	2 0.7	1 0.4	2 0.7	14 5.1	-	6 2.2	5 1.8
	親子2世代世帯	607 100.0	12 2.0	9 1.5	5 0.8	5 0.8	12 2.0	10 1.6	16 2.6	10 1.6
	親子孫3世代世帯	253 100.0	7 2.8	5 2.0	2 0.8	1 0.4	10 4.0	2 0.8	6 2.4	1 0.4
	その他	39 100.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.1	-	1 7.7	3 2.6
	近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	5 2.1	2 0.9	4 1.7	-	4 1.7	-	3 1.3
お互いに訪問し合う人 がいる		132 100.0	-	1 0.8	1 0.8	2 1.5	2 1.5	-	2 1.5	4 3.0
立ち話をする程度の人 がいる		367 100.0	7 1.9	4 1.1	2 0.5	2 0.5	12 3.3	4 1.1	9 2.5	3 0.8
会うとあいさつをする 程度の人がある		404 100.0	7 1.7	10 2.5	2 0.5	2 1.2	15 3.7	4 1.0	8 2.0	6 1.5
ほとんど近所の付き合い はない		130 100.0	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.5	8 6.2	8 6.2	14 10.8	1 0.8



## (3) 悩みやストレスを相談したり助けを求めることに対するためらい

問24 あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(ひとつだけ○)



悩みやストレスを相談したり助けを求めることに対するためらいでは、「そう思う」と「どちらかという」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が51.3%、「どちらかという」と「そう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が41.5%となっている。

なお、「わからない」は5.4%となっている。

性別でみると、男性では『そう思う』が54.3%と女性(48.1%)を6.2ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、40歳代以外の年齢層では『そう思う』が『そう思わない』を上回っている。

居住地区(8区分)別でみると、平鹿地区、雄物川地区、大森地区、十文字地区では『そう思う』が5割以上となっている。一方、山内地区では『そう思う』が37.5%と他の地区に比べて少なくなっている。増田地区では『そう思わない』が51.4%と他の地区に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別でみると、ゆとりがない人ほど『そう思う』が多く、ゆとりはなく、生活が苦しい人は63.7%となっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど『そう思わない』が多く、困ったときに助け合う親しい人がいる人は46.6%となっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

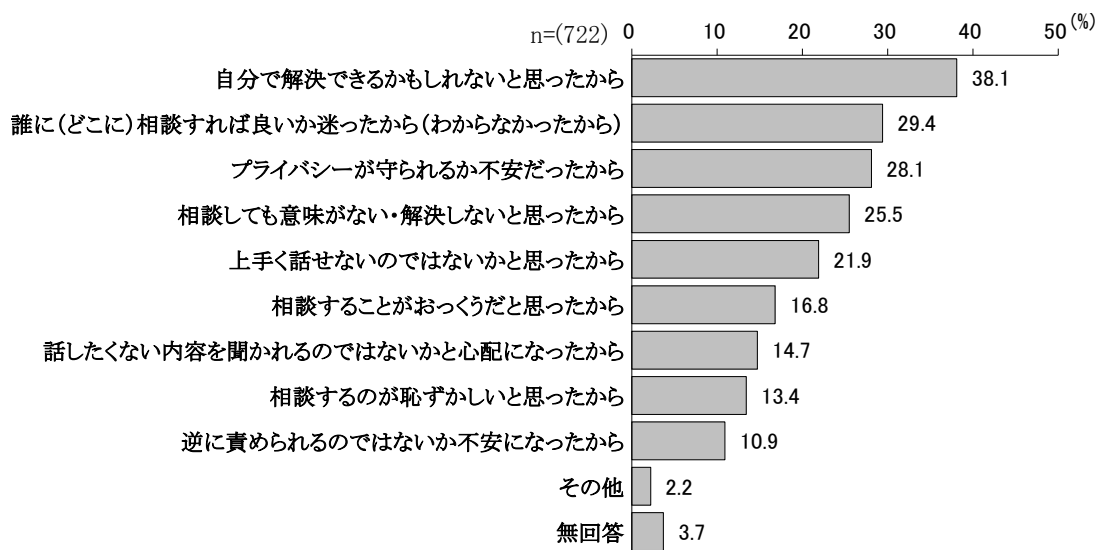
		調査数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない	無回答
		上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	224 17.6	429 33.7	242 19.0	287 22.5	69 5.4	23 1.8
性別	男性	591 100.0	121 20.5	200 33.8	106 17.9	111 18.8	45 7.6	8 1.4
	女性	671 100.0	100 14.9	223 33.2	135 20.1	175 26.1	24 3.6	14 2.1
年齢 （6区分） 別	20歳代	100 100.0	18 18.0	29 29.0	14 14.0	29 29.0	10 10.0	- -
	30歳代	132 100.0	28 21.2	43 32.6	30 22.7	27 20.5	2 1.5	2 1.5
	40歳代	241 100.0	33 13.7	81 33.6	49 20.3	68 28.2	9 3.7	1 0.4
	50歳代	263 100.0	50 19.0	83 31.6	55 20.9	57 21.7	15 5.7	3 1.1
	60歳代	338 100.0	55 16.3	127 37.6	74 21.9	59 17.5	18 5.3	5 1.5
	70歳以上	192 100.0	38 19.8	62 32.3	19 9.9	46 24.0	15 7.8	12 6.3
居住地区 （8区分） 別	横手地区	542 100.0	96 17.7	169 31.2	118 21.8	123 22.7	25 4.6	11 2.0
	増田地区	74 100.0	14 18.9	19 25.7	20 27.0	18 24.3	2 2.7	1 1.4
	平鹿地区	163 100.0	23 14.1	63 38.7	30 18.4	39 23.9	6 3.7	2 1.2
	雄物川地区	128 100.0	27 21.1	48 37.5	19 14.8	29 22.7	4 3.1	1 0.8
	大森地区	80 100.0	13 16.3	32 40.0	13 16.3	13 16.3	7 8.8	2 2.5
	十文字地区	161 100.0	33 20.5	60 37.3	17 10.6	37 23.0	11 6.8	3 1.9
	山内地区	48 100.0	6 12.5	12 25.0	12 25.0	11 22.9	6 12.5	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	9 12.5	23 31.9	13 18.1	17 23.6	8 11.1	2 2.8

## 【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別】

		調査数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う	そう思わない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%								
全 体		1,274 100.0	224 17.6	429 33.7	242 19.0	287 22.5	69 5.4	23 1.8
自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	45 100.0	3 6.7	15 33.3	8 17.8	16 35.6	3 6.7	- -
	普通だと感じている	450 100.0	61 13.6	146 32.4	107 23.8	103 22.9	27 6.0	6 1.3
	ゆとりはないが、なんとか生活している	642 100.0	117 18.2	222 34.6	111 17.3	145 22.6	34 5.3	13 2.0
	ゆとりはなく、生活が苦しい	132 100.0	41 31.1	43 32.6	16 12.1	23 17.4	5 3.8	4 3.0
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	33 14.1	65 27.8	47 20.1	62 26.5	18 7.7	9 3.8
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	17 12.9	51 38.6	18 13.6	38 28.8	3 2.3	5 3.8
	立ち話をする程度の人がある	367 100.0	69 18.8	132 36.0	78 21.3	70 19.1	16 4.4	2 0.5
	会うとあいさつをする程度の人がある	404 100.0	72 17.8	141 34.9	73 18.1	90 22.3	24 5.9	4 1.0
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	31 23.8	37 28.5	25 19.2	27 20.8	8 6.2	2 1.5

(4) 悩みやストレスを相談したり助けを求めることをためらう理由

問24で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」「5. わからない」と回答した方のみ  
問24-1 ためらう理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



悩みやストレスを相談したり助けを求めることをためらう理由では、「自分で解決できるかもしれないと思ったから」(38.1%)が最も多く、以下「誰に(どこに)相談すれば良いか迷ったから(わからなかったから)」(29.4%)、「プライバシーが守られるか不安だったから」(28.1%)、「相談しても意味がない・解決しないと思ったから」(25.5%)、「上手く話せないのではないかと思ったから」(21.9%)、「相談することがおっくうだと思ったから」(16.8%)となっている。

性別で見ると、男性では「自分で解決できるかもしれないと思ったから」が41.8%と女性(34.6%)を7.2ポイント上回っている。女性では、「プライバシーが守られるか不安だったから」が34.9%と男性(21.6%)を13.3ポイント上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、概ね年齢が低いほど「上手く話せないのではないかと思ったから」、「逆に責められるのではないかと不安になったから」が多く、いずれも20歳代では他の年齢層に比べて10.0ポイント以上多くなっている。

居住地区(8区分)別で見ると、大森地区では「自分で解決できるかもしれないと思ったから」、「話したくない内容を聞かれるのではないかと心配になったから」、「相談しても意味がない・解決しないと思ったから」、雄物川地区では「誰に(どこに)相談すれば良いか迷ったから(わからなかったから)」、増田地区では「上手く話せないのではないかと思ったから」、山内地区では「逆に責められるのではないかと不安になったから」がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

自身の生活の経済的状況別で見ると、ゆとりがある人ほど「自分で解決できるかもしれないと思ったから」が多く、ゆとりがない人ほど「誰に(どこに)相談すれば良いか迷ったから(わからなかったから)」、「プライバシーが守られるか不安だったから」、「上手く話せないのではないかと思ったから」、「話したくない内容を聞かれるのではないかと心配になったから」が多くなっている。

近所付き合いや交流別で見ると、概ね付き合いや交流がある人ほど「自分で解決できるかもしれないと思ったから」が多く、付き合いや交流がない人ほど「相談しても意味がない・解決しないと思ったから」が多くなっている。

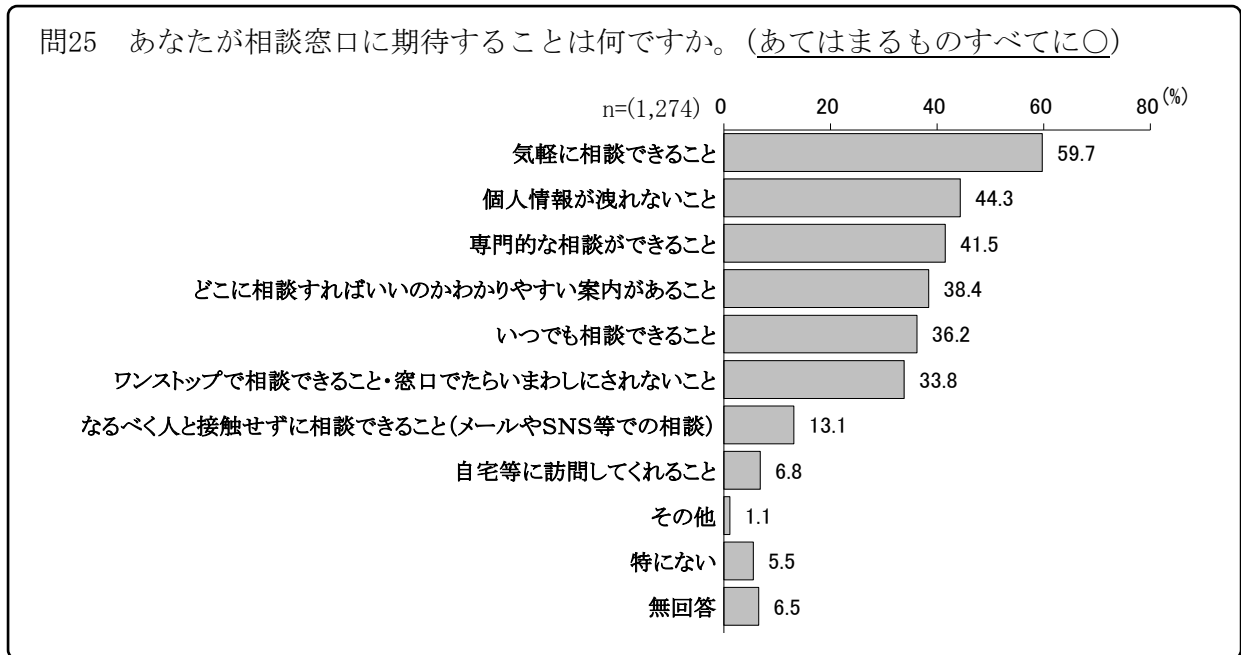
【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	と自分で解決できるかもしれない	か迷ったから（どこに）（わかたれば良かった）	誰か（どこに）相談すれば良かった	だっつけたいが守られるか不安	相談しても意味がない・解決しない	上手に話せないのではないかと	相談することがおっくうだと	話したくない内容を聞かされるのではないかと心配になったから	相談するのが恥ずかしいと思っ	安逆に責められるのではないかと	その他	無回答
		上段：件数 下段：%												
全体		722 100.0	275 38.1	212 29.4	203 28.1	184 25.5	158 21.9	121 16.8	106 14.7	97 13.4	79 10.9	16 2.2	27 3.7	
性別	男性	366 100.0	153 41.8	109 29.8	79 21.6	90 24.6	59 16.1	66 18.0	42 11.5	55 15.0	36 9.8	10 2.7	19 5.2	
	女性	347 100.0	120 34.6	99 28.5	121 34.9	93 26.8	97 28.0	55 15.9	63 18.2	40 11.5	41 11.8	6 1.7	7 2.0	
年齢（6区分）別	20歳代	57 100.0	23 40.4	16 28.1	9 15.8	17 29.8	22 38.6	13 22.8	8 14.0	9 15.8	16 28.1	3 5.3	3 5.3	
	30歳代	73 100.0	25 34.2	18 24.7	15 20.5	32 43.8	19 26.0	15 20.5	8 11.0	7 9.6	12 16.4	1 1.4	2 2.7	
	40歳代	123 100.0	45 36.6	37 30.1	32 26.0	40 32.5	32 26.0	20 16.3	21 17.1	21 17.1	19 15.4	3 2.4	4 3.3	
	50歳代	148 100.0	59 39.9	42 28.4	44 29.7	38 25.7	30 20.3	22 14.9	21 14.2	28 18.9	13 8.8	2 1.4	2 1.4	
	60歳代	200 100.0	83 41.5	58 29.0	71 35.5	37 18.5	32 16.0	30 15.0	37 18.5	22 11.0	13 6.5	4 2.0	6 3.0	
	70歳以上	115 100.0	40 34.8	38 33.0	30 26.1	19 16.5	21 18.3	21 18.3	11 9.6	9 7.8	4 3.5	3 2.6	3 7.8	
	居住地区（8区分）別	横手地区	290 100.0	111 38.3	81 27.9	85 29.3	83 28.6	56 19.3	56 19.3	48 16.6	38 13.1	37 12.8	5 1.7	7 2.4
	増田地区	35 100.0	9 25.7	13 37.1	11 31.4	7 20.0	12 34.3	5 14.3	5 14.3	3 8.6	5 14.3	-	1 2.9	
	平鹿地区	92 100.0	38 41.3	27 29.3	20 21.7	25 27.2	25 27.2	18 19.6	12 13.0	10 10.9	8 8.7	2 2.2	1 1.1	
	雄物川地区	79 100.0	23 29.1	31 39.2	26 32.9	18 22.8	17 21.5	9 11.4	8 10.1	14 17.7	7 8.9	3 3.8	4 5.1	
	大森地区	52 100.0	25 48.1	14 26.9	19 36.5	22 42.3	10 19.2	9 17.3	11 21.2	10 19.2	4 7.7	-	3 5.8	
	十文字地区	104 100.0	48 46.2	29 27.9	28 26.9	14 13.5	23 22.1	15 14.4	13 12.5	10 9.6	8 7.7	4 3.8	5 4.8	
	山内地区	24 100.0	11 45.8	4 16.7	5 20.8	4 16.7	5 20.8	2 8.3	5 20.8	1 4.2	5 20.8	-	4 16.7	
	大雉地区	40 100.0	10 25.0	11 27.5	8 20.0	9 22.5	8 20.0	6 15.0	4 10.0	10 25.0	3 7.5	2 5.0	1 2.5	

【自身の生活の経済的状況別・近所付き合いや交流別】

		調査数	と自分で解決できるかもしれない	か迷ったから（どこに）（わかたれば良かった）	誰か（どこに）相談すれば良かった	だっつけたいが守られるか不安	相談しても意味がない・解決しない	上手に話せないのではないかと	相談することがおっくうだと	話したくない内容を聞かされるのではないかと心配になったから	相談するのが恥ずかしいと思っ	安逆に責められるのではないかと	その他	無回答
		上段：件数 下段：%												
全体		722 100.0	275 38.1	212 29.4	203 28.1	184 25.5	158 21.9	121 16.8	106 14.7	97 13.4	79 10.9	16 2.2	27 3.7	
自身の生活の経済的状況別	ゆとりがある	21 100.0	12 57.1	3 14.3	3 14.3	7 33.3	3 14.3	4 19.0	2 9.5	-	-	1 4.8	-	
	普通だと感じている	234 100.0	107 45.7	63 26.9	62 26.5	45 19.2	44 18.8	33 14.1	28 12.0	30 12.8	19 8.1	7 3.0	11 4.7	
	ゆとりはないが、なんとか生活している	373 100.0	138 37.0	111 29.8	106 28.4	100 26.8	88 23.6	68 18.2	60 16.1	53 14.2	44 11.8	6 1.6	13 3.5	
	ゆとりはなく、生活が苦しい	89 100.0	18 20.2	33 37.1	31 34.8	31 34.8	31 23.6	21 18.0	16 18.0	16 14.6	14 15.7	2 2.2	2 2.2	
	近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	116 100.0	50 43.1	30 25.9	28 24.1	17 14.7	12 10.3	14 12.1	15 12.9	13 11.2	6 5.2	2 1.7	7 6.0
	お互いに訪問し合う人がいる	71 100.0	33 46.5	21 29.6	21 29.6	12 16.9	16 22.5	7 9.9	12 16.9	5 7.0	2 2.8	2 2.8	4 5.6	
	立ち話をする程度の人がある	217 100.0	95 43.8	61 28.1	63 29.0	40 18.4	39 18.0	39 18.0	23 10.6	31 14.3	19 8.8	5 2.3	6 2.8	
	会うとあいさつをする程度の人がある	237 100.0	77 32.5	76 32.1	77 32.5	76 32.1	68 28.7	47 19.8	45 19.0	37 15.6	33 13.9	4 1.7	8 3.4	
	ほとんど近所の付き合いはない	76 100.0	20 26.3	22 28.9	13 17.1	38 50.0	21 27.6	14 18.4	11 14.5	10 13.2	17 22.4	3 3.9	1 1.3	

(5) 相談窓口に期待すること



相談窓口に期待することでは、「気軽に相談できること」(59.7%)が最も多く、以下「個人情報が洩れないこと」(44.3%)、「専門的な相談ができること」(41.5%)、「どこに相談すればいいのかわかりやすい案内があること」(38.4%)、「いつでも相談できること」(36.2%)、「ワンストップで相談できること・窓口でたらいまわしにされないこと」(33.8%)となっている。

なお、「特にない」は5.5%となっている。

性別で見ると、女性では「個人情報が洩れないこと」(53.9%)が20.7ポイント、「ワンストップで相談できること・窓口でたらいまわしにされないこと」(37.9%)が8.3ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、概ね年齢が低いほど「気軽に相談できること」、「なるべく人と接触せずに相談できること(メールやSNS等での相談)」が多くなっている。40歳代では「専門的な相談ができること」が50.6%と他の年齢層に比べて多くなっている。

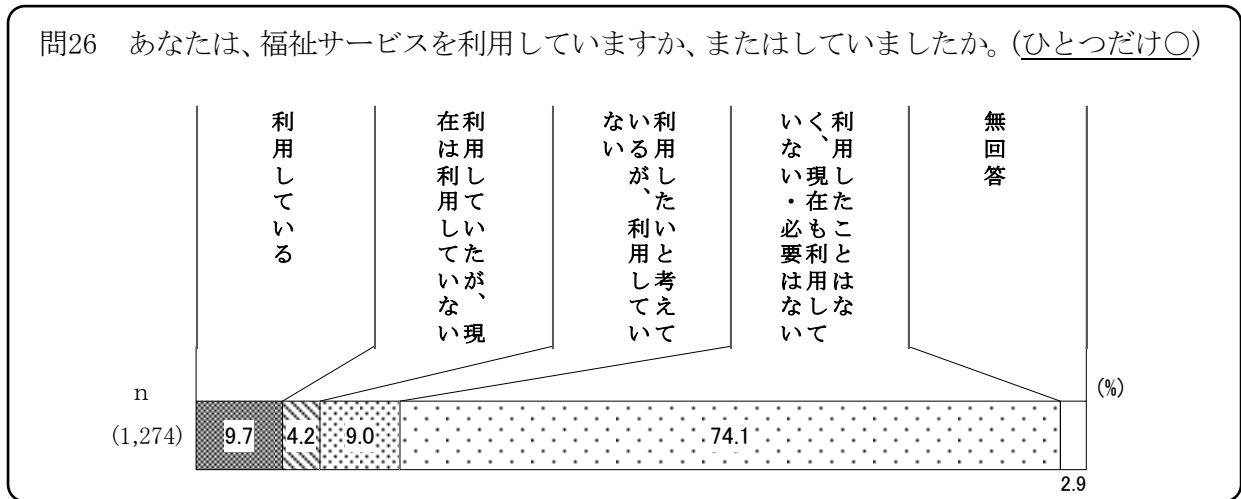
居住地区(8区分)別で見ると、いずれも「気軽に相談できること」が5割以上と最も多くなっている。大森地区、大雄地区では「個人情報が洩れないこと」が5割以上と他の地区に比べて多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	気軽に相談できること	個人情報が出れないこと	専門的な相談ができること	どこに相談すればいいのかかわかりやすい案内があること	いつでも相談できること	と・窓口でたらいまわしにされないこと	ワンストップで相談できること	なるべく人と接触せずに相談できること（メールやSNS等での相談）	自宅等に訪問してくれること	その他	特になし	無回答
		上段：件数 下段：%												
全 体		1,274 100.0	760 59.7	564 44.3	529 41.5	489 38.4	461 36.2	430 33.8	167 13.1	87 6.8	14 1.1	70 5.5	83 6.5	
性別	男性	591 100.0	353 59.7	196 33.2	234 39.6	219 37.1	228 38.6	175 29.6	73 12.4	45 7.6	6 1.0	38 6.4	38 6.4	
	女性	671 100.0	401 59.8	362 53.9	292 43.5	267 39.8	232 34.6	254 37.9	93 13.9	41 6.1	8 1.2	30 4.5	44 6.6	
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	69 69.0	45 45.0	33 33.0	38 38.0	43 43.0	25 25.0	20 20.0	1 1.0	1 1.0	6 6.0	4 4.0	
	30歳代	132 100.0	81 61.4	54 40.9	47 35.6	65 49.2	57 43.2	52 39.4	36 27.3	10 7.6	4 3.0	8 6.1	5 3.8	
	40歳代	241 100.0	146 60.6	125 51.9	122 50.6	89 36.9	101 41.9	97 40.2	38 15.8	11 4.6	4 1.7	15 6.2	10 4.1	
	50歳代	263 100.0	155 58.9	122 46.4	109 41.4	92 35.0	93 35.4	91 34.6	41 15.6	9 3.4	2 0.8	16 6.1	16 6.1	
	60歳代	338 100.0	191 56.5	146 43.2	137 40.5	135 39.9	99 29.3	110 32.5	19 5.6	29 8.6	2 0.6	14 4.1	29 8.6	
	70歳以上	192 100.0	113 58.9	66 34.4	79 41.1	68 35.4	65 33.9	52 27.1	13 6.8	27 14.1	1 0.5	10 5.2	18 9.4	
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	310 57.2	236 43.5	239 44.1	214 39.5	189 34.9	181 33.4	67 12.4	28 5.2	11 2.0	39 7.2	28 5.2
	増田地区	74 100.0	38 51.4	31 41.9	28 37.8	30 40.5	22 29.7	23 31.1	9 12.2	7 9.5	-	5 6.8	4 5.4	
	平鹿地区	163 100.0	103 63.2	72 44.2	64 39.3	64 39.3	62 38.0	64 39.3	29 17.8	14 8.6	1 0.6	7 4.3	8 4.9	
	雄物川地区	128 100.0	83 64.8	57 44.5	56 43.8	55 43.0	55 43.0	37 28.9	16 12.5	8 6.3	-	4 3.1	8 6.3	
	大森地区	80 100.0	49 61.3	44 55.0	39 48.8	25 31.3	31 38.8	29 36.3	11 13.8	8 10.0	2 2.5	-	6 7.5	
	十文字地区	161 100.0	109 67.7	66 41.0	59 36.6	63 39.1	65 40.4	56 34.8	17 10.6	13 8.1	-	6 3.7	13 8.1	
	山内地区	48 100.0	27 56.3	19 39.6	15 31.3	14 29.2	16 33.3	11 22.9	6 12.5	5 10.4	-	2 4.2	7 14.6	
	大雄地区	72 100.0	39 54.2	36 50.0	29 40.3	23 31.9	21 29.2	29 40.3	12 16.7	4 5.6	-	5 6.9	8 11.1	

## 7. 福祉サービスについて

### (1) 福祉サービスの利用状況



福祉サービスの利用状況では、「利用したことはなく、現在も利用していない・必要はない」(74.1%)が最も多く、以下「利用している」(9.7%)、「利用したいと考えているが、利用していない」(9.0%)、「利用していたが、現在は利用していない」(4.2%)となっている。

性別でみると、男性では「利用したいと考えているが、利用していない」が11.7%と女性(6.6%)を5.1ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が高いほど「利用したいと考えているが、利用していない」が多くなっている。年齢が低いほど「利用したことはなく、現在も利用していない・必要はない」が多く、20歳代では91.0%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、いずれも「利用したことはなく、現在も利用していない・必要はない」が6割以上と最も多くなっている。増田地区、山内地区、大雄地区では「利用している」が1割以上と他の地区に比べて多くなっている。

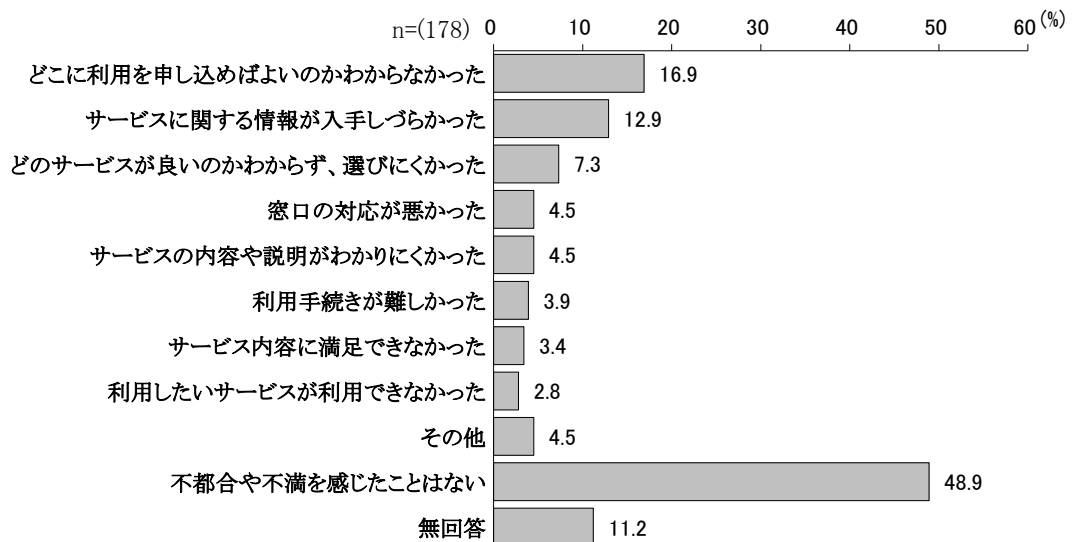


## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	利用している	利用していないが、現在は利用している	利用したいと考えているが、利用していない	利用したことはない・必要はない	無回答
		上段：件数 下段：%					
全 体		1,274 100.0	124 9.7	54 4.2	115 9.0	944 74.1	37 2.9
性別	男性	591 100.0	57 9.6	15 2.5	69 11.7	436 73.8	14 2.4
	女性	671 100.0	64 9.5	38 5.7	44 6.6	502 74.8	23 3.4
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	5 5.0	1 1.0	3 3.0	91 91.0	- -
	30歳代	132 100.0	8 6.1	2 1.5	10 7.6	110 83.3	2 1.5
	40歳代	241 100.0	21 8.7	6 2.5	14 5.8	198 82.2	2 0.8
	50歳代	263 100.0	27 10.3	9 3.4	26 9.9	196 74.5	5 1.9
	60歳代	338 100.0	30 8.9	24 7.1	36 10.7	234 69.2	14 4.1
	70歳以上	192 100.0	32 16.7	11 5.7	25 13.0	110 57.3	14 7.3
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	50 9.2	21 3.9	46 8.5	405 74.7	20 3.7
	増田地区	74 100.0	11 14.9	2 2.7	5 6.8	55 74.3	1 1.4
	平鹿地区	163 100.0	15 9.2	7 4.3	18 11.0	120 73.6	3 1.8
	雄物川地区	128 100.0	11 8.6	8 6.3	13 10.2	95 74.2	1 0.8
	大森地区	80 100.0	4 5.0	5 6.3	7 8.8	63 78.8	1 1.3
	十文字地区	161 100.0	12 7.5	7 4.3	16 9.9	121 75.2	5 3.1
	山内地区	48 100.0	7 14.6	1 2.1	2 4.2	34 70.8	4 8.3
	大雄地区	72 100.0	13 18.1	2 2.8	8 11.1	47 65.3	2 2.8

(2) サービスの利用に関して不都合を感じたり不満に思ったりしたこと

問26で「1. 利用している」「2. 利用していたが、現在は利用していない」と回答した方のみ  
 問26-1 サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったりしたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



サービスの利用に関して不都合を感じたり不満に思ったりしたことでは、「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」(16.9%)が最も多く、以下「サービスに関する情報が入手しづらかった」(12.9%)となっている。

なお、「不都合や不満を感じたことはない」は48.9%となっている。

性別で見ると、男性では「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が25.0%と女性(10.8%)を14.2ポイント上回っている。女性では、「サービスに関する情報が入手しづらかった」が14.7%と男性(8.3%)を6.4ポイント上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、いずれも「不都合や不満を感じたことはない」が最も多くなっている。

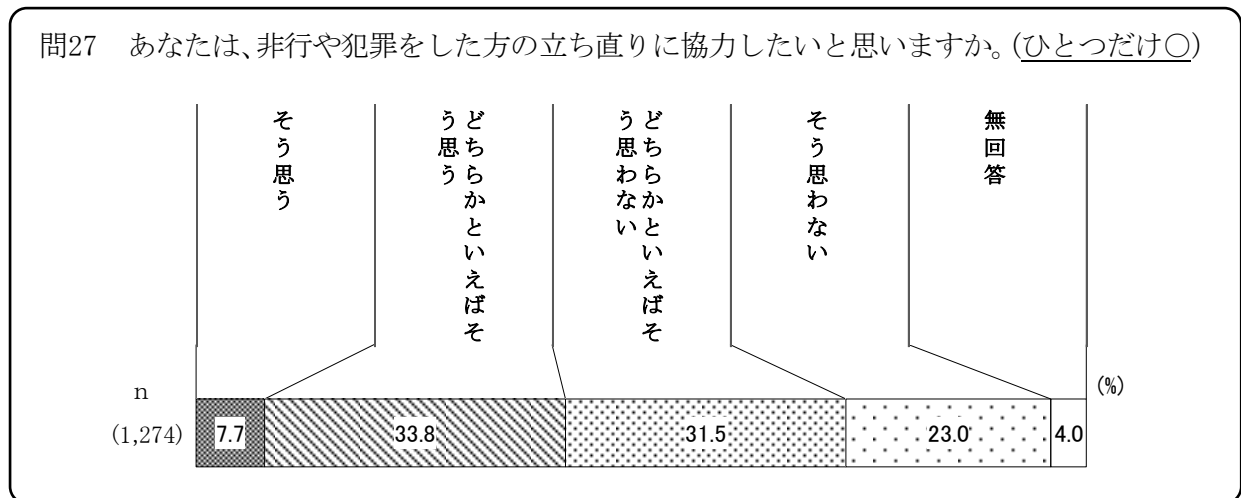
居住地区(8区分)別については基数が少ないため、参考掲載にとどめる。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	かど わか から な な か つ た	ぶ ら か つ た	ず の サ ー ビ ス が 良 い の か わ か ら ず 、 選 び に く か つ た	窓 口 の 対 応 が 悪 か つ た	に サ ー ビ ス の 内 容 や 説 明 が わ か り に く か つ た	利 用 手 続 き が 難 し か つ た	た サ ー ビ ス 内 容 に 満 足 で き な か つ た	な 利 用 し た い サ ー ビ ス が 利 用 で き な か つ た	そ の 他	い 不 都 合 や 不 満 を 感 じ た こ と は な い	無 回 答
		上段：件数 下段：%											
全 体		178 100.0	30 16.9	23 12.9	13 7.3	8 4.5	8 4.5	7 3.9	6 3.4	5 2.8	8 4.5	87 48.9	20 11.2
性別	男性	72 100.0	18 25.0	6 8.3	6 8.3	2 2.8	4 5.6	5 6.9	3 4.2	1 1.4	1 1.4	35 48.6	7 9.7
	女性	102 100.0	11 10.8	15 14.7	7 6.9	6 5.9	4 3.9	2 2.0	2 2.0	4 3.9	7 6.9	51 50.0	12 11.8
年齢（6区分）別	20歳代	6 100.0	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	3 50.0	-
	30歳代	10 100.0	1 10.0	2 20.0	-	2 20.0	-	-	1 10.0	-	1 10.0	5 50.0	-
	40歳代	27 100.0	6 22.2	6 22.2	3 11.1	-	1 3.7	4 14.8	-	-	1 3.7	14 51.9	1 3.7
	50歳代	36 100.0	5 13.9	5 13.9	4 11.1	1 2.8	4 11.1	1 2.8	2 5.6	1 2.8	1 2.8	17 47.2	4 11.1
	60歳代	54 100.0	13 24.1	7 13.0	1 1.9	3 5.6	3 5.6	-	3 5.6	3 5.6	4 7.4	25 46.3	4 7.4
	70歳以上	43 100.0	4 9.3	2 4.7	4 9.3	1 2.3	-	1 2.3	-	1 2.3	1 2.3	22 51.2	11 25.6
	居住地区（8区分）別	横手地区	71 100.0	13 18.3	10 14.1	7 9.9	3 4.2	5 7.0	3 4.2	1 1.4	4 5.6	5 7.0	28 39.4
	増田地区	13 100.0	1 7.7	1 7.7	-	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	-	7 53.8	3 23.1
	平鹿地区	22 100.0	3 13.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5	1 4.5	-	-	13 59.1	3 13.6
	雄物川地区	19 100.0	5 26.3	1 5.3	2 10.5	-	-	2 10.5	1 5.3	1 5.3	-	11 57.9	-
	大森地区	9 100.0	1 11.1	2 22.2	-	3 33.3	1 11.1	-	1 11.1	-	-	2 22.2	3 33.3
	十文字地区	19 100.0	3 15.8	2 10.5	1 5.3	1 5.3	-	-	1 5.3	-	2 10.5	10 52.6	2 10.5
	山内地区	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	6 75.0	1 12.5
	大雄地区	15 100.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	-	-	-	-	-	1 6.7	9 60.0	1 6.7

## 8. 再犯防止について

### (1) 非行や犯罪をした方の立ち直りへの協力



非行や犯罪をした方の立ち直りへの協力では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が41.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が54.5%となっている。

性別でみると、男性では『そう思う』が44.5%と女性(38.8%)を5.7ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、30~40歳代では『そう思わない』が6割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、山内地区では『そう思う』と『そう思わない』がいずれも43.8%となっている以外は、『そう思わない』が5割以上となっている。

近所付き合いや交流別でみると、付き合いや交流がある人ほど『そう思う』が多くなっている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
		上段：件数					
		下段：%					
全 体		1,274 100.0	98 7.7	431 33.8	401 31.5	293 23.0	51 4.0
性別	男性	591 100.0	52 8.8	211 35.7	178 30.1	130 22.0	20 3.4
	女性	671 100.0	44 6.6	216 32.2	221 32.9	160 23.8	30 4.5
年齢 （6区分） 別	20歳代	100 100.0	7 7.0	39 39.0	25 25.0	27 27.0	2 2.0
	30歳代	132 100.0	9 6.8	32 24.2	42 31.8	47 35.6	2 1.5
	40歳代	241 100.0	13 5.4	74 30.7	83 34.4	65 27.0	6 2.5
	50歳代	263 100.0	18 6.8	93 35.4	77 29.3	69 26.2	6 2.3
	60歳代	338 100.0	28 8.3	118 34.9	127 37.6	53 15.7	12 3.6
	70歳以上	192 100.0	21 10.9	71 37.0	46 24.0	31 16.1	23 12.0
居住地区 （8区分） 別	横手地区	542 100.0	31 5.7	185 34.1	168 31.0	139 25.6	19 3.5
	増田地区	74 100.0	5 6.8	25 33.8	22 29.7	17 23.0	5 6.8
	平鹿地区	163 100.0	14 8.6	56 34.4	45 27.6	44 27.0	4 2.5
	雄物川地区	128 100.0	9 7.0	50 39.1	45 35.2	21 16.4	3 2.3
	大森地区	80 100.0	4 5.0	27 33.8	28 35.0	15 18.8	6 7.5
	十文字地区	161 100.0	19 11.8	48 29.8	56 34.8	36 22.4	2 1.2
	山内地区	48 100.0	8 16.7	13 27.1	14 29.2	7 14.6	6 12.5
	大雄地区	72 100.0	6 8.3	23 31.9	23 31.9	14 19.4	6 8.3

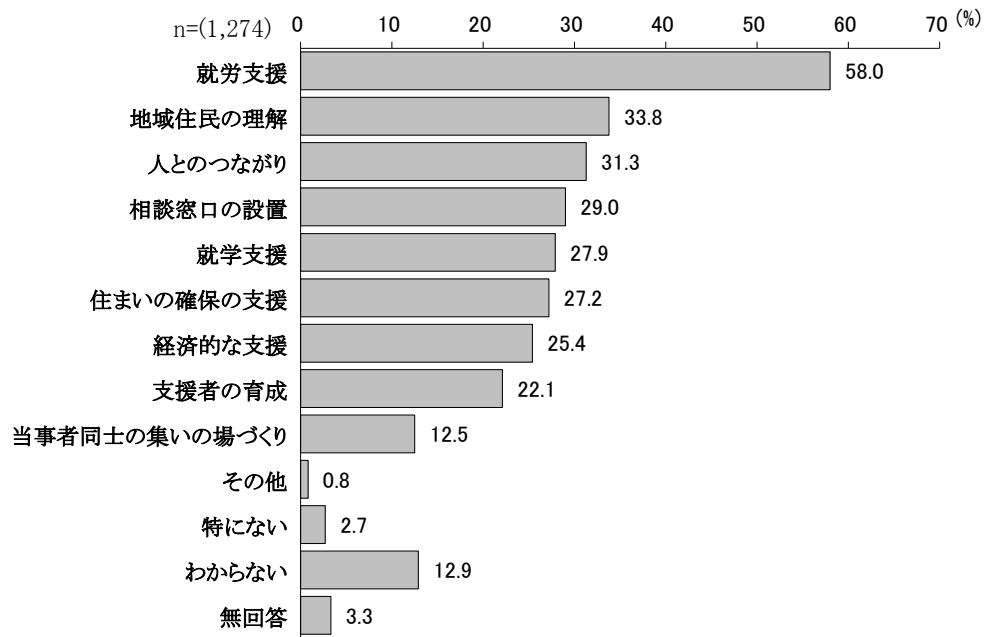
【近所付き合いや交流別】

		調査数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体		1,274 100.0	98 7.7	431 33.8	401 31.5	293 23.0	51 4.0
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	25 10.7	85 36.3	70 29.9	38 16.2	16 6.8
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	17 12.9	44 33.3	37 28.0	23 17.4	11 8.3
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	30 8.2	135 36.8	119 32.4	73 19.9	10 2.7
	会うとあいさつをする 程度の人がある	404 100.0	21 5.2	126 31.2	140 34.7	105 26.0	12 3.0
	ほとんど近所の付き合い はない	130 100.0	3 2.3	37 28.5	35 26.9	54 41.5	1 0.8

(このページは調整のため白紙)

(2) 非行や犯罪をした方の立ち直りのために必要な支援

問28 あなたは、非行や犯罪をした方の立ち直りのために、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



非行や犯罪をした方の立ち直りのために必要な支援では、「就労支援」(58.0%)が最も多く、以下「地域住民の理解」(33.8%)、「人とのつながり」(31.3%)、「相談窓口の設置」(29.0%)、「就学支援」(27.9%)、「住まいの確保の支援」(27.2%)、「経済的な支援」(25.4%)、「支援者の育成」(22.1%)となっている。

なお、「わからない」は12.9%、「特にない」は2.7%となっている。

性別で見ると、女性では「就労支援」(61.5%)が7.0ポイント、「相談窓口の設置」(32.9%)が8.0ポイント、「住まいの確保の支援」(31.0%)が8.3ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、70歳以上では「就労支援」(45.8%)、「就学支援」(16.7%)が他の年齢層に比べて少なくなっている。

居住地区(8区分)別で見ると、いずれも「就労支援」が5割以上と最も多くなっている。大森地区では「住まいの確保の支援」が36.3%と他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別で見ると、概ね付き合いや交流がある人ほど「地域住民の理解」、「人とのつながり」が多くなっている。



【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

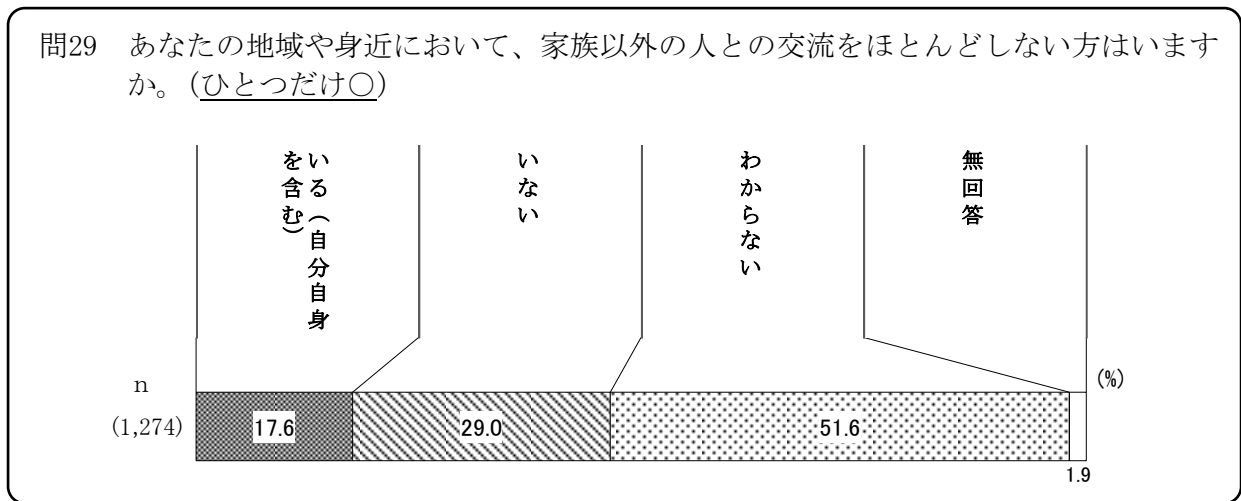
		調査数	就労支援	地域住民の理解	人とのつながり	相談窓口の設置	就学支援	住まいの確保の支援	経済的な支援	支援者の育成	当事者同士の集いの場づくり	その他	特にな	わからない	無回答
		上段：件数 下段：%													
全 体		1,274 100.0	739 58.0	430 33.8	399 31.3	370 29.0	356 27.9	346 27.2	324 25.4	281 22.1	159 12.5	10 0.8	34 2.7	164 12.9	42 3.3
性別	男性	591 100.0	322 54.5	177 29.9	164 27.7	147 24.9	147 24.9	134 22.7	135 22.8	119 20.1	71 12.0	7 1.2	16 2.7	89 15.1	19 3.2
	女性	671 100.0	413 61.5	247 36.8	232 34.6	221 32.9	206 30.7	208 31.0	184 27.4	160 23.8	84 12.5	3 0.4	17 2.5	75 11.2	22 3.3
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	51 51.0	23 23.0	26 26.0	28 28.0	29 29.0	28 28.0	30 30.0	21 21.0	14 14.0	2 2.0	5 5.0	13 13.0	4 4.0
	30歳代	132 100.0	81 61.4	43 32.6	36 27.3	41 31.1	40 30.3	34 25.8	31 23.5	27 20.5	25 18.9	3 2.3	5 3.8	21 15.9	1 0.8
	40歳代	241 100.0	153 63.5	91 37.8	77 32.0	71 29.5	83 34.4	64 26.6	57 23.7	61 25.3	26 10.8	-	13 5.4	27 11.2	2 0.8
	50歳代	263 100.0	163 62.0	84 31.9	77 29.3	64 24.3	75 28.5	60 22.8	60 22.8	52 19.8	35 13.3	1 0.4	2 0.8	39 14.8	3 1.1
	60歳代	338 100.0	198 58.6	117 34.6	119 35.2	107 31.7	95 28.1	98 29.0	94 27.8	79 23.4	38 11.2	3 0.9	5 1.5	40 11.8	11 3.3
	70歳以上	192 100.0	88 45.8	69 35.9	60 31.3	56 29.2	32 16.7	59 30.7	48 25.0	40 20.8	18 9.4	1 0.5	4 2.1	24 12.5	21 10.9
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	303 55.9	152 28.0	163 30.1	143 26.4	159 29.3	139 25.6	129 23.8	117 21.6	67 12.4	7 1.3	19 3.5	74 13.7
増田地区		74 100.0	43 58.1	26 35.1	21 28.4	25 33.8	17 23.0	19 25.7	21 28.4	12 16.2	1 1.4	2 2.7	5 6.8	5 4.1	3 4.1
平鹿地区		163 100.0	106 65.0	70 42.9	54 33.1	46 28.2	47 28.8	41 25.2	42 25.8	33 20.2	21 12.9	1 0.6	3 1.8	16 9.8	6 3.7
雄物川地区		128 100.0	77 60.2	50 39.1	48 37.5	44 34.4	37 28.9	37 28.9	40 31.3	32 25.0	18 14.1	1 0.8	4 3.1	16 12.5	3 2.3
大森地区		80 100.0	49 61.3	34 42.5	24 30.0	24 30.0	23 28.8	29 36.3	25 31.3	24 30.0	5 6.3	-	1 1.3	13 16.3	1 1.3
十文字地区		161 100.0	94 58.4	50 31.1	51 31.7	51 31.7	46 28.6	46 28.6	41 25.5	33 20.5	24 14.9	-	-	22 13.7	3 1.9
山内地区		48 100.0	26 54.2	19 39.6	14 29.2	11 22.9	9 18.8	12 25.0	8 16.7	8 16.7	6 12.5	-	3 6.3	4 8.3	4 8.3
大雄地区		72 100.0	39 54.2	27 37.5	21 29.2	25 34.7	16 22.2	20 27.8	14 19.4	12 16.7	4 5.6	-	2 2.8	13 18.1	3 4.2

【近所付き合いや交流別】

		調査数	就労支援	地域住民の理解	人とのつながり	相談窓口の設置	就学支援	住まいの確保の支援	経済的な支援	支援者の育成	当事者同士の集いの場づくり	その他	特にな	わからない	無回答
		上段：件数 下段：%													
全 体		1,274 100.0	739 58.0	430 33.8	399 31.3	370 29.0	356 27.9	346 27.2	324 25.4	281 22.1	159 12.5	10 0.8	34 2.7	164 12.9	42 3.3
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	150 64.1	87 37.2	80 34.2	72 30.8	74 31.6	72 30.8	58 24.8	55 23.5	31 13.2	1 0.4	4 1.7	23 9.8	12 5.1
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	63 47.7	47 35.6	45 34.1	37 28.0	21 15.9	35 26.5	29 22.0	23 17.4	18 13.6	-	3 2.3	15 11.4	12 9.1
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	221 60.2	140 38.1	128 34.9	115 31.3	109 29.7	109 29.7	94 25.6	95 25.9	43 11.7	3 0.8	9 2.5	39 10.6	7 1.9
	会うとあいさつをする 程度の人がある	404 100.0	237 58.7	121 30.0	116 28.7	114 28.2	114 28.2	96 23.8	104 25.7	82 20.3	48 11.9	5 1.2	14 3.5	58 14.4	8 2.0
	ほとんど近所の付き合い はない	130 100.0	65 50.0	32 24.6	27 20.8	31 23.8	35 26.9	31 23.8	35 26.9	25 19.2	17 13.1	1 0.8	4 3.1	29 22.3	2 1.5

## 9. 孤独・ひきこもりについて

### (1) 地域や身近に家族以外の人との交流をほとんどしない方の認知



地域や身近に家族以外の人との交流をほとんどしない方の認知では、「いない」(29.0%)が、「いる(自分自身を含む)」(17.6%)を上回っている。

なお、「わからない」は51.6%となっている。

性別でみると、大きな違いはみられない。

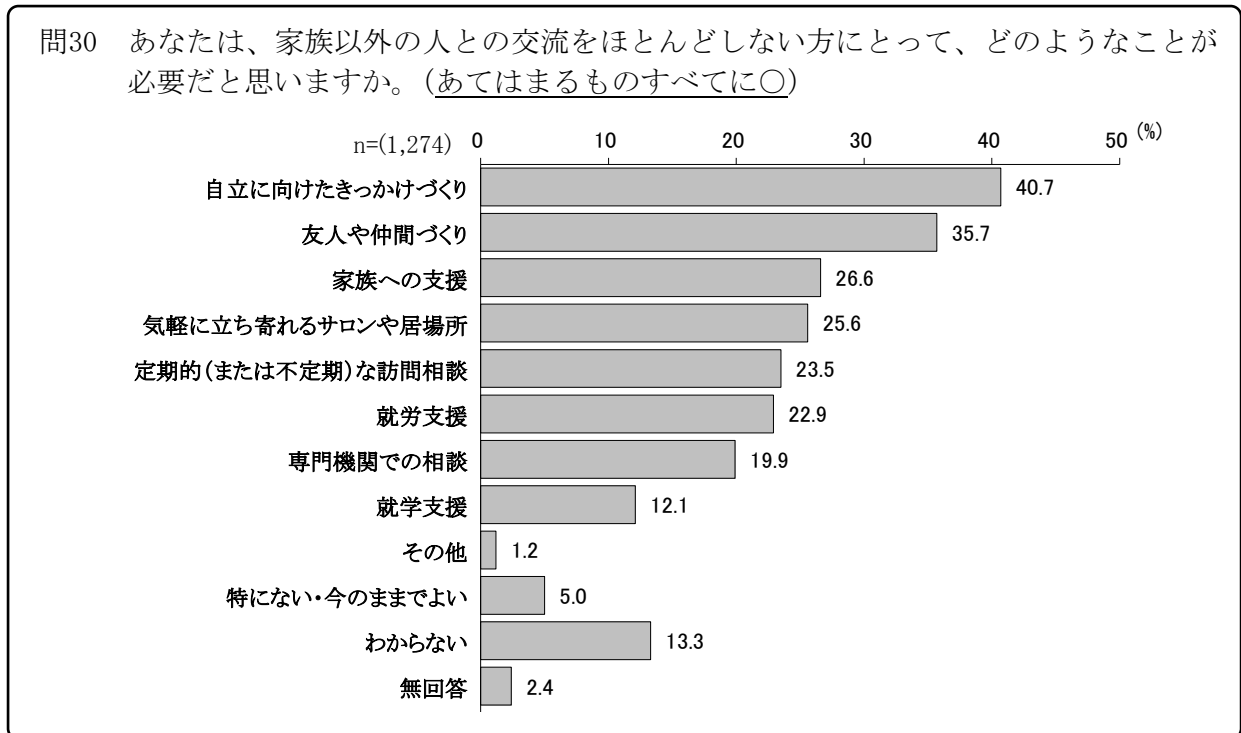
年齢(6区分)別でみると、20歳代、40歳代では「いる(自分自身を含む)」が2割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると平鹿地区、雄物川地区では「いる(自分自身を含む)」が2割以上、山内地区では「いない」が37.5%とそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	いる (自分自身を含む)	いない	わからない	無回答
上段：件数 下段：%						
全 体		1,274 100.0	224 17.6	369 29.0	657 51.6	24 1.9
性別	男性	591 100.0	103 17.4	183 31.0	295 49.9	10 1.7
	女性	671 100.0	118 17.6	184 27.4	355 52.9	14 2.1
年齢 (6区分) 別	20歳代	100 100.0	23 23.0	28 28.0	46 46.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	24 18.2	36 27.3	70 53.0	2 1.5
	40歳代	241 100.0	49 20.3	63 26.1	129 53.5	- -
	50歳代	263 100.0	47 17.9	70 26.6	143 54.4	3 1.1
	60歳代	338 100.0	51 15.1	113 33.4	169 50.0	5 1.5
	70歳以上	192 100.0	28 14.6	57 29.7	96 50.0	11 5.7
居住地区 (8区分) 別	横手地区	542 100.0	86 15.9	160 29.5	283 52.2	13 2.4
	増田地区	74 100.0	10 13.5	22 29.7	42 56.8	- -
	平鹿地区	163 100.0	37 22.7	46 28.2	79 48.5	1 0.6
	雄物川地区	128 100.0	30 23.4	30 23.4	65 50.8	3 2.3
	大森地区	80 100.0	11 13.8	22 27.5	45 56.3	2 2.5
	十文字地区	161 100.0	29 18.0	46 28.6	84 52.2	2 1.2
	山内地区	48 100.0	8 16.7	18 37.5	21 43.8	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	11 15.3	23 31.9	36 50.0	2 2.8

(2) 家族以外の人との交流をほとんどしない方に必要だと思うこと



家族以外の人との交流をほとんどしない方に必要だと思うことでは、「自立に向けたきっかけづくり」(40.7%)が最も多く、以下「友人や仲間づくり」(35.7%)、「家族への支援」(26.6%)、「気軽に立ち寄れるサロンや居場所」(25.6%)、「定期的(または不定期)な訪問相談」(23.5%)、「就労支援」(22.9%)、「専門機関での相談」(19.9%)、「就学支援」(12.1%)となっている。

なお、「わからない」は13.3%、「特にない・今のままでよい」は5.0%となっている。

性別で見ると、女性では「自立に向けたきっかけづくり」(45.6%)が10.6ポイント、「家族への支援」(31.4%)が10.1ポイント、「専門機関での相談」(24.9%)が10.3ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、20歳代では「友人や仲間づくり」が50.0%、30歳代では「家族への支援」が40.2%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別で見ると、雄物川地区では「友人や仲間づくり」、「家族への支援」、大森地区では「定期的(または不定期)な訪問相談」がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別で見ると、概ね付き合いや交流がある人ほど「友人や仲間づくり」が多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

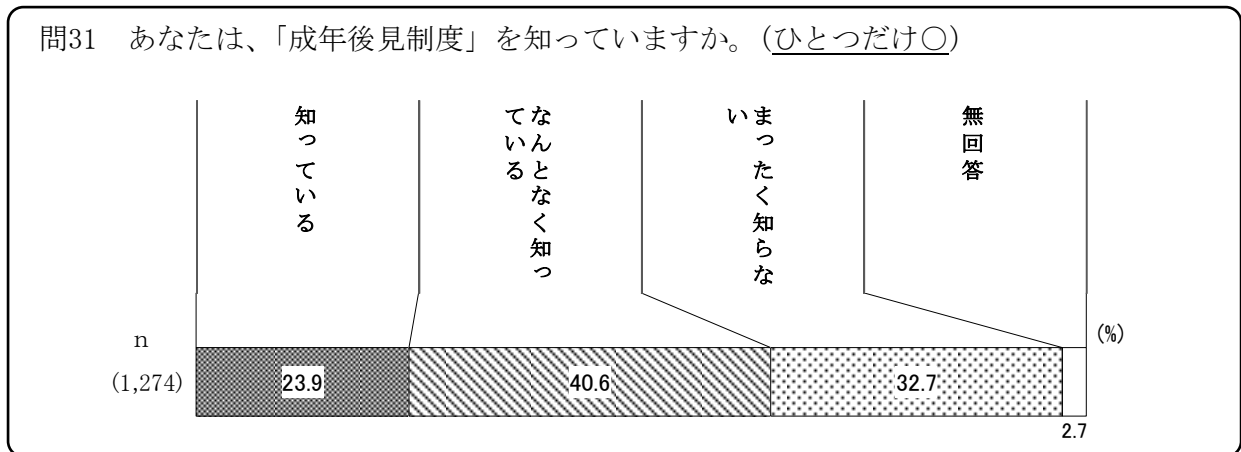
調査数 上段：件数 下段：%		自立に向けたきつかけづくり	友人や仲間づくり	家族への支援	所気軽に立ち寄れるサロンや居場	定期的（または不定期）な訪問	就労支援	専門機関での相談	就学支援	その他	特にない・今のままでよい	わからない	無回答	
全体	1,274 100.0	518 40.7	455 35.7	339 26.6	326 25.6	300 23.5	292 22.9	254 19.9	154 12.1	15 1.2	64 5.0	170 13.3	31 2.4	
性別	男性	591 100.0	207 35.0	236 39.9	126 21.3	125 21.2	123 20.8	86 14.6	57 9.6	6 1.0	31 5.2	96 16.2	12 2.0	
	女性	671 100.0	306 45.6	214 31.9	211 31.4	199 29.7	170 25.3	166 24.7	167 24.9	9 1.3	31 4.6	74 11.0	18 2.7	
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	42 42.0	50 50.0	26 26.0	24 24.0	16 16.0	23 23.0	15 15.0	9 9.0	3 3.0	7 7.0	9 9.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	56 42.4	44 33.3	53 40.2	46 34.8	27 20.5	37 28.0	25 18.9	3 2.3	7 5.3	15 11.4	1 0.8	
	40歳代	241 100.0	113 46.9	87 36.1	78 32.4	68 28.2	72 29.9	66 27.4	58 24.1	40 16.6	6 2.5	12 5.0	26 10.8	- -
	50歳代	263 100.0	103 39.2	72 27.4	66 25.1	61 23.2	57 21.7	54 20.5	57 21.7	33 12.5	1 0.4	17 6.5	40 15.2	2 0.8
	60歳代	338 100.0	147 43.5	118 34.9	80 23.7	85 25.1	90 26.6	78 23.1	72 21.3	33 9.8	1 0.3	8 2.4	50 14.8	10 3.0
	70歳以上	192 100.0	54 28.1	77 40.1	34 17.7	39 20.3	37 19.3	33 17.2	26 13.5	13 6.8	1 0.5	12 6.3	30 15.6	15 7.8
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	218 40.2	184 33.9	146 26.9	138 25.5	115 21.2	127 23.4	108 19.9	73 13.5	6 1.1	29 5.4	76 14.0
増田地区	74 100.0	30 40.5	27 36.5	19 25.7	20 27.0	19 25.7	14 18.9	17 23.0	7 9.5	2 2.7	5 6.8	6 8.1	1 1.4	
平鹿地区	163 100.0	74 45.4	63 38.7	42 25.8	47 28.8	26 16.0	44 27.0	30 18.4	17 10.4	1 0.6	6 3.7	18 11.0	2 1.2	
雄物川地区	128 100.0	44 34.4	53 41.4	40 31.3	34 26.6	40 31.3	29 22.7	26 20.3	16 12.5	1 0.8	4 3.1	16 12.5	2 1.6	
大森地区	80 100.0	36 45.0	27 33.8	15 18.8	15 18.8	29 36.3	22 27.5	17 21.3	9 11.3	1 1.3	2 2.5	12 15.0	3 3.8	
十文字地区	161 100.0	71 44.1	63 39.1	41 25.5	44 27.3	39 24.2	36 22.4	35 21.7	22 13.7	3 1.9	3 1.9	23 14.3	2 1.2	
山内地区	48 100.0	18 37.5	18 37.5	14 29.2	8 16.7	14 29.2	8 16.7	8 16.7	5 10.4	-	4 8.3	7 14.6	1 2.1	
大雄地区	72 100.0	25 34.7	16 22.2	21 29.2	18 25.0	17 23.6	11 15.3	13 18.1	4 5.6	1 1.4	9 12.5	12 16.7	3 4.2	

【近所付き合いや交流別】

調査数 上段：件数 下段：%		自立に向けたきつかけづくり	友人や仲間づくり	家族への支援	所気軽に立ち寄れるサロンや居場	定期的（または不定期）な訪問	就労支援	専門機関での相談	就学支援	その他	特にない・今のままでよい	わからない	無回答	
全体	1,274 100.0	518 40.7	455 35.7	339 26.6	326 25.6	300 23.5	292 22.9	254 19.9	154 12.1	15 1.2	64 5.0	170 13.3	31 2.4	
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う 親しい人がいる	234 100.0	92 39.3	104 44.4	58 24.8	63 26.9	63 26.9	50 21.4	52 22.2	33 14.1	1 0.4	6 2.6	23 9.8	11 4.7
	お互いに訪問し合う人 がいる	132 100.0	49 37.1	60 45.5	31 23.5	33 25.0	27 20.5	27 20.5	21 15.9	6 4.5	1 0.8	7 5.3	15 11.4	5 3.8
	立ち話をする程度の人 がいる	367 100.0	159 43.3	114 31.1	95 25.9	87 23.7	93 25.3	98 26.7	77 21.0	49 13.4	2 0.5	16 4.4	43 11.7	6 1.6
	会うとあいさつをする 程度の人がある	404 100.0	172 42.6	136 33.7	112 27.7	114 28.2	92 22.8	91 22.5	83 20.5	51 12.6	10 2.5	16 4.0	65 16.1	6 1.5
	ほとんど近所の付き合い はない	130 100.0	43 33.1	37 28.5	41 31.5	27 20.8	24 18.5	25 19.2	20 15.4	14 10.8	1 0.8	18 13.8	24 18.5	2 1.5

## 10. 成年後見制度について

### (1) 成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知度では、「なんとなく知っている」(40.6%)が最も多く、以下「まったく知らない」(32.7%)、「知っている」(23.9%)となっている。

性別で見ると、男性では「まったく知らない」が35.7%と女性(30.1%)を5.6ポイント上回っている。女性では、「知っている」が26.8%と男性(21.0%)を5.8ポイント上回っている。

年齢(6区分)別で見ると、概ね年齢が高いほど「知っている」が多くなっている。概ね年齢が低いほど「まったく知らない」が多く、20~30歳代では約5割と他の年齢層に比べて多くなっている。

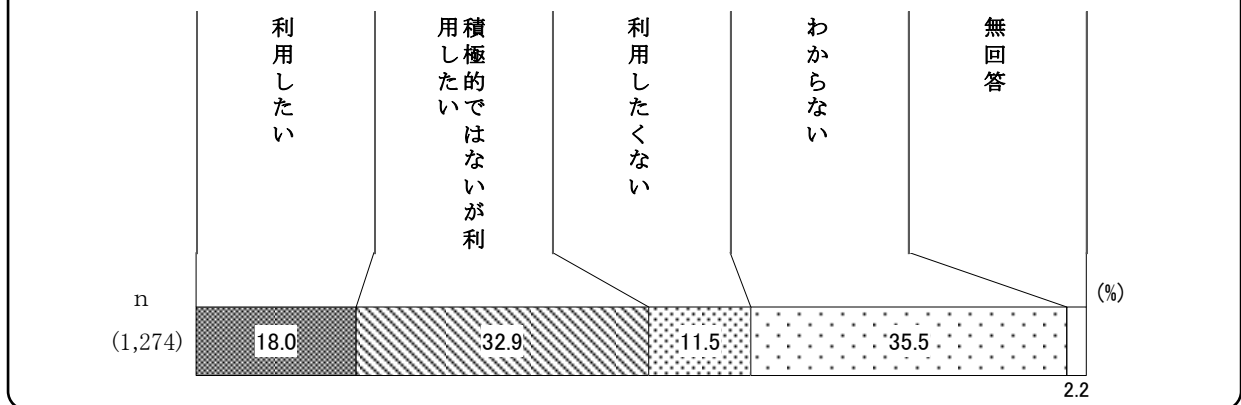
居住地区(8区分)別で見ると、大森地区では「知っている」が3割以上と他の地区に比べて多くなっている。

## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	知っている	なんとなく知っている	まったく知らない	無回答
		上段：件数 下段：%				
全 体		1,274 100.0	305 23.9	517 40.6	417 32.7	35 2.7
性別	男性	591 100.0	124 21.0	246 41.6	211 35.7	10 1.7
	女性	671 100.0	180 26.8	265 39.5	202 30.1	24 3.6
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	12 12.0	33 33.0	52 52.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	25 18.9	41 31.1	64 48.5	2 1.5
	40歳代	241 100.0	61 25.3	101 41.9	79 32.8	- -
	50歳代	263 100.0	62 23.6	115 43.7	84 31.9	2 0.8
	60歳代	338 100.0	92 27.2	155 45.9	82 24.3	9 2.7
	70歳以上	192 100.0	50 26.0	69 35.9	54 28.1	19 9.9
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	123 22.7	222 41.0	175 32.3	22 4.1
	増田地区	74 100.0	15 20.3	31 41.9	28 37.8	- -
	平鹿地区	163 100.0	38 23.3	78 47.9	45 27.6	2 1.2
	雄物川地区	128 100.0	32 25.0	52 40.6	42 32.8	2 1.6
	大森地区	80 100.0	24 30.0	26 32.5	27 33.8	3 3.8
	十文字地区	161 100.0	46 28.6	58 36.0	55 34.2	2 1.2
	山内地区	48 100.0	10 20.8	19 39.6	18 37.5	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	16 22.2	28 38.9	25 34.7	3 4.2

(2) 成年後見制度の利用意向

問32 あなたは、自身や家族が日常生活を送るうえで判断能力に支援が必要になったとき、成年後見制度を利用しようと思いますか。(ひとつだけ○)



成年後見制度の利用意向では、「積極的ではないが利用したい」(32.9%)が最も多く、以下「利用したい」(18.0%)、「利用したくない」(11.5%)となっている。

なお、「わからない」は35.5%となっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。

年齢(6区分)別で見ると、概ね年齢が高いほど「利用したくない」、「わからない」が多く、年齢が低いほど「利用したい」が多くなっている。70歳以上では「利用したくない」が20.3%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別で見ると、増田地区では「利用したい」が23.0%と他の地区に比べて多く、「利用したくない」が5.4%と他の地区に比べて少なくなっている。

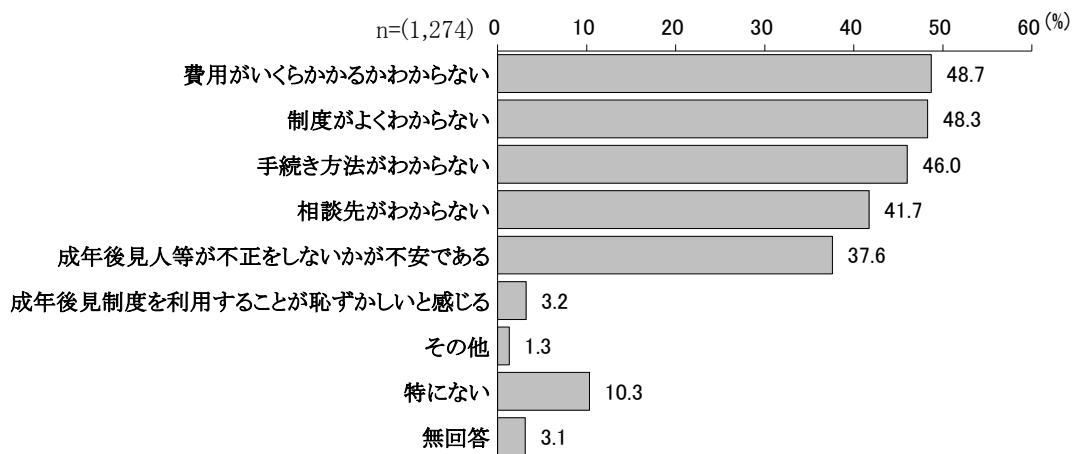


## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	利用したい	積極的ではないが利用したい	利用したくない	わからない	無回答
		上段：件数 下段：%					
全 体		1,274 100.0	229 18.0	419 32.9	146 11.5	452 35.5	28 2.2
性別	男性	591 100.0	106 17.9	209 35.4	67 11.3	200 33.8	9 1.5
	女性	671 100.0	122 18.2	204 30.4	77 11.5	249 37.1	19 2.8
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	20 20.0	45 45.0	6 6.0	26 26.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	30 22.7	56 42.4	7 5.3	38 28.8	1 0.8
	40歳代	241 100.0	52 21.6	83 34.4	21 8.7	85 35.3	- -
	50歳代	263 100.0	49 18.6	90 34.2	26 9.9	96 36.5	2 0.8
	60歳代	338 100.0	49 14.5	107 31.7	46 13.6	130 38.5	6 1.8
	70歳以上	192 100.0	28 14.6	36 18.8	39 20.3	73 38.0	16 8.3
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	100 18.5	179 33.0	58 10.7	189 34.9	16 3.0
	増田地区	74 100.0	17 23.0	25 33.8	4 5.4	27 36.5	1 1.4
	平鹿地区	163 100.0	32 19.6	55 33.7	23 14.1	52 31.9	1 0.6
	雄物川地区	128 100.0	21 16.4	44 34.4	17 13.3	44 34.4	2 1.6
	大森地区	80 100.0	13 16.3	25 31.3	9 11.3	31 38.8	2 2.5
	十文字地区	161 100.0	27 16.8	53 32.9	18 11.2	61 37.9	2 1.2
	山内地区	48 100.0	6 12.5	15 31.3	6 12.5	20 41.7	1 2.1
	大雄地区	72 100.0	12 16.7	21 29.2	9 12.5	27 37.5	3 4.2

(3) 成年後見制度を利用する場合に気になること

問33 あなたが、成年後見制度を利用する場合、どのようなことが気になりますか。  
(あてはまるものすべてに○)



成年後見制度を利用する場合に気になることでは、「費用がいくらかかるかわからない」(48.7%)が最も多く、以下「制度がよくわからない」(48.3%)、「手続き方法がわからない」(46.0%)、「相談先がわからない」(41.7%)、「成年後見人等が不正をしないかが不安である」(37.6%)、「成年後見制度を利用することが恥ずかしいと感じる」(3.2%)となっている。

なお、「特にない」は10.3%となっている。

性別でみると、女性では「成年後見人等が不正をしないかが不安である」が41.4%と男性(33.5%)を7.9ポイント上回っている。

年齢(6区分)別でみると、概ね年齢が低いほど「制度がよくわからない」、「相談先がわからない」、「手続き方法がわからない」が多くなっている。30~40歳代では「費用がいくらかかるかわからない」が6割以上、40~50歳代では「成年後見人等が不正をしないかが不安である」が4割以上と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、増田地区、平鹿地区、大森地区では「制度がよくわからない」、平鹿地区、大森地区では「手続き方法がわからない」、平鹿地区、雄物川地区、大森地区では「費用がいくらかかるかわからない」、平鹿地区では「相談先がわからない」がそれぞれ5割以上と他の地区に比べて多くなっている。

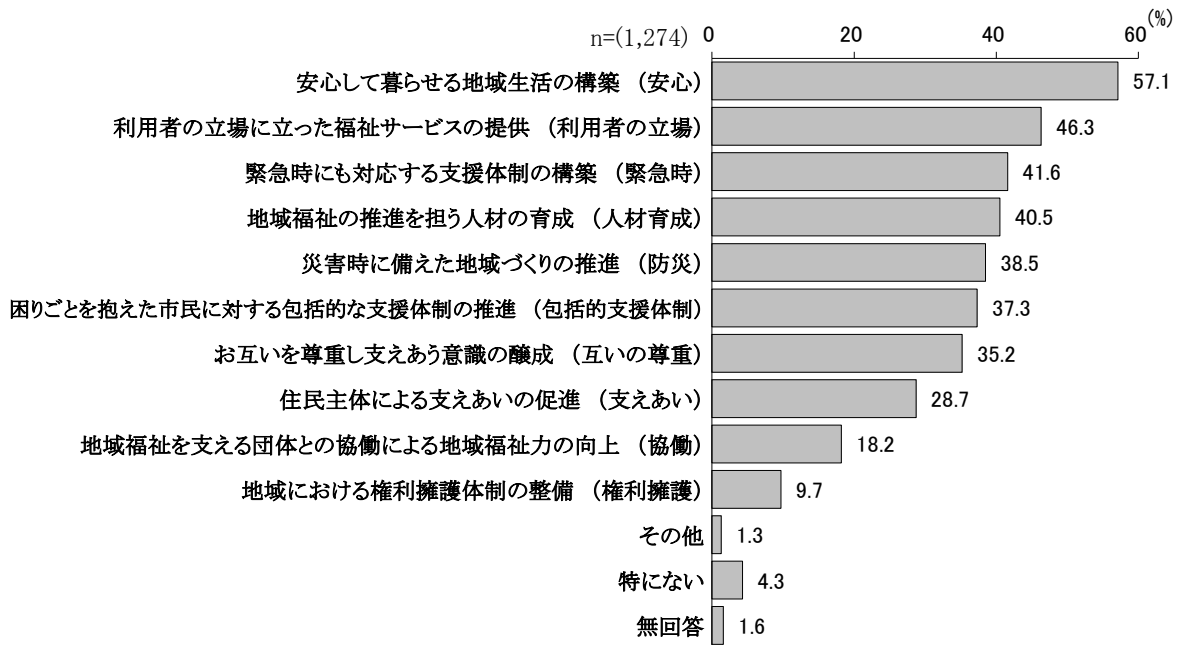
## 【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	費用がいくらかかるかわからない	制度がよくわからない	手続き方法がわからない	相談先がわからない	成年後見人等が不正をしないかが不安である	成年後見制度を利用することが恥ずかしいと感じる	その他	特にない	無回答
		上段：件数 下段：%									
全 体		1,274 100.0	621 48.7	615 48.3	586 46.0	531 41.7	479 37.6	41 3.2	16 1.3	131 10.3	39 3.1
性別	男性	591 100.0	283 47.9	287 48.6	272 46.0	254 43.0	198 33.5	21 3.6	8 1.4	62 10.5	17 2.9
	女性	671 100.0	331 49.3	319 47.5	307 45.8	272 40.5	278 41.4	19 2.8	8 1.2	68 10.1	21 3.1
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	47 47.0	60 60.0	52 52.0	52 52.0	35 35.0	4 4.0	1 1.0	6 6.0	3 3.0
	30歳代	132 100.0	82 62.1	72 54.5	76 57.6	63 47.7	48 36.4	5 3.8	3 2.3	11 8.3	3 2.3
	40歳代	241 100.0	146 60.6	114 47.3	130 53.9	107 44.4	110 45.6	7 2.9	2 0.8	21 8.7	2 0.8
	50歳代	263 100.0	128 48.7	135 51.3	123 46.8	107 40.7	116 44.1	9 3.4	4 1.5	25 9.5	2 0.8
	60歳代	338 100.0	140 41.4	147 43.5	141 41.7	130 38.5	119 35.2	11 3.3	1 0.3	38 11.2	8 2.4
	70歳以上	192 100.0	74 38.5	81 42.2	60 31.3	70 36.5	50 26.0	5 2.6	5 2.6	28 14.6	21 10.9
居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	263 48.5	258 47.6	243 44.8	214 39.5	205 37.8	18 3.3	6 1.1	55 10.1	20 3.7
	増田地区	74 100.0	31 41.9	39 52.7	33 44.6	25 33.8	24 32.4	2 2.7	-	7 9.5	2 2.7
	平鹿地区	163 100.0	85 52.1	90 55.2	88 54.0	83 50.9	62 38.0	4 2.5	5 3.1	13 8.0	1 0.6
	雄物川地区	128 100.0	69 53.9	61 47.7	60 46.9	53 41.4	51 39.8	2 1.6	-	13 10.2	3 2.3
	大森地区	80 100.0	41 51.3	44 55.0	40 50.0	37 46.3	31 38.8	3 3.8	-	4 5.0	3 3.8
	十文字地区	161 100.0	78 48.4	67 41.6	68 42.2	72 44.7	59 36.6	6 3.7	2 1.2	22 13.7	3 1.9
	山内地区	48 100.0	19 39.6	18 37.5	21 43.8	15 31.3	19 39.6	2 4.2	1 2.1	7 14.6	3 6.3
	大雄地区	72 100.0	31 43.1	33 45.8	29 40.3	30 41.7	27 37.5	3 4.2	2 2.8	9 12.5	4 5.6

## 11. 福祉の推進に必要なことについて

### (1) 福祉施策を充実していくために重要と考える取り組み

問34 横手市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(あてはまるものすべてに○)



福祉施策を充実していくために重要と考える取り組みでは、「安心して暮らせる地域生活の構築 (安心)」(57.1%) が最も多く、以下「利用者の立場に立った福祉サービスの提供 (利用者の立場)」(46.3%)、「緊急時にも対応する支援体制の構築 (緊急時)」(41.6%)、「地域福祉の推進を担う人材の育成 (人材育成)」(40.5%)、「災害時に備えた地域づくりの推進 (防災)」(38.5%)、「困りごとを抱えた市民に対する包括的な支援体制の推進 (包括的支援体制)」(37.3%)、「お互いを尊重し支えあう意識の醸成 (互いの尊重)」(35.2%) となっている。

なお、「特にない」は4.3%となっている。

性別でみると、女性では「緊急時にも対応する支援体制の構築 (緊急時)」(45.0%) が7.4ポイント、「利用者の立場に立った福祉サービスの提供 (利用者の立場)」(51.9%) が11.8ポイント、「安心して暮らせる地域生活の構築 (安心)」(61.0%) が8.7ポイント、「困りごとを抱えた市民に対する包括的な支援体制の推進 (包括的支援体制)」(42.0%) が10.2ポイント男性を上回っている。

年齢(6区分)別でみると、70歳以上では「お互いを尊重し支えあう意識の醸成 (互いの尊重)」が47.4%と他の年齢層に比べて多くなっている。

居住地区(8区分)別でみると、雄物川地区では「安心して暮らせる地域生活の構築 (安心)」、山内地区では「住民主体による支えあいの促進 (支えあい)」がそれぞれ他の地区に比べて多くなっている。

近所付き合いや交流別でみると、概ね付き合いや交流がある人ほど「地域福祉の推進を担う人材の育成 (人材育成)」、「お互いを尊重し支えあう意識の醸成 (互いの尊重)」、「住民主体による支えあいの促進 (支えあい)」が多くなっている。

【性別・年齢（6区分）別・居住地区（8区分）別】

		調査数	安心して暮らせる地域生活の構	ビルドの立場に立つた福祉サ	構築緊急時にも対応する支援体制の	地域福祉の推進を担う人材の育	災害時に備えた地域づくりの推	包括的な支援体制の推進（包	困りごとを抱えた市民に対する	醸成（互いの尊重）	（住民主体による支えあいの促進	地域福祉を支える団体との協働	地域福祉を支える向上との協働	備域における権利保護体制の整	その他	特にな	無回答
全 体		1,274 100.0	727 57.1	590 46.3	530 41.6	516 40.5	490 38.5	475 37.3	448 35.2	366 28.7	232 18.2	124 9.7	17 1.3	55 4.3	20 1.6		
性別	男性	591 100.0	309 52.3	237 40.1	222 37.6	229 38.7	215 36.4	188 31.8	215 36.4	162 27.4	102 17.3	53 9.0	11 1.9	32 5.4	9 1.5		
	女性	671 100.0	409 61.0	348 51.9	302 45.0	284 42.3	272 40.5	282 42.0	229 34.1	202 30.1	127 18.9	69 10.3	6 0.9	22 3.3	11 1.6		
年齢（6区分）別	20歳代	100 100.0	52 52.0	34 34.0	32 32.0	36 36.0	33 33.0	29 29.0	35 35.0	25 25.0	11 11.0	9 9.0	1 1.0	4 4.0	3 3.0		
	30歳代	132 100.0	71 53.8	52 39.4	58 43.9	43 32.6	58 43.9	45 34.1	46 34.8	28 21.2	23 17.4	14 10.6	2 1.5	8 6.1	2 1.5		
	40歳代	241 100.0	140 58.1	117 48.5	99 41.1	110 45.6	96 39.8	97 40.2	89 36.9	84 34.9	56 23.2	26 10.8	6 2.5	13 5.4	2 0.8		
	50歳代	263 100.0	158 60.1	121 46.0	110 41.8	98 37.3	106 40.3	97 36.9	70 26.6	62 23.6	43 16.3	30 11.4	5 1.9	9 3.4	4 1.5		
	60歳代	338 100.0	192 56.8	168 49.7	149 44.1	142 42.0	122 36.1	135 39.9	115 34.0	99 29.3	66 19.5	26 7.7	3 0.9	13 3.8	2 0.6		
	70歳以上	192 100.0	108 56.3	96 50.0	78 40.6	81 42.2	70 36.5	67 34.9	91 47.4	65 33.9	28 14.6	17 8.9	-	8 4.2	7 3.6		
	居住地区（8区分）別	横手地区	542 100.0	299 55.2	234 43.2	212 39.1	209 38.6	213 39.3	201 37.1	175 32.3	152 28.0	91 16.8	50 9.2	6 1.1	30 5.5	12 2.2	
増田地区		74 100.0	44 59.5	33 44.6	34 45.9	31 41.9	31 41.9	24 32.4	29 39.2	24 32.4	14 18.9	7 9.5	2 2.7	3 4.1	1 1.4		
平鹿地区		163 100.0	93 57.1	87 53.4	72 44.2	69 42.3	58 35.6	65 39.9	66 40.5	47 28.8	36 22.1	17 10.4	1 0.6	2 1.2	1 0.6		
雄物川地区		128 100.0	91 71.1	56 43.8	59 46.1	60 46.9	52 40.6	45 35.2	52 40.6	45 35.2	23 18.0	17 13.3	1 0.8	2 1.6	1 0.8		
大森地区		80 100.0	39 48.8	39 48.8	28 35.0	33 41.3	21 26.3	28 35.0	27 33.8	23 28.8	17 21.3	5 6.3	1 1.3	4 5.0	1 1.3		
十文字地区		161 100.0	88 54.7	81 50.3	75 46.6	66 41.0	63 39.1	63 39.1	52 32.3	32 19.9	24 14.9	15 9.3	4 2.5	7 4.3	3 1.9		
山内地区		48 100.0	28 58.3	21 43.8	23 47.9	19 39.6	20 41.7	15 31.3	20 41.7	19 39.6	8 16.7	7 14.6	-	2 4.2	1 2.1		
大雄地区		72 100.0	41 56.9	38 52.8	24 33.3	26 36.1	30 41.7	31 43.1	26 36.1	23 31.9	16 22.2	5 6.9	2 2.8	4 5.6	-		

【近所付き合いや交流別】

		調査数	安心して暮らせる地域生活の構	ビルドの立場に立つた福祉サ	構築緊急時にも対応する支援体制の	地域福祉の推進を担う人材の育	災害時に備えた地域づくりの推	包括的な支援体制の推進（包	困りごとを抱えた市民に対する	醸成（互いの尊重）	（住民主体による支えあいの促進	地域福祉を支える団体との協働	地域福祉を支える向上との協働	備域における権利保護体制の整	その他	特にな	無回答
全 体		1,274 100.0	727 57.1	590 46.3	530 41.6	516 40.5	490 38.5	475 37.3	448 35.2	366 28.7	232 18.2	124 9.7	17 1.3	55 4.3	20 1.6		
近所付き合いや交流別	困ったときに助け合う親しい人がいる	234 100.0	143 61.1	122 52.1	93 39.7	107 45.7	92 39.3	74 31.6	102 43.6	85 36.3	45 19.2	31 13.2	2 0.9	9 3.8	3 1.3		
	お互いに訪問し合う人がいる	132 100.0	74 56.1	62 47.0	47 35.6	58 43.9	53 40.2	53 40.2	49 37.1	49 37.1	30 22.7	15 11.4	1 0.8	5 3.8	4 3.0		
	立ち話をする程度の人	367 100.0	223 60.8	168 45.8	156 42.5	148 40.3	143 39.0	134 36.5	126 34.3	108 29.4	67 18.3	38 10.4	3 0.8	16 4.4	6 1.6		
	会うとあいさつをする程度の人	404 100.0	213 52.7	184 45.5	184 45.5	160 39.6	154 38.1	160 39.6	139 34.4	98 24.3	73 18.1	30 7.4	8 2.0	16 4.0	4 1.0		
	ほとんど近所の付き合いはない	130 100.0	70 53.8	52 40.0	47 36.2	39 30.0	45 34.6	51 39.2	30 23.1	25 19.2	14 10.8	9 6.9	3 2.3	9 6.9	2 1.5		

## 12. 自由意見について

問35 住民同士の支え合い・助け合い・福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見等をご記入ください。

回答者数 212 人

順位	内容	件数
1	行政について	50
2	福祉サービスについて	43
3	地域について	42
4	高齢者について	38
5	少子化・高齢化について	23
6	相談体制について	22
7	人とのつながりについて	19
8	こどもについて	18
8	除雪について	18
10	情報提供について	17
11	人口減少について	14
12	アンケートについて	12
12	担い手不足（ボランティア含む）について	12
14	交通について	11
15	経済的支援について	8
16	防災について	7
16	空き家について	7
16	民生委員について	7
19	障がいについて	6
20	医療について	5
21	その他について	14
	合計	393

住民同士の支え合い・助け合い・福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見等では、212人から回答が得られた。その内容を分類すると、「行政について」（50件）、「福祉サービスについて」（43件）、「地域について」（42件）、「高齢者について」（38件）、「少子化・高齢化について」（23件）、「相談体制について」（22件）となっている。

## 第3章 調査結果のまとめ

### 1. 居住地区別の特徴

横手地区	増田地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごととはすべて全体を下回っている</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が多い</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはすべて全体を下回っている</li> <li>・ 地域活動への参加割合が少ない</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が少ない</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は子育て</li> <li>・ 地域活動に参加する際の移動手段の割合は全体を下回っている</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは移動手段</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が少ない</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことはすべて全体を下回っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごととは高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が少ない</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことは高齢者</li> <li>・ 地域活動への参加割合が少ない</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が少ない</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は高齢者、除雪、外出や移動</li> <li>・ 地域活動に参加する際は移動手段を重視</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは移動手段</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が多い</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい、安心</li> </ul>
平鹿地区	雄物川地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごととは移動、高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が多い</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはあいさつ、高齢者、助け合い</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は子育て</li> <li>・ 地域活動に参加する際の移動手段の割合は全体を下回っている</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは生活再建や建物被害</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が少ない</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごととは移動に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が少ない</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはあいさつ、高齢者、助け合い</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は子育て、高齢者、除雪、外出や移動</li> <li>・ 地域活動に参加する際は移動手段を重視</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは安否確認や避難支援</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が少ない</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい、安心</li> </ul>

大森地区	十文字地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとは移動、高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が少ない</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはあいさつ、高齢者</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は高齢者、除雪、外出や移動</li> <li>・ 地域活動に参加する際は移動手段を重視</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは安否確認や避難支援、移動手段、生活再建や建物被害</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が少ない</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとは高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が少ない</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはすべて全体を下回っている</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は高齢者</li> <li>・ 地域活動に参加する際の移動手段の割合は全体を下回っている</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことはすべて全体を下回っている</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が少ない</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことはすべて全体を下回っている</li> </ul>
山内地区	大雄地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとは移動、高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が少ない</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはあいさつ、高齢者、助け合い</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は高齢者、除雪、外出や移動</li> <li>・ 地域活動に参加する際は移動手段を重視</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは移動手段</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が多い</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい、安心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとは移動、高齢者に関する課題</li> <li>・ 住民同士の支え合いや助け合いを必要と思わない割合が多い</li> <li>・ 近所づきあいで大切なことはすべて全体を下回っている</li> <li>・ 地域活動への参加割合が多い</li> <li>・ 今後地域活動への参加意向が多い</li> <li>・ 興味や関心がある地域活動は外出や移動</li> <li>・ 地域活動に参加する際の移動手段の割合は全体を下回っている</li> <li>・ 災害時の避難で不安なことは安否確認や避難支援、生活再建や建物被害</li> <li>・ 福祉サービスの利用者の割合が多い</li> <li>・ 福祉施策の充実のために重要なことは支えあい</li> </ul>



## 2. 調査対象者の基本情報（回答者の属性）

- 回答者の属性をみると、「男性」が46.4%、「女性」が52.7%であり、60歳以上が約4割、20・30歳代は合わせて2割未満となっている。
- 「会社員・公務員・団体職員等」（43.1%）が最も多く、「自営業・自由業」（8.2%）、「農林水産業」（5.2%）は少ない割合である。
- 「横手地区」（42.5%）居住者が最も多く、「親子2世代世帯」（47.6%）が、「夫婦のみの世帯」（21.4%）、「親子孫3世代世帯」（19.9%）を上回る。
- 生活の経済状況では、「ゆとりはないが、なんとか生活している」（50.4%）が最も多い。

## 3. 地域との関わりについて

### （1）地域への愛着と近所付き合い

（問7、問8、問8-1）

- 地域への愛着は『ある』（79.5%）が『ない』（19.5%）を上回り、近所付き合いや交流がある人、現在地域活動に参加している人、農林水産業、自営業・自由業では、地域への愛着が強いが、大森地区、山内地区では『ない』が約3割と他の地区を上回っている。
- 近所付き合いや交流では、「会うとあいさつをする程度の人がいる」（31.7%）、「立ち話をする程度の人がいる」（28.8%）が拮抗し、概ね年齢が高いほど多くなっている。単身（一人暮らし）世帯では「困ったときに助け合う親しい人がある」場合と「ほとんど近所の付き合いはない」場合と人により両極端になっている。なお、「ほとんど近所の付き合いはない」は10.2%であり、単身（一人暮らし）世帯、現在地域活動に参加していない人、地域に愛着がない人が多くなっている。
- 近所付き合いのない理由では、「近所付き合いの必要性を感じない」（25.4%）が最も多く、女性が男性を上回っている。
- 住民相互の交流の大切さを実感してもらえよう地域活動への参加や地域への愛着を育む機会を充実し、若い世代、単身（一人暮らし）世帯、現在地域活動をしていない人、地域に愛着があまりない人への働きかけを行うことも重要である。

## (2) 気がかりな人への声かけや手助け

(問9、問9-1、問10、問10-1)

- 近所の気がかりな人は「いる」が20.0%と5人に1人が回答し、60歳以上では4人に1人が「いる」と回答している。
- 気がかりな人への手助けの内容では「話し相手」、「安否確認の声かけ」が多く、男性では「屋根の雪下ろしや間口の除雪」、「草刈り」など身体を使う支援も一定数ある。
- 不安や悩みを抱えている人への声かけや手助けは「しようと思う」(43.6%)と「わからない」(42.9%)が拮抗しているが、60歳以上、雄物川地区、山内地区では約半数が声かけや手助け「しようと思う」と回答している。
- 声かけや手助けをしようと思わない理由は「そのような余裕がない」(41.5%)が最も多く、以下「人に声をかけづらい(怖い・恥ずかしい)」(28.2%)、「自分には役に立てることがない」(26.5%)となっており、20~30歳代では「人に声をかけづらい(怖い・恥ずかしい)」が4割以上、40~50歳代では「そのような余裕がない」が約5割と他の年齢層に比べて多くなっている。
- 年齢が高く長く居住している人、近所付き合いや交流がある人、現在地域活動に参加している人、地域に愛着がある人は、近所に気がかりな人がいることに気付くことができ、手を差し伸べる地域のセーフティネットの一役を担っていると考えられることから、そのような人を増やすため、まずは地域のあいさつなどの声かけから、地域の人を知る第一歩を踏み出すことが必要であろう。

## (3) 住民同士の支え合い・助け合い

(問11、問12、問13)

- 自身の住んでいる地域やその周辺での困りごとは「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題(一人暮らし、認知症の高齢者)」(37.4%)が最も多く、以下「買い物や移動の支援に関する課題(外出)」、「介護を行う家庭への支援に関する課題(介護する家族)」、「高齢者の社会参加や生きがいをいづくりに関する課題(高齢者の社会参加)」と、高齢者に関わる課題が上位となっている。
- 大森地区、山内地区では「買い物や移動の支援に関する課題(外出)」が多く、単身(一人暮らし)世帯、夫婦のみの世帯では「ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題(一人暮らし、認知症の高齢者)」、生活にゆとりがない人ほど「生活困窮者への支援に関する課題(貧困)」が多くなっている。
- 困りごとの解決のための住民同士の支え合い・助け合いの必要性は『必要だと思う』が88.2%を占め、若い世代も大半は理解しているが、生活にゆとりがない人、ほとんど近所の付き合いはない人、地域活動に参加していない人、地域に愛着がない人は『必要だと思わない』が多くなっている。
- 住民同士の支え合い・助け合いの必要性は概ね共有できているが、課題の把握は住民個々のライフスタイルや知見により異なり、地域を知らない人ほど、地域に参画することへのハードルを自ら高くしている可能性がある。まずは隣近所、町内会という身近なところから、あいさつや連絡の伝達などの地道な交流を絶え間なく続けることが必要である。

## (4) 近所付き合いや関わりで大切だと思うこと

(問 14)

- 近所付き合いや関わりで大切だと思うことは「日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい」(82.4%)となっている。以下「日常生活で困ったときの助け合い」(45.2%)、「防犯活動や災害のときの助け合い」(42.2%)、「病気・けが等緊急時の助け合い」(40.8%)、「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にする姿勢」(38.7%)となっており、概ね年齢が高いほど「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にする姿勢」が多く、60歳以上では約5割となっている。
- 雄物川地区では「日常生活で困ったときの助け合い」、山内地区では「高齢者の見守りや生きがいつくり」が他の地区に比べて多くなっている。
- 近所付き合いや交流がある人は「日常生活で困ったときの助け合い」、「防犯活動や災害のときの助け合い」、「病気・けが等緊急時の助け合い」など住民同士の助け合いを、現在地域活動に参加している人、地域に愛着がある人は「町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切にする姿勢」、「地域の交流の場づくり」を重視している人が多くなっている。
- 近所付き合いや交流がある人、地域に愛着がある人ほど、非常時の“助け合い”はもとより、あいさつや清掃活動など日常を大切にしていることが明らかであり、如何にそうした人を増やしていくか検討する必要がある。

## 4. 地域活動について

(問 15、問 16、問 17、問 18)

- 現在、地域活動に『参加している』(43.8%)が、『参加していない』(54.4%)を下回っており、『参加している』は男性が女性を上回っている。
- 参加している人は概ね年齢が高いほど多く、平鹿地区、大雄地区では5割以上と『参加していない』を上回り、生活にゆとりがある人、近所付き合いや交流がある人、農林水産業、自営業・自由業では6割以上、地域に愛着がある人などが多くなっている。
- 参加していない人は、年齢が低いほど多く、20歳代では90.0%、横手地区では6割以上、単身(一人暮らし)世帯、ゆとりはなく、生活が苦しい人、近所付き合いや交流がない人、学生、地域に愛着がない人などが多くなっている。
- 今後の参加意向は『参加したい』(57.6%)が『参加したくない』(39.7%)を上回り、現在の『参加している』を超えており、現在同様男性が女性を上回り、今後『参加したい』はすべての地区で5割以上となっている。
- 興味・関心がある地域活動の内容は「『除雪・雪下ろし』などの活動」、「『高齢者』に関する活動」、「『外出・移動・買い物』などの生活支援活動」、「『文化・スポーツ』に関する活動」、「『自然・環境保護』に関する活動」、「『地域交流・まちづくり』に関する活動」、「『子育て』に関する活動」、「『防災・防犯・交通安全』に関する活動」が多くなっている。
- 若い世代、生活にゆとりがない人、近所付き合いや交流がない人でも、身近な地域で、経済的な負担が少なければ地域活動に参加しやすくなることが考えられるため、気軽に参加できるきっかけづくりが必要である。

## 5. 養成講座について

(問 19、問 19-1)

- 福祉関係の養成講座に「参加したことがない」が90.6%であり、「参加したことがある」(7.4%)は少ない割合である。60歳以上、現在地域活動をしている人の参加経験は1割以上である。
- 若い世代や生活にゆとりがない人の参加要件は「資格取得や実技につながる内容だったら」であり、講座内容の見直しや参加しやすい日時の設定などにより、人材確保につなげることも重要である。

## 6. 情報入手について

(問 20)

- 信頼できる福祉に関する情報入手方法は「市の広報」(72.1%)であるが、それ以外では世代により情報入手先が異なるため、世代に合った情報提供方法の工夫が必要である。
- なお、若い世代や大森地区、近所付き合いや交流があまりない人は「医療機関」から情報を得ているとの回答も一定数あり、関係機関とは一層連携した関係強化も重要である。

## 7. 災害時の避難について

(問 21)

- 災害時の避難について不安に感じることについては「災害に関する情報を速やかに得られるか」(61.5%)が最も多く、「被災した場合の生活再建や建物被害など」、「外出中の同居家族と連絡がとれるか」が続き、女性は男性を上回って不安が大きく、若い世代ほど災害情報の速やかな入手を、また山内や大雄など交通の利便性に課題がある、高齢化の進行が他地区を上回る地区では避難所までの移動手段や避難支援が来るかどうかをより不安視する声がある。
- 災害が発生した際に、正確な情報の発信と受信体制を整備し、住民が最適な避難方法を選択できるよう、平時より災害に備えることが重要である。そのためには、各家庭での備蓄の確保や避難訓練への参加、要支援者台帳への登録への促進など、住民自身が災害を自分事として捉えられるような情報の発信、防災活動や避難所運営に参加しやすい体制整備が重要である。

## 8. 相談について

(問 22、問 23、問 24、問 24-1、問 25)

- 悩みや不安なことは「自分や家族の老後のこと」(58.3%)が最も多く、「自分や家族の体調・健康面のこと」、「仕事や収入(生活費)のこと」が50%台、「介護・介助に関すること」、「住宅のこと」が20%台となっている。女性は男性に比べ「自分や家族の老後のこと」を、年齢が高いほど「自分や家族の体調・健康面のこと」を、年齢が低い人や生活にゆとりがない人ほど「仕事や収入(生活費)のこと」を不安視している。

- 深刻な困りごとや不安の相談先は「家族や親せき」（80.8%）が最も多く、以下「友人・知人」（44.7%）、「市役所」（16.9%）、「職場の同僚・上司」（14.2%）、「医療機関」（11.3%）となっている。女性は男性に比べ「友人・知人」に相談する人が多く、概ね年齢が低いほど「友人・知人」が多く、20歳代では5割以上となっている。単身（一人暮らし）世帯は「友人・知人」が53.7%、「市役所」が22.1%と他の家族構成に比べて多く、概ね近所付き合いや交流がある人ほど「友人・知人」、「近所の人」が多くなっており、付き合いの幅に応じた相談先があることがわかる。
- なお、「どこに相談したらいいかわからない」は3.3%、「相談しない」は2.8%、「相談できる人がいない」は1.3%となっている。
- 悩みやストレスを相談したり助けを求めることに対するためらいを感じる人は51.3%と、ためらわず相談する人（41.5%）を上回っている。男性、生活にゆとりがない人ほど助けを求めることにためらいを感じる人が多くなっている。
- ためらう理由は「自分で解決できるかもしれないと思ったから」（38.1%）が最も多く、以下「誰に（どこに）相談すれば良いか迷ったから（わからなかったから）」、「プライバシーが守られるか不安だったから」、「相談しても意味がない・解決しないと思ったから」、「上手く話せないのではないかと考えたから」、「相談することがおっくうだと思ったから」となっている。
- 男性や生活にゆとりがある人や近所付き合いや交流がある人は「自分で解決できるかもしれないと思ったから」、女性は「プライバシーが守られるか不安だったから」、概ね年齢が低いほど「上手く話せないのではないかと考えたから」、「逆に責められるのではないかと不安になったから」が多くなっており、性別や年代、ライフスタイルによりためらう理由が異なっている。
- 生活にゆとりがない人ほど「誰に（どこに）相談すれば良いか迷ったから（わからなかったから）」、「プライバシーが守られるか不安だったから」、「上手く話せないのではないかと考えたから」、「話したくない内容を聞かれるのではないかと心配になったから」などためらいが感じられる。近所付き合いや交流がない人ほど「相談しても意味がない・解決しないと思ったから」が多く、諦念が感じられる。
- 相談窓口に期待することは「気軽に相談できること」（59.7%）が最も多く、以下「個人情報が出れないこと」、「専門的な相談ができること」、「どこに相談すればいいのかわかりやすい案内があること」、「いつでも相談できること」、「ワンストップで相談できること・窓口でたらいまわしにされないこと」となっている。
- 女性は「個人情報が出れないこと」を重視し、概ね年齢が低いほど「気軽に相談できること」、「なるべく人と接触せずに相談できること（メールやSNS等での相談）」が多く、40歳代では「専門的な相談ができること」を求めている。
- 相談は気軽にしていよという雰囲気醸成に加え、相談窓口が身近な場所にあることの繰り返しの周知とともに、多様な相談窓口の整備や専門的な対応ができるよう包括的な支援体制の強化が重要である。

## 9. 福祉サービスについて

(問 26、問 26-1)

- 福祉サービスの利用実績は現在、過去を含めて13.9%と少ない割合である。サービスの利用に関して不都合や不満に思ったことは申し込み先が不明であることや、サービスに関する情報の入手しづらさであり、利用以前のことが上位であった。
- 福祉サービスは、必要に迫られた時点から所定の手続きを経て、各種条件に応じて利用することとなるため、当事者が既存の情報をもとにただけでは行動しづらい側面がある。市の福祉担当窓口、社会福祉協議会、子どもにおいては子育て支援センターや子育て応援窓口、高齢者においては地域包括支援センター、障がい者においては基幹相談支援センターや各種事業者や医療機関など、身近な相談先があることの周知強化に加え、関係機関の相互連携の充実が重要である。

## 10. 再犯防止について

(問 27、問 28)

- 非行や犯罪をした方の立ち直りに協力したいという賛成は41.5%にとどまり、不賛成(54.5%)が上回っている。不賛成は女性、30～40歳代がやや多く、賛成は男性、近所付き合いや交流がある人ほど多くなっている。
- 立ち直りのために必要な支援は「就労支援」(58.0%)が最も多く、以下「地域住民の理解」(33.8%)、「人とのつながり」(31.3%)が上位であり、概ね近所付き合いや交流がある人ほど地域住民の理解や人とのつながりを重視しており、当事者が不労所得ではなく就労で経済的自立ができるように関係機関を含めて支援し、地域住民と当事者が互いの安心安全が脅かされることのないよう丁寧な理解促進を進めることが、社会復帰と地域生活の定着につながることを考えられる。

## 11. 孤独・ひきこもりについて

(問 29、問 30)

- 地域や身近に家族以外の人との交流をほとんどしない方が「いる（自分自身を含む）」は17.6%であり、20歳代、40歳代では5人に1人が該当している。
- 家族以外の人との交流をほとんどしない方に必要だと思うことは「自立に向けたきっかけづくり」（40.7%）が最も多く、以下「友人や仲間づくり」（35.7%）、「家族への支援」（26.6%）、「気軽に立ち寄れるサロンや居場所」（25.6%）、「定期的（または不定期）な訪問相談」（23.5%）、「就労支援」（22.9%）、「専門機関での相談」（19.9%）、「就学支援」（12.1%）となっており、再犯防止では最上位であった就労支援は上位にはない。
- 20歳代では「友人や仲間づくり」が50.0%、30歳代では「家族への支援」が40.2%と他の年齢層に比べて多く、ライフステージに応じた人との関わりの機会の充実や最も身近な家族への支援が重視されている。
- ひきこもり問題への対応を含め、住民が抱える課題が複雑化・複合化する中で、従来の支援体制ではケアしきれないケースが発生していることから、高齢、障がい、子ども、生活困窮の分野を越えた重層的支援体制整備事業の創設が必要である。

## 12. 成年後見制度について

(問 31、問 32、問 33)

- 成年後見制度を『知っている』と回答した人は64.5%となっている。女性、40～50歳代では「成年後見人等が不正をしないかが不安である」が4割以上となっている。20～40歳代では「利用したい」が2割以上となっているが、制度の内容を理解していない人が多くなっている。
- 制度の内容を理解したうえで安心して利用できるよう、制度について多様な手段による情報提供が必要である。

## 13. 福祉の推進に必要なことについて

(問 34)

- 福祉施策を充実していくために重要と考える取り組みでは、「安心して暮らせる地域生活の構築（安心）」（57.1%）が最も多く、以下「利用者の立場に立った福祉サービスの提供（利用者の立場）」（46.3%）、「緊急時にも対応する支援体制の構築（緊急時）」（41.6%）、「地域福祉の推進を担う人材の育成（人材育成）」（40.5%）となっている。
- 70歳以上では「お互いを尊重し支えあう意識の醸成（互いの尊重）」が他の年齢層に比べて多く、山内地区では「住民主体による支えあいの促進（支えあい）」を、さらに概ね近所付き合いや交流がある人ほど「地域福祉の推進を担う人材の育成（人材育成）」、「お互いを尊重し支えあう意識の醸成（互いの尊重）」、「住民主体による支えあいの促進（支えあい）」を重視している。
- 多くの住民が安心して暮らせる地域生活の構築が重要だと認識しているが、地域への関わりが深いほど、地域を支える人材育成にあたって根幹となるのは、互いの尊重、支えあいであると実感していることがわかる。

## 14. 共通の課題について

- ・小さい頃から地域への愛着を育成する気運の醸成
- ・住民同士の交流や助け合いに繋がるご近所付き合いのきっかけづくり
- ・地域に対する関心と理解を深める福祉教育や地域参画の機会の充実
- ・地域福祉に関わる人材の育成・確保
- ・住民のライフステージやライフスタイルに配慮したわかりやすい多様な相談体制の充実
- ・福祉サービス利用に向けた繰り返しの情報発信による利用しやすい環境づくり
- ・災害時に向けた平時の防災意識の向上と、速やかな情報提供や移動手段等の体制整備
- ・当事者への就労支援の推進と地域住民の理解促進を丁寧に行う再犯防止施策の推進
- ・当事者への社会参加のきっかけづくりと家族支援の充実によるひきこもり施策の推進
- ・住民を含めた相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の創設



# 調査票

## 1. 横手市地域福祉に関するアンケート調査票

### 横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画 策定のためのアンケート調査

市民の皆さまには、日頃から福祉行政に関するご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

横手市と横手市社会福祉協議会では、「第3次横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画」を策定し、誰もが住みなれた地域で、安心して暮らせるまちづくりを目指し、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりに取り組んできました。この度、次期計画を策定するためのアンケート調査を実施いたします。

なお、今回のアンケートは、市内在住の20歳以上の方の中から無作為に3,000人を選ばせていただきました。

アンケート調査は無記名で実施し、統計的に処理いたします。自由記述につきましても、個人が特定されないよう配慮し、プライバシーの保護には万全を期しております。

これからの横手市の福祉にとって重要な計画ですので、ぜひ協力をお願いします。

令和5年11月

横手市長 高橋 大

#### 記入に際してのお願い

- ご記入は、**宛名のご本人**にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、代理でご記入をお願いいたします。
- ご回答は、あてはまる選択肢の**番号に○**をつけてください。また、「その他」と回答した場合には、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、選択肢や○の数、ご回答いただく方が限られているものもあります。矢印(⇒)やことわり書きにしたがってご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、**11月22日(水)**までに同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

#### お問い合わせ先

横手市 市民福祉部 まるごと福祉課 地域福祉係  
TEL : 0182-23-5881 FAX : 0182-33-7838

## **1** あなたご自身(アンケートの宛名のご本人)について

問1 あなたの自認する性別は次のうちどちらですか。(ひとつだけ○)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢(令和5年11月1日現在)を教えてください。(ひとつだけ○)

1. 20歳代 2. 30歳代  
3. 40歳代 4. 50歳代  
5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたの現在の職業は次のうちどれですか。(もっともあてはまるものひとつだけ○)

1. 農林水産業 2. 自営業・自由業  
3. 会社員・公務員・団体職員等 4. パート・アルバイト  
5. 学生 6. 無職  
7. 家事専業 8. その他 ( )

問4 あなたが住んでいる地区はどちらですか。(ひとつだけ○)

1. 横手地区 2. 増田地区  
3. 平鹿地区 4. 雄物川地区  
5. 大森地区 6. 十文字地区  
7. 山内地区 8. 大雄地区

問5 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

1. 単身(一人暮らし)世帯 2. 夫婦のみの世帯  
3. 親子2世代世帯 4. 親子孫3世代世帯  
5. その他 ( )

問6 あなたは、ご自身の生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。(ひとつだけ○)

1. ゆとりがある  
2. 普通だと感じている  
3. ゆとりはないが、なんとか生活している  
4. ゆとりはなく、生活が苦しい

## 2 地域との関わりについて

問7 あなたは、現在住んでいる地域に愛着がありますか。(ひとつだけ○)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえはない
4. ない

問8 あなたは普段、近所の人との程度の交流や付き合いがありますか。(ひとつだけ○)

1. 困ったときに助け合う親しい人がいる
  2. お互いに訪問し合う人がいる
  3. 立ち話をする程度の人がある
  4. 会うとあいさつをする程度の人がある
  5. ほとんど近所の付き合いはない
- ⇒問9へ

→問8で「5. ほとんど近所の付き合いはない」と回答した方のみ

問8-1 その理由をお答えください。(もつともあてはまるものひとつだけ○)

1. 時間が取れないから
2. 引っ越して間もないから
3. どうしたらよいかわからないから
4. 面倒だから
5. 近所付き合いの必要性を感じない
6. その他 ( )

問9 あなたの近所に、気がかりな人はいますか。あなたの家族や身内以外で気がかりな人がいるかどうか教えてください。(ひとつだけ○)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. わからない

⇒問10へ

→問9で「1. いる」と回答した方のみ

問9-1 あなたは気がかりな人への声かけや手助けなどを行っていますか。以下であてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 話し相手
- 2. こどもの世話や預かり
- 3. 子育て・介護などの相談相手
- 4. 食事の準備・片付け
- 5. 掃除や洗濯など日常生活の手伝い
- 6. ごみ出し
- 7. 買物や通院など外出時の付き添い
- 8. 安否確認の声かけ
- 9. 緊急時の通報や看病
- 10. 草刈り
- 11. 屋根の雪下ろしや間口の除雪
- 12. その他 ( )
- 13. 特にしていない

問10 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声かけや手助けをしようと思いますか。(ひとつだけ○)

1. しようと思う ⇒問11へ

2. しようと思わない

3. わからない

→問10で「2. しようと思わない」「3. わからない」と回答した方のみ

問10-1 その理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分には役に立てることがない

2. 人に声をかけづらい(怖い・恥ずかしい)

3. 誰かがやってくれると思う

4. 興味・関心がない

5. そのような余裕がない

6. その他( )

問11 あなたは、あなたがお住まいの地域やその周辺には、どのような困りごとがあると感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 地域での支え合いや助け合いに関する課題 (支えあい)
2. 買い物や移動の支援に関する課題 (外出)
3. 生活習慣病や健康づくりに関する課題 (健康)
4. 子育てや育児を行う家庭への支援に関する課題 (子育て)
5. ひとり親家庭への支援に関する課題 (ひとり親)
6. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに関する課題 (高齢者の社会参加)
7. 障がいのある方の社会参加や生きがいづくりに関する課題 (障がい者)
8. 介護を行う家庭への支援に関する課題 (介護する家族)
9. ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者への支援に関する課題 (一人暮らし、認知症の高齢者)
10. 障がいのある方の差別解消や権利擁護に関する課題 (障がい者差別)
11. ひきこもり状態にある方に関する課題 (ひきこもり)
12. 地域での孤独・孤立や自殺対策に関する課題 (孤独)
13. 児童虐待やDVに関する課題 (虐待・暴力)
14. 生活困窮者への支援に関する課題 (貧困)
15. 防災や災害発生時の避難に関する課題 (防災・避難)
16. 防犯や再犯防止に関する課題 (防犯)
17. その他 ( )
18. 特にない

問12 あなたは、上記(問11)のような困りごとの解決のために、住民同士の支え合い・助け合いが必要だと思えますか。(ひとつだけ○)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要だと思わない
4. 必要だと思わない

問13 あなたは、地域で住民同士の支え合い・助け合いができると思う範囲は次のうちどれだと思いますか。

(ひとつだけ○)

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. 隣近所     | 2. 町内会   |
| 3. 小学校区    | 4. 横手市全域 |
| 5. その他 ( ) | 6. わからない |

問14 あなたは、地域におけるご近所との付き合いや関わりで、どのようなことが大切だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常のあいさつ等による、人と人とのふれあい
2. 町内会や区の清掃活動等、自分たちの地域を大切に作る姿勢
3. 子育てやしつけ等、こどもの問題を一緒に考える仲間づくり
4. 健康づくりを一緒に行う仲間づくり
5. 地域の交流の場づくり
6. 自分の考えを発表したり、話し合うことのできる場づくり
7. 高齢者の見守りや生きがいづくり
8. 介護予防の場づくり
9. 日常生活で困ったときの助け合い
10. 防犯活動や災害のときの助け合い
11. 病気・けが等緊急時の助け合い
12. その他 ( )
13. 特にない

### 3 地域活動について

問15 あなたは現在、地域活動に参加していますか。(ひとつだけ○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. よく参加している   | 2. ある程度参加している |
| 3. あまり参加していない | 4. 全く参加していない  |

問16 あなたは今後、地域活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ○)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 参加したい           | 2. どちらかといえば参加したい |
| 3. どちらかといえば参加したくない | 4. 参加したくない       |

問17 あなたは、次のような地域活動に興味・関心ありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 「子育て」に関する活動         | 2. 「青少年の健全な育成」に関する活動     |
| 3. 「障がい者」に関する活動        | 4. 「高齢者」に関する活動           |
| 5. 「自然・環境保護」に関する活動     | 6. 「人権・男女共同参画」に関する活動     |
| 7. 「文化・スポーツ」に関する活動     | 8. 「地域交流・まちづくり」に関する活動    |
| 9. 「除雪・雪下ろし」などの活動      | 10. 「外出・移動・買い物」などの生活支援活動 |
| 11. 「防災・防犯・交通安全」に関する活動 | 12. 「災害」に関するボランティア活動     |
| 13. 「国際交流・国際協力」に関する活動  | 14. 「通いの場やサークル支援」に関する活動  |
| 15. その他 ( )            | 16. 興味・関心はない             |

問18 あなたが地域の活動に参加しているとき、または、今後参加すると考えた場合、どのようなことがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動情報の提供がある
2. 友人等といっしょに参加できる
3. 身近なところで活動できる
4. 住んでいる地区と違う地域での活動に参加できる
5. 移動手段や交通手段が確保されている、送迎がある
6. 実費や交通費等が支給される
7. 活動時間や曜日が自由
8. 気軽に参加できる
9. 適切な指導者やリーダーがいる
10. 特技や知識が活かせる
11. 身体的な負担が少ない
12. 経済的な負担が少ない
13. その他 ( )



## 4 養成講座について

問19 あなたは、横手市で行っている福祉関係の養成講座に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

1. 参加したことがある ⇒問20へ

2. 参加したことがない

→ 問19で「2.参加したことがない」と回答した方のみ

問19-1 どのようなきっかけがあったら参加しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 関心がある内容であったら     | 2. 資格取得や実技につながる内容だったら |
| 3. 自分や周りの人が当事者になったら | 4. 地域の役員に誘われたら        |
| 5. 家族・友人・知人に誘われたら   | 6. 職場や学校にすすめられたら      |
| 7. 時間ができたら          | 8. その他 ( )            |
| 9. 参加しない・できない       |                       |

## 5 情報入手について

問20 あなたが、横手市の福祉に関する情報を入手するうえで信頼できるものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や友人等の口コミ
2. 近所の人
3. 市の広報
4. 市役所の窓口
5. 町内会の回覧板
6. 民生委員・児童委員
7. 保育所、幼稚園、認定こども園、学校等の保育・教育施設
8. 医療機関
9. 職場
10. 市・関係機関のチラシ
11. 新聞・雑誌
12. テレビ・ラジオ
13. インターネットやSNS
14. その他 ( )

## 6 助け合いについて

問21 あなたは、大雨や地震などの災害時の避難についてどのようなことに不安を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 災害に関する情報を速やかに得られるか
2. 外出中の同居家族と連絡がとれるか
3. 災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人がいるかどうか
4. 避難所までの道のりや移動手段の確保ができるか
5. 災害時の助け合い活動などが行われるか
6. 避難所などが暮らしやすい配慮があるか
7. 投薬治療など医療や介護サービスの支援が受けられるか
8. 被災した場合の生活再建や建物被害など
9. その他 ( )
10. 特にない

## 7 相談について

問22 あなたは、日々の生活で悩みや不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 仕事や収入(生活費)のこと | 2. 自分や家族の体調・健康面のこと    |
| 3. 自分や家族の老後のこと   | 4. 人間関係(家族や友人、近隣等)のこと |
| 5. 恋愛や結婚のこと      | 6. 育児や子育てに関すること       |
| 7. 介護・介助に関すること   | 8. 不登校に関すること          |
| 9. ひきこもりに関すること   | 10. 住宅のこと             |
| 11. その他 ( )      | 12. 特に悩みや不安はない        |

問23 あなたは、深刻な困りごとや不安があったら、誰(どこ)に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 職場の同僚・上司
5. 市役所
6. 保育所、幼稚園、認定こども園、学校等の保育・教育施設
7. 医療機関
8. 社会福祉協議会
9. 民生委員・児童委員
10. 福祉協力員
11. 所属団体・サークル
12. NPOやボランティア団体
13. その他( )
14. どこに相談したらいいかわからない
15. 相談できる人がいない
16. 相談しない



## 8 福祉サービス※について

※ここで聞く「福祉サービス」とは、障がい福祉サービス、介護保険サービス、生活保護、母子生活支援のことを言います。

問26 あなたは、福祉サービスを利用していますか、またはしていましたか。(ひとつだけ○)

- 1. 利用している
- 2. 利用していたが、現在は利用していない
- 3. 利用したいと考えているが、利用していない
- 4. 利用したことはなく、現在も利用していない・必要はない

⇒問 27 へ

→問 26 で「1. 利用している」「2. 利用していたが、現在は利用していない」と回答した方のみ

問 26-1 サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったりしたことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった
- 2. 利用手続きが難しかった
- 3. 窓口の対応が悪かった
- 4. サービスの内容や説明がわかりにくかった
- 5. サービスに関する情報が入手しづらかった
- 6. どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった
- 7. 利用したいサービスが利用できなかった
- 8. サービス内容に満足できなかった
- 9. その他 ( )
- 10. 不都合や不満を感じたことはない

## 9 再犯防止について

問27 あなたは、非行や犯罪をした方の立ち直りに協力したいと思いますか。(ひとつだけ○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない       |

問28 あなたは、非行や犯罪をした方の立ち直りのために、どのような支援が必要だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 住まいの確保の支援     | 2. 就労支援    |
| 3. 就学支援          | 4. 経済的な支援  |
| 5. 当事者同士の集いの場づくり | 6. 支援者の育成  |
| 7. 相談窓口の設置       | 8. 地域住民の理解 |
| 9. 人とのつながり       | 10. 特にない   |
| 11. その他 ( )      | 12. わからない  |

## 10 孤独・ひきこもり※について

※横手市のひきこもりに関する相談窓口はこちら

市民福祉部まると福祉課 電話 0182-23-5881

問29 あなたの地域や身近において、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。

(ひとつだけ○)

- |                |        |
|----------------|--------|
| 1. いる(自分自身を含む) | 2. いない |
| 3. わからない       |        |

問30 あなたは、家族以外の人との交流をほとんどしない方にとって、どのようなことが必要だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 友人や仲間づくり         | 2. 気軽に立ち寄れるサロンや居場所 |
| 3. 定期的(または不定期)な訪問相談 | 4. 専門機関での相談        |
| 5. 就労支援             | 6. 就学支援            |
| 7. 自立に向けたきっかけづくり    | 8. 家族への支援          |
| 9. その他 ( )          | 10. 特にない・今のままでよい   |
| 11. わからない           |                    |

**11 成年後見制度<sup>\*</sup>について**

問31 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(ひとつだけ○)

1. 知っている
2. なんとなく知っている
3. まったく知らない

※「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、物事を判断する能力が十分でなくなっても、安心して暮らすことができるよう、介護や看護の手配や財産管理について支援する成年後見人を選任する制度です。

【こんな時に成年後見人が必要です】

- ・重要な契約や財産などに関する行為をすることが難しい。
- ・きちんと理解できていないのに契約してしまう。
- ・悪徳商法などの被害に遭ってしまう。

問32 あなたは、自身や家族が日常生活を送るうえで判断能力に支援が必要になったとき、成年後見制度を利用しようと思いますか。(ひとつだけ○)

1. 利用したい
2. 積極的ではないが利用したい
3. 利用したくない
4. わからない

問33 あなたが、成年後見制度を利用する場合、どのようなことが気になりますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 制度がよくわからない
2. 相談先がわからない
3. 手続き方法がわからない
4. 費用がいくらかかるかわからない
5. 成年後見人等が不正をしないかが不安である
6. 成年後見制度を利用することが恥ずかしいと感じる
7. その他 ( )
8. 特にない

## 12 福祉の推進に必要なことについて

問34 横手市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. お互いを尊重し支えあう意識の醸成 (互いの尊重)
2. 地域福祉の推進を担う人材の育成 (人材育成)
3. 住民主体による支えあいの促進 (支えあい)
4. 災害時に備えた地域づくりの推進 (防災)
5. 地域福祉を支える団体との協働による地域福祉力の向上 (協働)
6. 緊急時にも対応する支援体制の構築 (緊急時)
7. 利用者の立場に立った福祉サービスの提供 (利用者の立場)
8. 地域における権利擁護体制の整備 (権利擁護)
9. 安心して暮らせる地域生活の構築 (安心)
10. 困りごとを抱えた市民に対する包括的な支援体制の推進 (包括的支援体制)
11. その他 ( )
12. 特にない

問35 住民同士の支え合い・助け合い・福祉サービスの充実、地域の困りごとなど、地域福祉に関するご提案やご意見等をご記入ください。

回答してくださったことは、これからの横手市の福祉の改善に活用します。  
調査にご協力いただきありがとうございました。

❖調査票は **11月22日(水)**までに同封の回収用封筒(切手不要)に入れて、  
ポストに投函してください。



横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画  
策定のためのアンケート  
調査結果報告書

---

令和6年3月

横手市役所 市民福祉部 まるごと福祉課

〒013-8601 秋田県横手市中央町 8 番 2 号

電話 0182-23-5881

集計分析:株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所